ONKYO

BR-NX10A

（CD/HDD TUNER AMPLIFIER）

X-NX10A

BR-NX10A（CD/HDD TUNER AMPLIFIER）
D-N7TX（スピーカーシステム）

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

目次

リセットの方法

もし本機がリモコンや本体ボタンの操作に反応しなくなった場合は、リセットしてみてください。

本体のON（オン）/STANDBY（スタンバイ）ボタンを5秒以上押し続けてください。一度電源が切れて、はじめて電源コンセントに接続したときと同じ状態になり、本機がリセットされます。自動的に初期設定が始まりますので、スタンバイ状態になるまでしばらくお待ちください。

⏻ ON/STANDBY

5秒以上押し続ける

本機取り扱い上のご注意！

STANDBYインジケーターが点滅中は、電源コードを絶対に抜かないでください。本機の故障の原因となります。

電源コードを抜かない

目次

本機ではこんなことができます

本機の主な特長

- ■大容量80GB HDD(ハードディスク)搭載
- ■CD→HDD　最大10倍速録音
- ■ボタン1つでCD→HDD録音ができる「CDダビング」機能
- ■最大50倍速でデジタルオーディオプレーヤーへの転送が可能（USB接続）
- ■LAN経由でパソコン内のMP3ファイルの取り込みが可能
- ■ボタン1つでハードディスク内の全曲をBGM再生
- ■曲情報取得機能でCDや外部機器から録音した曲の情報（曲名やアーティスト名など）を表示可能（Gracenote®サービス）
- ■お好みの音にチューニング可能な「BASS」「TREBLE」「S.BASS」機能
- ■4.3インチワイドカラー液晶ディスプレイ搭載
- ■聴きたい曲がすぐにみつかる日本語表示&50音検索

録音についてのご注意
あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

付属品を確認してください

X-NX10Aには、次のものが含まれます。
- BR-NX10A（CD/HDD TUNER AMPLIFIER）
- D-N7TX（スピーカーシステム）

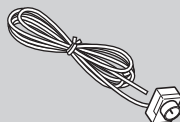
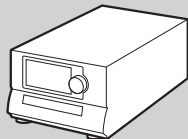
BR-NX10Aは、CD/HDD TUNER AMPLIFIERの単品です。
（スピーカーシステムは含まれません。）

BR-NX10A（CD/HDD TUNER AMPLIFIER）　（　）内の数字は数量を表しています。

●製品本体（1）

●リモコン（RC-722S）（1）
●単3乾電池（2）

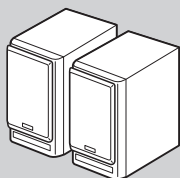
● FM 室内アンテナ（1）

● AM 室内アンテナ（1）

●取扱説明書（本書）（1）　●簡単操作ガイド（1）　●エニーミュージックのご案内（1）　●ユーザー登録カード（1）
●ソフトウェアに関する重要なお知らせ / ソフトウェア使用許諾契約書（1）　●保証書（1）
●オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内（1）

D-N7TX（スピーカーシステム）　（　）内の数字は数量を表しています。

●製品本体（2）

●スピーカーコード 1.8 m（2）

●スピーカー用コルクスペーサー（8）

カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後にあるアルファベットは、製品の色を表す記号です。
色は異なっても操作方法は同じです。

ハードディスク（HDD）の取り扱いについて

●衝撃や振動、ほこりに弱い性質があります

本機は衝撃や振動、ほこりからデータを守るための安全設計がされていますが、記録したデータを失ってしまうことのないよう、以下の点に特にご注意ください。
- 衝撃を与えない。
- コンセントを差したまま本機を動かさない。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しない。
- 録音、再生中は、本機を動かしたり、コンセントを抜かない。
- お客様ご自身で、ハードディスクの交換や増設をしない。故障の原因となります。
- ほこりの多い場所には設置しない。
- 本機の通風孔をふさがない。熱がこもって故障の原因となります。
- 急激な温度変化（毎時10℃以上の変化）のある場所では使用しない。結露しているおそれがある場合は、本機の電源を入れて約1時間放置してからご使用ください。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合は、データの修復はできません。

●データのバックアップのお願い

ハードディスクは、停電などによる突然のデータ損失や故障など、通常使用時においても壊れてしまう可能性があります。お客様が保存したデータは、定期的にパソコンや市販のUSBハードディスクにバックアップを取っておくことをおすすめします。(69ページ)

●修理に出すときは

修理時に、本機のハードディスクに保存されていた音楽データ、設定データなどが再現不可能になることがあります。修理に出される前に、本機に登録した設定内容などは、紙に控えてください。また、本機に保存したデータは必ずバックアップを取っておいてください。修理時や通常の使用において、万一データが消去あるいは変更されたとしても、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

商標などについて

* "エニーミュージック”は、エニーミュージック株式会社の登録商標です。
* “ATRAC”および**ATRAC**はソニー株式会社の商標です。
* 本機はドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。
* Microsoft®およびWindows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
* 本機はFraunhoferIISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
* Built with Linter Database. Copyright(C) 2006-2008 株式会社 ブライセン
  Copyright(C) 1990-2003, Relex, Inc. All rights reserved.
* 本ソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
* Portions Copyright(C) 2005-2008 AIM Corporation.
  本ソフトウェア は、株式会社エイム（www.aim-inc.co.jp）のYOMIデータを利用しています。
* 本機表示画面の文字フォントは、株式会社ブリッジの著作物です。

Gracenoteについて

音声認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote®により提供されます。Gracenoteは、音声認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。詳細については、次のWebサイトをご覧ください: www.gracenote.com Gracenoteか ら のCDおよび音楽関連データ: Copyright © 2000-2008 Gracenote. Gracenote Software: Copyright 2000-2008 Gracenote. この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります: #5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許（#6,304,523）用にOpen Globe, Inc.から提供されました。GracenoteおよびCDDBはGracenoteの登録商標です。Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴはGracenoteの商標です。Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください:www.gracenote.com/corporate

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc.(以下「Gracenote」）のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote 社のソフトウェア（以下「Gracenoteソフトウェア」）を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報（以下「Gracenoteデータ」）などの音楽関連情報をオンライン サーバーから、或いは製品に実装されたデータベース(以下、総称して「Gracenote サーバー」）から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenoteデータを使用することができます。お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーをお客様個人の非営利的目的にのみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第3者に対しても、GracenoteソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、および Gracenoteサーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が直接的にお客様に対して、本契約上の権利をGracenoteとして行使できることに同意するものとします。

Gracenoteのサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenoteプライバシー ポリシーを参照してください。

Gracenoteソフトウェアと Gracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたはGracenoteサーバーがエラーのない状態であることや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。

Gracenoteは、Gracenoteが将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenoteは、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様によるGracenote ソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの使用により得られる結果について保証をしないもとのとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

安全上のご注意
安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

「警告」と「注意」の見かた

間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。

誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の見かた

△記号は「ご注意ください」という内容を表しています。

高温注意

感電注意

⃠記号は「～してはいけない」という禁止の内容を表しています。

分解禁止

ぬれ手禁止

●記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。

電源プラグをコンセントから抜く

必ずする

⚠ 警告

故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする
- 本機を落としてしまった
- 本機内部に水や金属が入ってしまった

このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

カバーははずさない、分解、改造しない

分解禁止

火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

接続、設置に関するご注意

■**通風孔をふさがない、放熱を妨げない**

禁止

本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や側面に通風孔があけてあります。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災ややけどの原因となります。

- 押し入れや本箱など通気性の悪い狭い所に設置して使用しない
  （本機の天面、横から 2cm 以上、背面から 10cm 以上のスペースをあける）
- 逆さまや横倒しにして使用しない
- 布やテーブルクロスをかけない
- じゅうたんやふとんの上に置いて使用しない

■**水蒸気や水のかかる所に置かない、本機の上に液体の入った容器を置かない**

水場での使用禁止

水濡れ禁止

本機に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。

- 風呂場など湿度の高い場所では使用しない
- 調理台や加湿器のそばには置かない
- 雨や雪などがかかるところで使用しない
- 本機の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

■**ETHERNETポートには電話回線を接続しない**

禁止

本機の ETHERNET ポートに以下のネットワークや回線を接続すると、必要以上の電流が流れて、故障や火災の原因となります。

- 一般電話回線
- デジタル式構内交換機（PBX）回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

電源コード・電源プラグに関するご注意

■**電源コードを傷つけない**

禁止

- 電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードが本機の下敷にならないようにする
- 傷つけたり、加工したりしない
- 無理にねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具などに近づけない、加熱しない

電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 警告

■電源プラグは定期的に掃除する

必ずする

電源プラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。電源プラグを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

使用上のご注意

■本機内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない

禁止

火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本機の通風孔、CD トレイから異物を入れない
- 本機の上に通風孔に入りそうな小さな金属物を置かない

■長時間音がひずんだ状態で使わない

禁止

アンプ、スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。

■CDトレイに手を入れない

指のけが に注意

けがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。

■ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

禁止

ディスクは機器内で高速回転しますので、割れて破片が内部に落ちたり外に飛び出して、故障やけがの原因となることがあります。

■レーザー光源をのぞき込まない

禁止

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

■雷が鳴りだしたら本機、接続機器、接続コード、アンテナ、電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

電池に関するご注意

■乾電池を充電しない、加熱・分解しない、火や水の中に入れない

禁止

電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 電池を使い切ったときや長時間リモコンを使用しないときは電池を取り出す
- コインやネックレスなどの金属物と一緒に保管しない
- 極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、表示通りに入れる

■電池から漏れ出た液にはさわらない

接触禁止

万一、液が目や口に入ったり皮膚に付いた場合は、すぐにきれいな水で充分洗い流し、医師にご相談ください。

⚠ 注意

接続、設置に関するご注意

■不安定な場所や振動する場所には設置しない

禁止

強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。
本機が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■本機の上に10kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。また、本機に乗ったりしないでください。

■配線コードに気をつける

注意

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

■屋外アンテナ工事は販売店に依頼する

必ずする

アンテナ工事には技術と経験が必要です。

電源コード・電源プラグに関するご注意

■表示された電源電圧(交流100ボルト)で使用する

必ずする

本機を使用できるのは日本国内のみです。
表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

■電源コードを束ねた状態で使用しない

禁止

発熱し、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意

■電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

禁止

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
プラグを持って抜いてください。

■長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因となることがあります。

■電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込む

禁止

差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。
プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■お手入れの際は電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

使用上のご注意

■通風孔の温度上昇に注意

高温注意

本機の通風孔付近は放熱のため高温になることがあります。
電源が入っているときや、電源を切った後しばらくは通風孔付近にご注意ください。

■音量に注意する

必ずする

突然大きな音が出てスピーカーやヘッドホンを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。

■長時間大きな音でヘッドホンを使用しない

禁止

聴力に悪い影響を与えることがあります。

■キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけない

禁止

磁気の影響でキャッシュカードやフロッピーディスクが使えなくなったり、データが消失することがあります。

移動時のご注意

■移動時は電源プラグや接続コードをはずす

電源プラグをコンセントから抜く

コードが傷つき火災や感電の原因となります。

■本機の上にものを乗せたまま移動しない

禁止

本機の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。
落下や転倒してけがの原因となります。

■機器内部の点検について

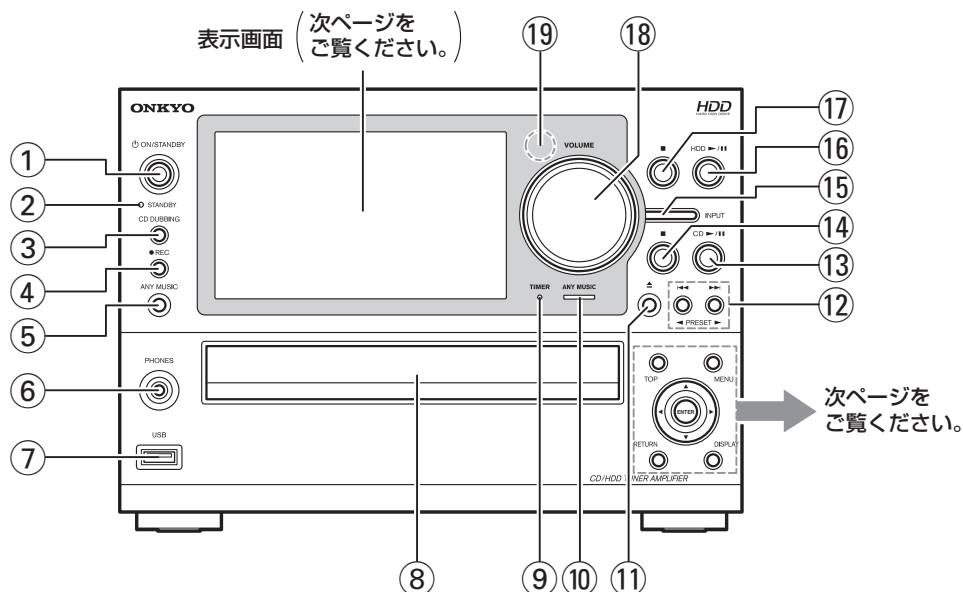
お客様のご使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をおすすめします。
本機の内部にほこりがたまったまま使用していると火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

■本機のお手入れについて

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

各部の名前と働き

本体ボタン

〔　　〕内のページに主な説明があります。

① ON/STANDBY（オン/スタンバイ）ボタン〔19〕
本機の電源を入/切します。

② STANDBY（スタンバイ）インジケーター〔19〕
電源が入っているときは消灯、スタンバイ時は赤く点灯します。

③ CD DUBBING（ダビング）ボタン〔35〕
CDをHDDに録音するときに押します。
ボタンを押すとすぐに全曲録音が始まります。

④ ●REC（レック）ボタン〔36～38〕
HDDに録音するときに押します。

⑤ ANY MUSIC（エニー ミュージック）ボタン〔28、45〕
セレクターをエニーミュージックに切り換えます。

⑥ PHONES（フォーンズ）端子〔25〕
ヘッドホン(ミニプラグ)を接続します。

⑦ USB端子〔29、38、49、70〕
デジタルオーディオプレーヤーやUSBストレージとUSB接続します。

⑧ CDトレイ〔22〕
CDをセットします。

⑨ TIMER（タイマー）インジケーター〔60〕
タイマーが設定されているときに点灯します。

⑩ ANY MUSIC（エニー ミュージック）インジケーター〔45〕
エニーミュージックセレクターに切り換えたときに点灯します。

⑪ ▲（オープン/クローズ）ボタン〔22〕
CDトレイを開閉します。

⑫ ❙◄◄/►►❙、PRESET（プリセット）◄/►ボタン〔22、27、41〕
再生する曲を選んだり、ラジオのプリセット局を選びます。

⑬ CD►/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタン〔22〕
CDを再生/一時停止します。
一時停止中に押すと、再び再生を始めます。

⑭ CD■（ストップ）ボタン〔22〕
CDの再生を停止します。

⑮ INPUT（インプット）ボタン〔20〕
トップ画面を表示します。

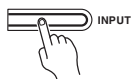
⑯ HDD►/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタン〔41〕
HDDを再生/一時停止します。
一時停止中に押すと、再び再生を始めます。

⑰ HDD■（ストップ）ボタン〔41〕
HDDの再生/録音を停止します。

⑱ VOLUME（ボリューム）つまみ〔25〕
音量を調整します。

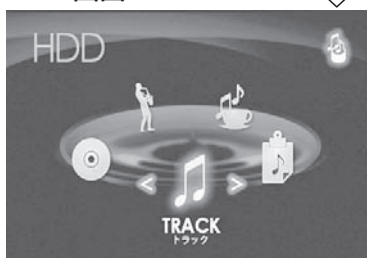
⑲ リモコン受光部〔18〕
リモコンからの信号を受信します。

表示画面

TOP(トップ)画面

TOP画面では、セレクターを切り換えたり、各種設定やタイマーの設定などすべての操作を行うことができます。本体のINPUT(インプット)ボタンまたは本体かリモコンのトップ(TOP)ボタンを(くり返し)押して表示します。

SETUP(セットアップ)画面

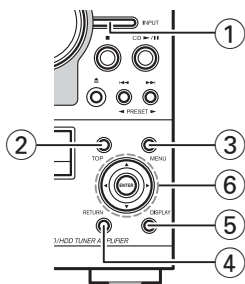
SETUP画面では、時計合わせ、ネットワークの設定、システムの初期化などを行うことができます。

HDD画面

HDD(ハードディスク)を操作する画面です。アーティスト、アルバム、トラックを検索したりプレイリスト再生やBGM再生をすることができます。

ご注意　本製品の表示部には液晶ディスプレイを用いております。液晶ディスプレイは非常に高い技術で作られていますが、画面に画素欠けや赤い点、青い点または緑の点が常時点灯する画素が存在する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■画面操作をする

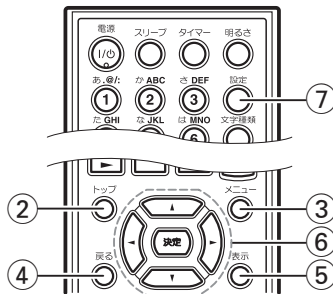
操作ボタンは基本的に以下の動作をします。

本体ボタン

リモコンボタン

① **INPUT(インプット)ボタン**
TOP画面を表示します。

② **トップ(TOP)ボタン**
くり返し押すと、TOP画面に戻ります。

③ **メニュー(MENU)ボタン**
HDD画面やCD画面などでメニューを表示します。

④ **戻る(RETURN)ボタン**
1つ前の画面に戻ります。

⑤ **表示(DISPLAY)ボタン**〔23、41〕
表示を切り換えます。

⑥ **▲/▼/◀/▶、決定(ENTER)ボタン**
項目を選択、決定します。

⑦ **設定ボタン**
SETUP画面を表示します。

リモコン（RC-722S）

〔　　〕内のページに主な説明があります。

スリープボタン〔60〕
スリープタイマーを設定します。

電源ボタン〔19〕
本機の電源を入/切します。

数字/文字入力ボタン〔23、56〕
数字、文字や記号を入力するときに使用します。

ANY MUSIC（エニー　ミュージック）ボタン〔28、45〕
エニーミュージックセレクターに切り換えます。
このボタンはスタンバイ状態でも動作します。

プレイリスト登録/楽曲クリップボタン〔28、44〕
FMラジオで音楽情報を保存（クリップ）したり（エニーミュージックの機能）、HDDの曲をプレイリストに登録するときに使います。

セレクター切換ボタン〔20〕

> **HDD ►（プレイ）ボタン：**
> HDDに切り換えて再生します。
> このボタンはスタンバイ状態でも動作します。
>
> **CD ►（プレイ）ボタン：**
> CDに切り換えて再生します。
> このボタンはスタンバイ状態でも動作します。
>
> **USB ►（プレイ）ボタン：**
> USBに切り換えて再生します。
> このボタンはスタンバイ状態でも動作します。
>
> **FM/AMボタン：**
> FMまたはAMに切り換えます。
>
> **LINE（ライン）1/2ボタン：**
> LINE1またはLINE2に切り換えます。

BGMモード►（プレイ）ボタン〔43〕
HDDの全曲をBGMモードで再生します。
このボタンはスタンバイ状態でも動作します。

アルバム▲/▼ボタン〔22、41〕
アルバムを選択します。

HDD録音●（レック）/❚❚（ポーズ）ボタン〔37〕
HDDに録音するときに使用します。

タイマーボタン〔61～63〕
タイマー再生やタイマー録音を設定します。

明るさボタン〔20〕
表示画面の明るさを切り換えます。

設定ボタン
SETUP画面を表示します。

文字種類ボタン〔56〕
入力する文字の種類（漢字、全角カタカナ、半角英字など）を切り換えます。

文字変換ボタン〔56〕
入力した文字を変換します。

トーンボタン〔25〕
高音、低音を調整します。

消音ボタン〔25〕
一時的に音を消します。

文字クリアボタン〔56〕
入力した文字を削除します。

音量▲/▼ボタン〔25〕
音量を調整します。

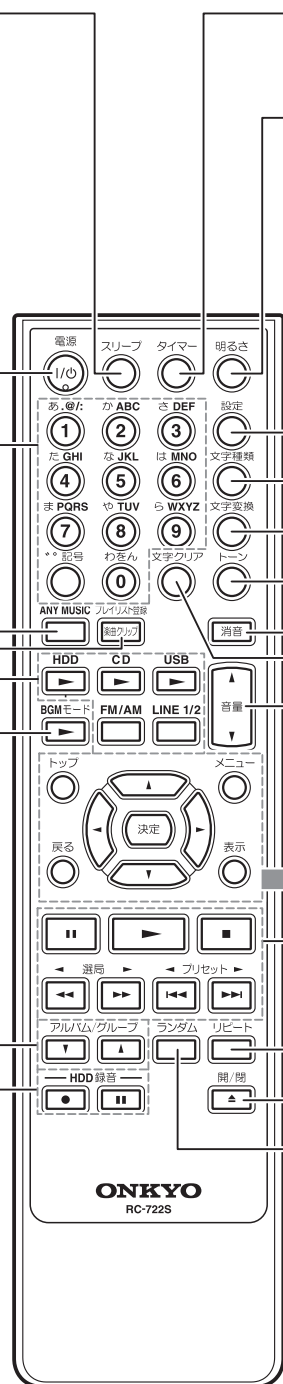
前ページをご覧ください。

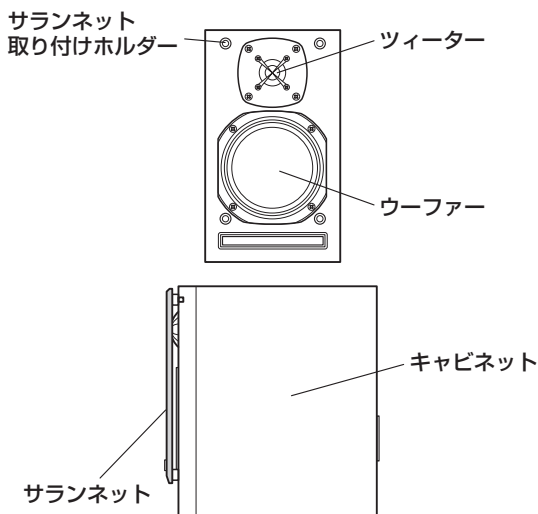
再生ボタン

> **❚❚（ポーズ）ボタン**：再生を一時停止します。
> **►（プレイ）ボタン**：再生を始めます。
> **■（ストップ）ボタン**：再生を停止します。
> **◀◀/▶▶、選局◀/▶ボタン：**
> 曲を早戻し/早送りしたり、ラジオの周波数を合わせます。
> **|◀◀/▶▶|、プリセット◀/▶ボタン：**
> 再生する曲を選んだり、ラジオのプリセット局を選びます。

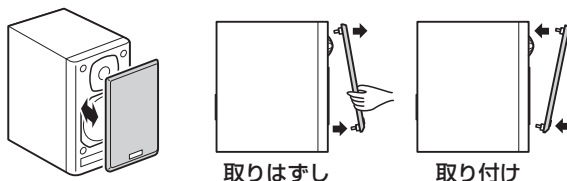
リピートボタン〔24、31、43〕
リピート再生を設定します。

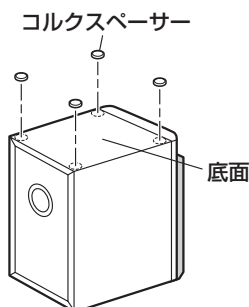
開閉▲ボタン〔22〕
CDトレイを開閉します。

ランダムボタン〔24、31、43〕
ランダム再生を設定します。

スピーカー（D-N7TX）X-NX10Aにのみ付属

X-NX10Aに付属のスピーカー（D-N7TX）は左側スピーカーと右側スピーカーの形は同じです。どちらを左側/右側で使用しても音質は変わりません。

サランネットの脱着について

D-N7TX は前面のサランネットを取りはずすことができます。サランネットを付けたりはずしたりするときは、次のように行ってください。

1. サランネットの下側を両手で持ち、手前に軽く引っ張り、サランネットの下側をはずします。
2. 同じようにサランネットの上側を手前に引っ張ると、サランネットは本体からはずれます。
3. 取り付けるときは、サランネットの四隅にあるピンを本体のサランネット取り付けホルダーに合わせて押し込みます。

付属のコルクスペーサーを使う

より良い音でお楽しみいただくために、付属のコルクスペーサーのご使用をおすすめします。また、コルクスペーサーを使用することで、すべりにくく安定して設置することができます。

スピーカーの取り扱いについて

お手入れについて

D-N7TXの表面は時々柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液に、柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと乾いた布で仕上げをしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。
スピーカーのサランネットにほこりがついたときは、掃除機で吸い取るか ブラシをかけるとよくほこりを取ることができます。

テレビやパソコンとの近接使用について

一般にテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなものですので、普通のスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。
D-N7TXは（社）電子情報技術産業協会の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、テレビなどとの近接使用が可能です。ただし、設置のしかたによっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15分〜30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能によって画面への影響が改善されます。その後も色むらが残る場合はスピーカーをテレビから離してください。また、近くに磁石など磁気を発生するものがあると本機との相互作用により、テレビに色むらが発生する場合がありますので設置にご注意ください。

D-N7TXのツィーターには強力な磁石を採用していますので、ドライバーや鉄等の磁性体を近づけないでください。吸い付けられてけがをしたり、振動板が破損する原因となります。

取り扱い上のご注意

D-N7TXは通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。
① FMチューナーが正しく受信していないときのノイズ
② 発振器や電子楽器等の高い周波数成分の音
③ オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
④ マイク使用時のハウリング
⑤ テープレコーダーを早送りしたときの音
⑥ アンプが発振しているとき
⑦ ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音

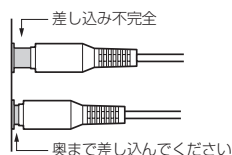
接続する

接続の前に

- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 電源コードはすべての接続が終わるまでつながないでください。

オーディオ用ピンコードは以下のように接続してください。

- 赤いプラグを右チャンネル（R の表示）、白いプラグを左チャンネル（L の表示）に接続してください。

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。

- オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと束ねないでください。音質が悪くなることがあります。
- テレビの映像が乱れたり、本機の出力音声に雑音が入るときは、本機をテレビからできるだけ離して設置してください。

設置の際は、本機の上部に他の機器をのせないでください。
通風孔がふさがれて故障の原因となります。

各ページをご覧になり接続をしてください。

FM/AMアンテナ接続
16ページ

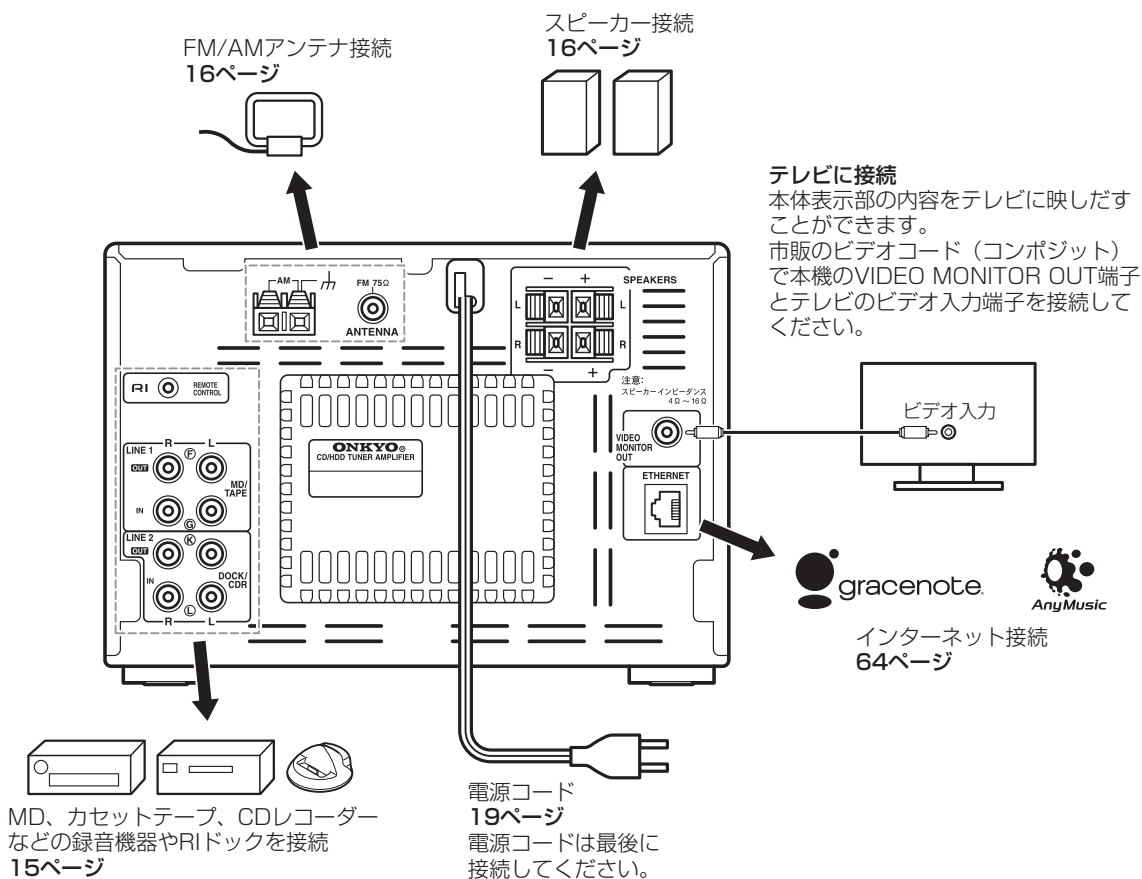
スピーカー接続
16ページ

テレビに接続
本体表示部の内容をテレビに映しだすことができます。
市販のビデオコード（コンポジット）で本機のVIDEO MONITOR OUT端子とテレビのビデオ入力端子を接続してください。

ビデオ入力

インターネット接続
64ページ

MD、カセットテープ、CDレコーダーなどの録音機器やRIドックを接続
15ページ

電源コード
19ページ
電源コードは最後に接続してください。

外部機器を接続する

MDレコーダー、カセットデッキ、CDレコーダーなどの外部機器やオンキヨー製RIドックを接続することができます。

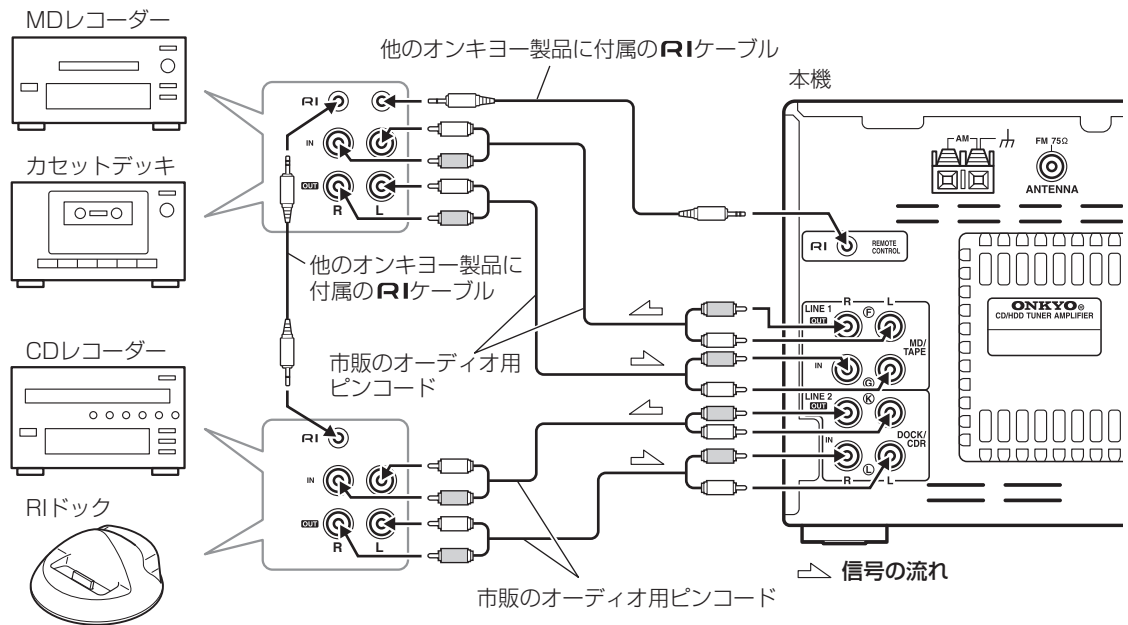
■MDレコーダーやカセットデッキを接続する

本機のLINE 1 IN/OUT端子と、MDレコーダーやカセットデッキのアナログ音声入出力端子を市販のオーディオ用ピンコードで接続してください。

オンキヨー製MDレコーダー /カセットデッキの場合
以下の接続とRI接続をしてください。
MDレコーダー：本機のⒻ端子とMDレコーダーのⒻ端子、本機のⒼ端子とMDレコーダーのⒼ端子を接続します。
カセットデッキ：本機のⒻ端子とカセットデッキのⒹ端子、本機のⒼ端子とカセットデッキのⒺ端子を接続します。

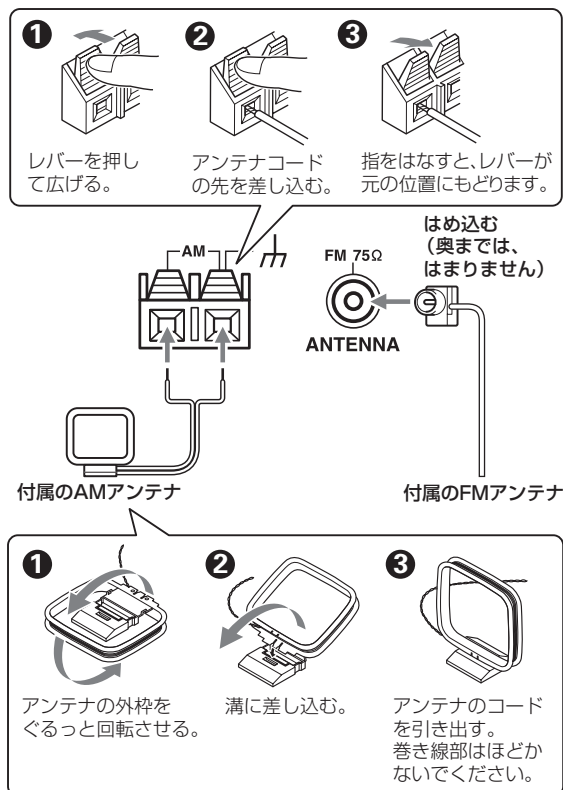
■CDレコーダーやオンキヨー製RIドックを接続する

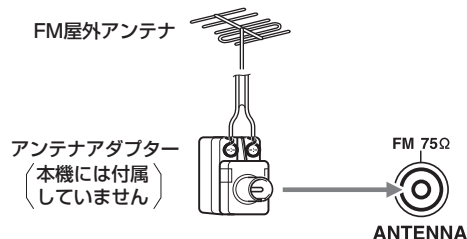
本機のLINE 2 IN/OUT端子と、CDレコーダーやオンキヨー製RIドックのアナログ音声入出力端子を市販のオーディオ用ピンコードで接続してください。

オンキヨー製CDレコーダー /RIドックの場合
以下の接続とRI接続をしてください。
CDレコーダー：本機のⓀ端子とCDレコーダーのⓀ端子、本機のⓁ端子とCDレコーダーのⓁ端子を接続します。
RIドック：本機のⓁ端子とRIドックのAUDIO OUT L/R端子を接続します。

RI機能を使うには
- 入力の表示名称を「MD」、「TAPE」、「CD-R」または「DOCK」に変更する必要があります。(☞32 ページ)
- RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも必ず接続してください。

ご注意
- 本機にRIケーブルは付属していません。他のオンキヨー機器に付属のRIケーブルをお使いください。
- RI端子はRI端子付きオンキヨー製品と組み合わせてご使用ください。
- RI端子が 2 つある場合、2 つの端子の働きは同じです。どちらにでも接続できます。

ラジオのアンテナを接続する

アンテナ位置の調整と固定は実際に放送を聞きながら行います。（☞26 ページ）

AM アンテナのコードは、分岐した先端を左右端子のどちらに接続してもかまいません。（スピーカーコードのように、左右や ⊕/⊖ などの区別はありません。）

■FM屋外アンテナを接続するときは

市販のアンテナアダプターを使用して、上図のように接続します。
- 建物の陰にならず、FM 放送電波が直接受信できる所に設置してください。
- 自動車のエンジンによる雑音を避けるため、道路からできるだけ離れたところに設置してください。

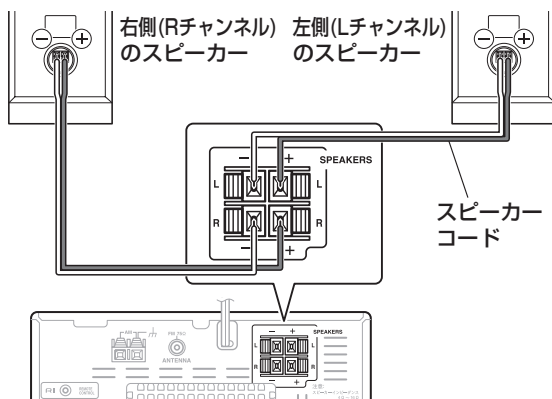
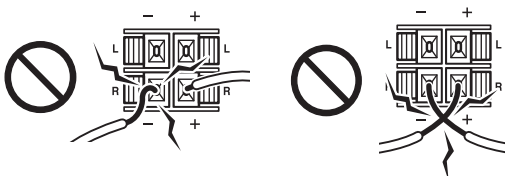
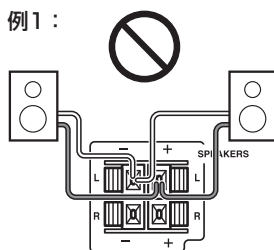
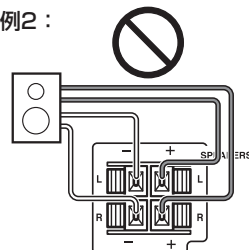
ご注意

送電線の近くは危険ですので絶対に設置しないでください。
- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。

スピーカーを接続する

1.ビニールカバーをはずしスピーカーコードのしん線部をよじります。

2.スピーカー端子のレバーを押しながらコードの先端を差し込みます。
指を離すとレバーが戻ります。
しん線がわずかに外に出ているようにしてください。

3.スピーカーコードを軽く引っ張ってみて確実に接続されているかどうか確認してください。

スピーカーのプラス⊕と本体のプラス⊕を、スピーカーのマイナス⊖と本体のマイナス⊖を接続します。
- 故障を防ぐため、スピーカーコードのしん線どうしや背面パネルに絶対に接触させないでください。

- インピーダンスが4Ω（オーム）〜16Ωのスピーカーを接続してください。4Ω未満のスピーカーを接続すると、アンプ部が故障することがあります。
- プラス⊕とマイナス⊖を間違って接続したり、左右のスピーカーを間違って接続すると、音声が不自然になりますのでご注意ください。
- 片チャンネルのスピーカー端子に複数のスピーカーを接続（例1）したり、1つのスピーカーから両チャンネルのスピーカー端子に並列して接続（例2）しないでください。故障の原因になります。

スピーカーの設置について

スピーカーの音質は、設置する部屋の構造、広さ、家具の配置や大きさなどによって大きく変化します。より良い音を楽しんでいただくために、次のことにご注意ください。

- スピーカーを床に直接置くと、低音が出過ぎていわゆるブーミーな音になります。スピーカースタンドまたはブロック、レンガ、堅い棚等の上に置くようにしてください。
- 低音が足りないときは、スピーカースタンドを低くして堅い壁面の前に置くと、低音を豊かにすることができます。
- 部屋の中では家具や壁の影響で音質が変わります。できる限り左右の音響条件が揃うことが、良い結果になります。
- お聞きになる位置（リスニングポジション）が左右のスピーカーを底辺とした正三角形の頂点、または頂点より少しうしろになるように設置するのが理想的です。
- スピーカーの正面にガラス戸や堅い壁があると、音が反射し、ある周波数だけ共振することがあります。このようなときは、厚手のカーテン等をかけて吸音処理をすることをおすすめします。

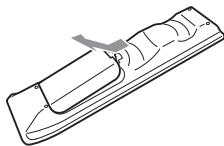
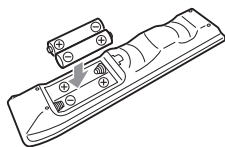
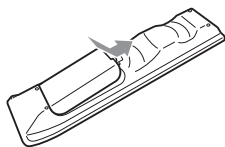
ご注意

- スピーカーのキャビネットは木工製品ですので、温度や湿度の極端に高いところや低いところは好ましくありません。直射日光のあたるところや冷暖房器具の近く、湿気の多い場所には設置しないでください。
- しっかりした水平な場所に設置してください。

準備する

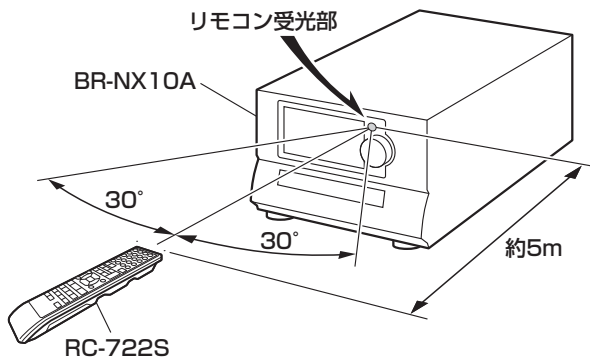
リモコンを準備する

乾電池を入れる

1. カバーを矢印の方向にずらして開ける

2. 中の極性表示にしたがって、付属の乾電池2個をプラス⊕とマイナス⊖を間違えないように入れる

3. カバーを戻す

ご注意

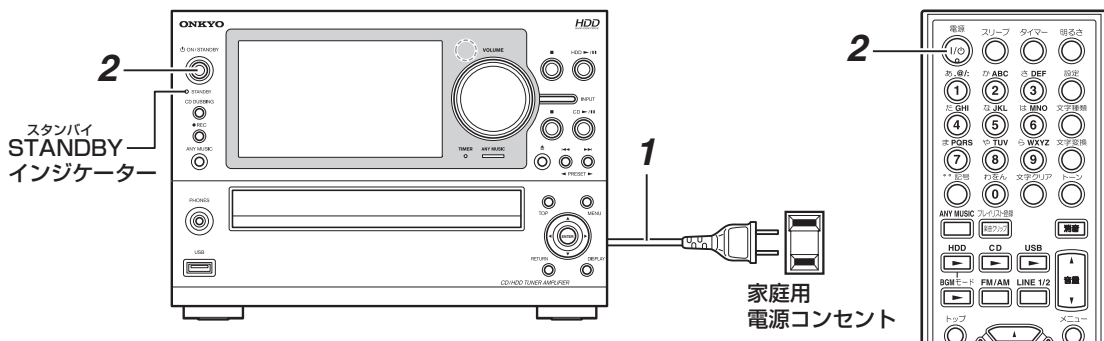
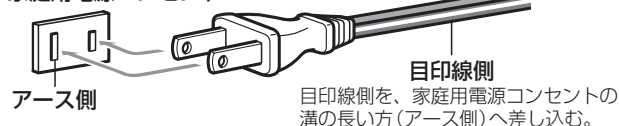
- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 消耗した電池を入れたままにしておきますと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、古い電池を取り出して2本とも新しい電池と交換してください。
- 電池の交換時には、単3形をご使用ください。

リモコンの使いかた

リモコンを本機のリモコン受光部に向けて使用してください。

ご注意

- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていたり、装飾フィルムを貼っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

電源を入れる

目印線側を、家庭用電源コンセントの溝の長い方（アース側）へ差し込む。

電源コードを接続する前に
すべての接続が完了していることを確認してください。本機の電源を入れると，瞬間的に大きな電流が流れてコンピュータなどの機器の動作に影響を与えることがあります。コンピュータなど、繊細な機器とは別系統のコンセントに接続することをおすすめします。

より良い音で聞いていただくために
本機の電源コードは極性の管理がされています。電源コードの目印線側を家庭用電源コンセントの溝の長い方に合わせて差し込んでください。家庭用電源コンセントの溝の長さが同じ場合はどちらを接続してもかまいません。

1 電源コードをコンセントにつなぐ

電源コードを接続すると、自動初期設定が始まります
本機のSTANDBY（スタンバイ）インジケーターが点滅し、初期設定画面が表示されます。
自動初期設定が完了して、スタンバイ状態になるまでしばらくお待ちください。
スタンバイ状態になると、STANDBY インジケーターが点灯します。

初期設定画面

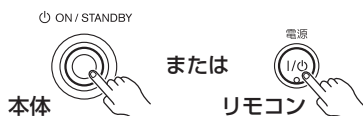
STANDBY
点滅 → 点灯（初期設定完了）

ご注意
- 自動初期設定中は、電源コードを絶対に抜かないでください。
- 本機の状態によっては、自動初期設定に数分かかることがあります。

2 電源を入れる

本体のON（オン）/STANDBY（スタンバイ）ボタン、またはリモコンの電源ボタンを押す

電源が入ると、表示部に画面が表示されます。

■電源を切るときは

本体のON/STANDBYボタン、またはリモコンの電源ボタンを押すと、STANDBYインジケーターが点灯してスタンバイ状態になります。

準備する　－基本の操作を理解する－

画面を操作する

本機は、TOP 画面からセレクターを切り換えたり、時計合わせ、ネットワークの設定やタイマーの設定などすべての操作を行うことができます。

●セレクター

HDD
ハードディスク

LINE 1
MD/TAPE 入力

CD

LINE 2
DOCK/CD-R入力

USB
USB ストレージ*

ANY MUSIC
エニーミュージック

TUNER

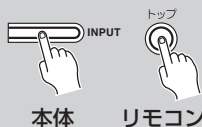
＊USBストレージはUSBタイプのフラッシュメモリー、デジタルオーディオプレーヤー、ハードディスクを指します。
本機で使用できる機種については、http://www.jp.onkyo.com/support/brnx10a/をご覧ください。

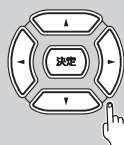
●設定

SETUP
設定

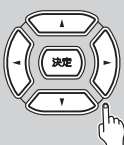
TIMER
タイマー設定

本機の表示画面の明るさを変えることができます。
リモコンの明るさボタンを（くり返し）押してください。3段階に調節できます。
テレビに映し出した映像の明るさは、変化しません。

1 TOP画面を開く

本体のINPUTボタンまたはリモコンのトップボタンを（くり返し）押して、TOP画面を開く

2 セレクターや設定を選ぶ

◀/▶ボタンでセレクターや設定を選び、決定（ENTER）ボタンを押す

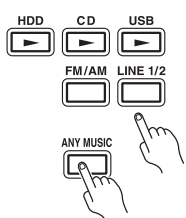
リモコン

3 画面を操作する

▲/▼/◀/▶ボタンで選択し、決定（ENTER）ボタンを押して決定する
各種メニュー画面も同様に操作してください。

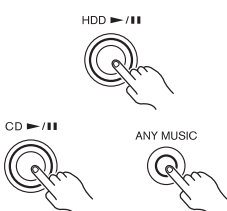
リモコン

セレクターを切り換える

リモコンや本体ボタンで、再生、録音したいセレクターに直接切り換えます。

●リモコンを使って切り換える

HDD▶ボタン*	HDDに切り換えて再生します。
CD▶ボタン*	CDに切り換えて再生します。
USB▶ボタン*	USBに切り換えて再生します。
FM/AMボタン	ラジオ（FMまたはAM）に切り換えます。 押すたびにFMとAMが交互に切り換わります
LINE 1/2ボタン	外部入力（LINE1またはLINE2）に切り換えます。 押すたびにLINE1とLINE2が交互に切り換わります。
ANY MUSICボタン*	エニーミュージックに切り換えます。

●本体ボタンで切り換える

CD ►/❚❚
ANY MUSIC

HDD▶/❚❚ボタン*	HDDに切り換えて再生します。
CD▶/❚❚ボタン*	CDに切り換えて再生します。
ANY MUSICボタン*	エニーミュージックに切り換えます。

＊のついているボタンは、スタンバイ状態でも動作します。

時計を合わせる

本機の機能が正しく動作するためには、時計を合わせておく必要があります。時計の合わせ方には、手動で合わせる方法とインターネットに接続して自動で合わせる方法があります。

1 SET CLOCK（時計合わせ）画面を開く

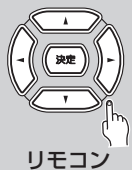
①「TOP」画面から「SETUP」を選び、決定ボタンを押す
②「SETUP」画面から「SET CLOCK（時計合わせ）」を選ぶ

2 設定方法を選択する

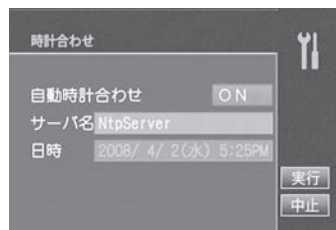
「自動時計合わせ」を選び、決定ボタンを押して設定方法を選ぶ

●手動で時計を合わせるときは「OFF」を選択する

●インターネットに接続して自動で時計を合わせるときは「ON」を選択する

3 時計を合わせる

①「日時」を選び、決定ボタンを押す
②◀/▶ボタンで年/月/日/時刻を選び▲/▼ボタンで日時を合わせて、決定ボタンを押す

③「実行」を選び、決定ボタンを押す

①「サーバ名」を確認する
「NtpServer」と表示されているか確認してください。あらかじめ設定されているネットワークタイムサーバで時計を合わせます。
サーバ名を変更するときは、決定ボタンを押してサーバ名を入力してください。（文字入力の方法は 56 ページをご覧ください。）

②「実行」を選び、決定ボタンを押す
時計が自動的に設定されます。

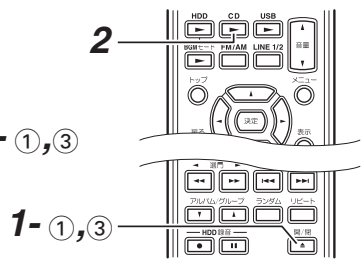
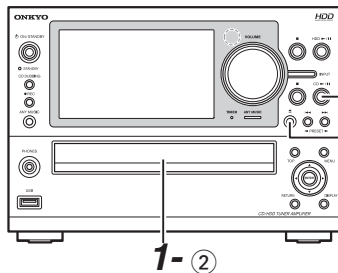
設定を途中でやめるときは
「中止」を選んで決定ボタンを押すか、戻る（RETURN）ボタンを押してください。

インターネットに接続して自動で時計を合わせるときは
- あらかじめネットワークの接続状態を確認してください。正しくネットワークの設定がされていないと NTP サーバへ接続できない場合があります。（☞66 ページ）
- プロキシサーバを使っているときは、ご利用のプロキシサーバが NTP サーバへの通信を中継しない場合がありますので、プロバイダなどにご確認ください。
- サーバ名を変更した場合、サーバ名をお買い上げ時の設定に戻すには、文字入力画面で文字クリアボタンを押して入力した文字をすべて消してから、決定ボタンを押してください。

CDを再生する

CDを再生する

音楽 CD と MP3 ファイルが記録された CD-R/RW を再生できます。

セレクターを CD に切り換えてください。（☞20 ページ）

1 CD をセットする

本体 リモコン
または 開/閉

本体 リモコン
または 開/閉

① 本体の▲ボタンまたはリモコンの開閉▲ボタンを押して、CDトレイを開く

② CDをCDトレイに置く

レーベル面を上にしてCDトレイの上に置きます。
シングルCDのときは、内側のくぼみの中に置きます。

③ 本体またはリモコンの▲ボタンを押して、CDトレイを閉じる

音楽CDの場合、CDトレイが閉じると、CD情報の検索が始まります。（☞23ページ）
MP3 CDの場合は、フォルダ名やファイル名が表示されます。

2 再生する

本体

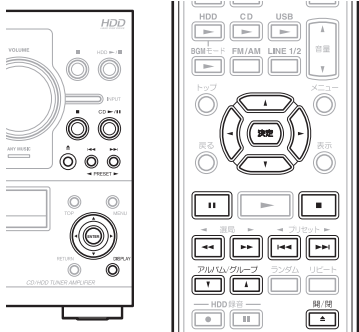
または

リモコン

本体のCD►/❚❚ボタンまたは
リモコンのCD ►ボタンを押す

※MP3 CDの場合は、アルバム名がフォルダ名、曲名がファイル名で表示されます。

1 曲表示

- アルバム名 — こんな月の輝く夜には
- アーティスト名 — ヒポポタミ
- 曲名 — ▶ 001. こんな月の輝く夜には
- 経過時間/残り時間 — 0:11 -4:02
- ディスク情報（PCMまたはMP3） — PCM
- ランダム表示
- リピート表示

一時停止する

リモコンの❚❚ボタンまたは本体のCD►/❚❚ボタンを押します。
もう一度押すと停止した場所から再生を始めます。

曲を選ぶ

表示（DISPLAY）ボタンで曲一覧表示（23ページ）に切り換え、▲/▼ボタン（MP3は▲/▼/◀/▶ボタン）で曲を選びます。

アルバムを選ぶ（MP3）

リモコンのアルバム▲/▼ボタンを押してアルバムを選びます。

再生を止める

本体のCD■ボタンまたはリモコンの■ボタンを押します。

前後の曲を選ぶ

I◀◀/▶▶Iボタンを押して前後の曲を選びます。

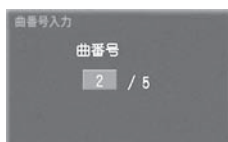
早戻し/早送りをする

再生中/一時停止中にリモコンの◀◀/▶▶ボタンを押し続け、聞きたいところで指を離します。

ディスクを取り出す

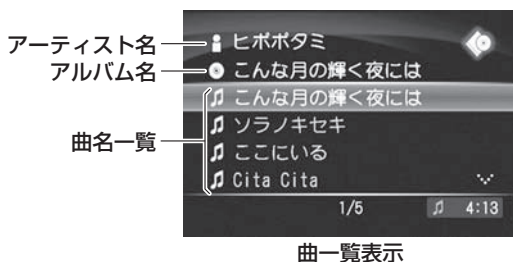
▲ボタンを押してディスクを取り出します。

■数字ボタンを使って曲を選ぶ

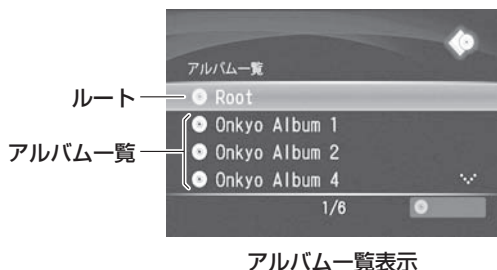
直接数字ボタンを押します。
例えば、25曲目を選ぶときは「2」、「5」を押します。曲番号入力画面に選択したい曲番号が入力できたら決定（ENTER）ボタンを押します。

■音楽CDとMP3が混在するディスクを再生する

音楽CDとMP3が混在するディスクをセットしたときは、メニュー（MENU）ボタンを押してメニューから「音楽CD」または「MP3」どちらを再生するか設定してください。

■表示を切り換える

表示（DISPLAY）ボタンを押すと、１曲表示と曲一覧表示を切り換えます。

曲一覧表示

MP3の場合、曲一覧表示で◀ボタンを押すと、アルバム一覧を表示します。▲/▼ボタンでアルバムを選び、▶ボタンでアルバム内のトラックを表示します。▲/▼ボタンで再生するトラックを選び、決定（ENTER）ボタンを押すと再生が始まります。

アルバム一覧表示

CDの曲情報を取り込む（音楽CDの場合）

本機には、Gracenote Music Recognition Serviceが提供しているCD情報の内の約35万アルバムの情報があらかじめ登録されています。
CDをセットしたときに、その中からCD情報を自動的に検索します。新曲などのため本機に登録されていない場合は、インターネット経由で検索できます。（インターネットの接続が必要です。☞64ページ）
Gracenote Music Recognition Serviceは、インターネット上のサーバに存在する音楽CDに関するデータベースにアクセスし、音楽CDのアルバム名、アーティスト名、曲名などの情報を読み込めるサービスです。

■CDの曲情報を自動で取得する

CDをセットすると自動的に曲情報が取得されます。複数の候補が検索される場合は、正しい曲情報を選んで、「決定」を選んでください。
自動で曲情報を取得したくないときは、68ページで「曲情報取得（CD）」設定を「OFF」にしてください。

■CDの曲情報を手動で取得する

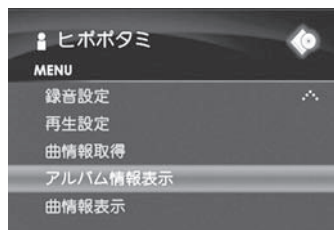
自動で取得した曲情報が間違っているときなどに、手動で取得しなおすこともできます。

① **メニュー（MENU）ボタンを押してメニュー画面を開き「曲情報取得」を選ぶ**
曲情報が検索されます。

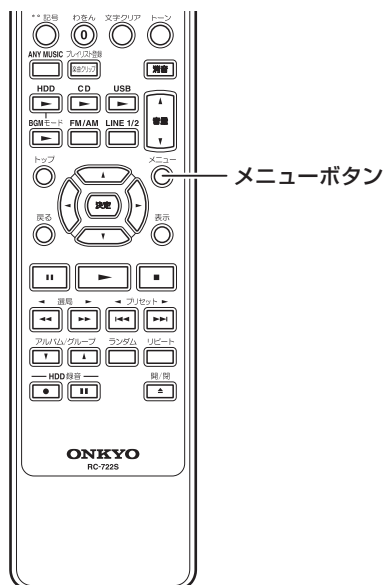
② **検索結果を確認して「決定」を選ぶ**
複数の候補があるときは、正しい情報を選んでから「決定」を選んでください。
検索結果が正しくない場合は、「再取得」を選んでください。

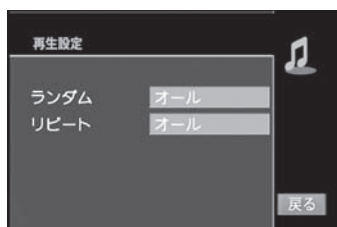
CDの情報を見る

① **情報を見たい曲を選ぶ**

② **メニュー（MENU）ボタンを押してメニューを開き、音楽CDの場合は「アルバム情報表示」または「曲情報表示」を選び、MP3のときは「曲情報（ID3）表示」を選ぶ**
- 音楽CDの場合、停止中のみ「曲情報表示」が選べます。
- MP3の場合、停止中のみID3タグ情報を表示します。ID3ｖ2に対応しています。

＊アーティスト名や曲名を選んで決定（ENTER）ボタンを押すと、全文を表示することができます。

CDのいろいろな再生

曲順を変えて再生（ランダム）したり、くり返して再生（リピート）できます。

■メニュー画面で設定する

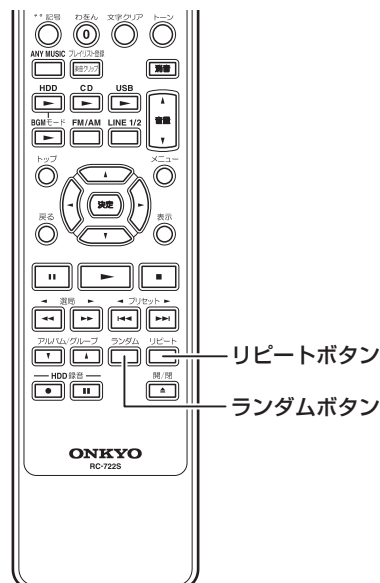
① メニュー（MENU）ボタンを押してメニュー画面を開き「再生設定」を選ぶ
②「ランダム」と「リピート」を設定する

●ランダム

OFF	通常の再生です（お買い上げ時の設定）
オール	ディスク内の曲順を変えて再生します

●リピート

OFF	リピート再生しません（お買い上げ時の設定）
オール	ディスク内の曲をくり返して再生します
1 曲	1 曲だけをくり返し再生します

■リモコンで設定する

リモコンのリピートボタンとランダムボタンでも、リピート再生とランダム再生を設定することができます。

ランダムボタンをくり返し押すと、以下を切り換えます。

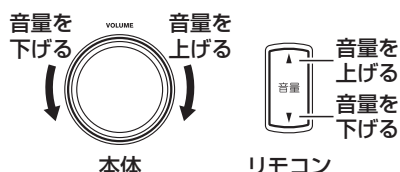
リピートボタンをくり返し押すと、以下を切り換えます。

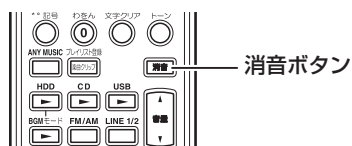
！ヒント

ランダム再生とリピート再生を組み合わせて使うこともできます。

音の調節

●音量を調節する

音量は基本的にMIN、1～30、MAXまでの範囲で調節できます。

●一時的に消音にする

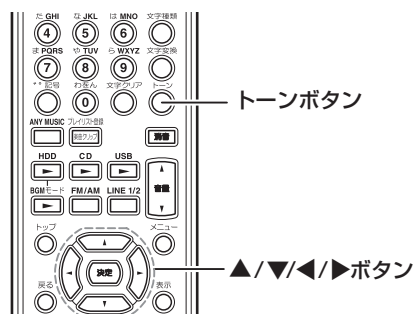
（リモコンのみの機能です）

消音ボタンを押してください。音声が消えます。
もう一度消音ボタンを押すか、音量を上げると解除されます。一度スタンバイ状態にしてから再度電源を入れたときも解除されます。

消音中は、消音マークが点灯します

●ヘッドホンで聞く

ヘッドホンのステレオミニプラグを接続します。
接続するときは音量を下げてください。
スピーカーの音は消えます。

●トーン（音質）を調節する

BASS（低音）、TREBLE（高音）、S. BASS（低音の強調）を調節することができます。

① **リモコンのトーンボタンを押す**
トーン調節画面が表示されます。

② **▲/▼ボタンでBASS、TREBLE、S. BASSを選ぶ**

③ **◀/▶ボタンで調節する**
BASS（低音）とTREBLE（高音）は、－3～＋3の範囲で調節できます。
S.BASSはON/OFFを切り換えます。ONにすると、低音が強調されます。

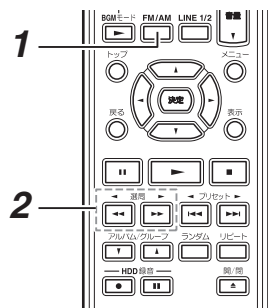
音のエチケット

楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのもひとつの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

ラジオを聞く

ラジオ局を選ぶ

アンテナを接続しておいてください。（☞16 ページ）

セレクターを TUNER（チューナー）に切り換えてください。（☞20 ページ）

1 FM/AM を切り換える

リモコンの FM/AM ボタンを押して FM と AM を切り換える

TUNER（チューナー）の画面でメニューから切り換えることもできます。
メニュー（MENU）ボタンを押して、▲/▼ボタンで「FM/AM切り換え」を選び、決定（ENTER）ボタンを押してください。

2 放送局を探す

! ヒント

▲/▼ボタンでも手動でチューニングできます。

リモコン

または

本体

自動でチューニングする

リモコンの選局◀ボタンまたは選局▶ボタンを長押しする

画面に「AUTO（オート）」と表示され、自動的に放送局の周波数に合わせます。

手動でチューニングする

選局◀ボタンまたは選局▶ボタンをくり返し押して、聞きたいラジオ局の周波数に合わせる

画面に「MANUAL（マニュアル）」と表示されます。
1回押すごとに周波数がFMでは0.05MHz、AMでは9kHzずつ変わります。

TV 音声について

テレビの１～３チャンネルの音声が聞けます。
1CH：95.75MHz、2CH：101.75MHz、3CH：107.75MHz

- 本機のテレビ音声受信回路は、FM 放送受信回路と兼用しています。このため、地域によっては、FM 放送が混信することがあります。
- 音声多重放送は受信できません。
- テレビ音声はモノラルで受信されます。

お知らせ

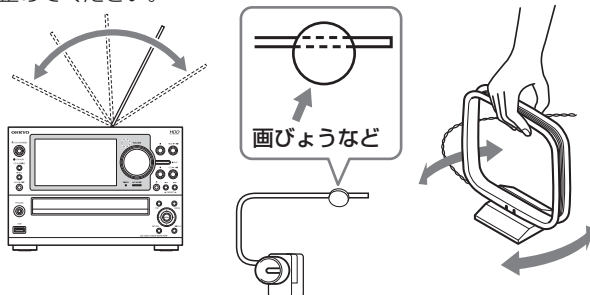
地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、テレビの音声を聞くことはできません。
本機で受信できるVHF1～3CHについても同様となります。

■放送を聞きながらアンテナの位置を調整してください

FM アンテナは、画びょうなどでアンテナの先を軽く挟んで止めてください。

ご注意

画びょうを使うときは、指先などにけがをしないように注意してください。

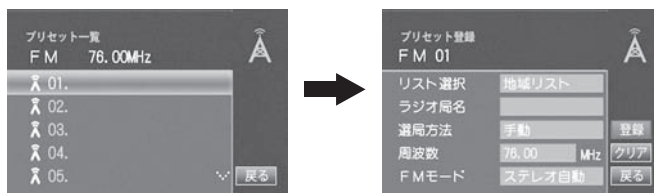
AM アンテナは、本機からできるだけ遠ざけ、置く位置を変えたり、左右に回して調整してください。

ラジオ局をプリセットに登録する

ラジオ局を簡単に呼び出せるように、プリセットに登録しておくことができます。

1 メニューからプリセット登録一覧画面を開く

① リモコンのFM/AMボタンを押してFMとAMを切り換える
② メニュー（MENU）ボタンを押してメニュー画面を開く
③「プリセット登録・一覧」を選んで、決定（ENTER）ボタンを押す

2 登録するプリセット番号の登録画面を開く

登録するプリセット番号を選び、決定（ENTER）ボタンで登録画面を開く

3 プリセットを登録する

FMは20局、AMは10局まで登録することができます。

① ラジオ局名の入力方法を選ぶ

— FM —

「リスト選択」からラジオ局名の入力方法を選ぶ

エニーミュージック未登録のとき：

「全国リスト」を選びます。
ラジオ局名を新規で入力したい場合は「手動入力」を選んでください。

エニーミュージックに登録しているとき：

「地域リスト」または「全国リスト」を選びます。
＊エニーミュージックの登録方法は45ページをご覧ください。

— AM —

「エリア選択」からお住まいの（エリア）を選ぶ

ラジオ局名を新規で入力したい場合は「手動入力」を選んでください。

②「ラジオ局名」を選び、プルダウンメニューから選ぶか、新しく入力する
①の設定によって操作方法が異なります。①で「手動入力」を選んだときは、ラジオ局名を入力してください。文字入力の方法は56ページをご覧ください。

③「選局方法」から「自動」または「手動」を選ぶ
「自動」を選ぶと、④で▲/▼ボタンを押すだけで自動で周波数を合わせることができます。

④「周波数」を選び、決定（ENTER）ボタンを押し、▲/▼ボタンで周波数を合わせる

⑤「登録」を選び、決定（ENTER）ボタンを押し、登録を完了する
登録内容を消すときは、「クリア」を選び決定（ENTER）ボタンを押してください。

■FMステレオ放送を受信中に雑音が多いときは

モノラル受信に設定すると、雑音が少なくなります。上記手順 ***3*** のプリセット登録画面で、「FMモード」を「モノラル固定」に設定してください。元に戻すには、「ステレオ自動」を選んでください。

■登録したプリセット局を選ぶ

1 リモコンのFM/AMボタンを押してFMとAMを切り換える

2 プリセット◀/▶ボタンまたは◀/▶ボタンでプリセット番号を選ぶ
数字ボタンでプリセット番号を入力し、決定（ENTER）ボタンで選ぶこともできます。

ラジオ局の詳細情報を見る

① プリセット ◀/▶ ボタンでプリセット局を選ぶ

② メニュー（MENU）ボタンを押してメニューを開き、「詳細情報」を選ぶ

＊ラジオ局名を選んで決定（ENTER）ボタンを押すと、全文を表示することができます。

FMオンエア情報（エニーミュージック）

「エニーミュージック」に登録すると、FM放送のオンエア情報（放送中の番組情報や放送された曲の情報など）を見たり、本機に楽曲情報を保存（クリップ）しておくことができます。クリップした楽曲情報は一覧表示したり、「音楽ダウンロード」や「オンラインCDショップ」の検索情報として利用できます。

「ラジオ局をプリセットに登録する」（前ページ）で「エニーミュージックに登録しているとき」の方法にしたがって、プリセット登録しておいてください。
＊エニーミュージックの登録方法は45ページをご覧ください。

■FMオンエア情報をチェックする

プリセット局を選ぶと、FMオンエア情報が提供されている局は、画面上のNOW ON AIRが点灯して以下のオンエア情報が自動的に表示されます。

オンエア番組情報：
番組名、放送開始/終了時間

オンエア楽曲情報：
楽曲名、/アーティスト名、オンエア開始時間

＊ FM オンエア情報を確認できるのは、JFN 系列 38 局です。（2008年6月現在）

！ヒント

• 表示（DISPLAY）ボタンを押すと、情報をスクロールします。
• エニーミュージックでは、過去のオンエア情報も見ることができます。（☞47 ページ）

■FMオンエア情報を保存（クリップ）⇒楽曲をダウンロード/購入する

表示されているオンエア情報（楽曲情報）を本機に保存（クリップ）し、エニーミュージックで楽曲をダウンロードしたり、オンラインCDショップで購入することができます。

① **保存したいオンエア情報のときにリモコンの楽曲クリップボタンを押す**

画面に最新の楽曲を含め、過去にオンエアされた3曲分の情報が表示されます。

② **クリップする楽曲情報を選ぶ**
3曲の中から情報を選び、決定（ENTER）ボタンを押してください。楽曲がクリップ（保存）されます。

クリップした情報が表示されるので、確認したら「閉じる」を選んでください。

③ **ANY MUSICボタンを押す**

エニーミュージックを開きます。

④ **FM INFOからクリップした曲を選ぶ**
「FM INFO」を選び、決定（ENTER）ボタンを押してクリップした曲の一覧を表示させます。

⑤ **曲をダウンロード/オンラインCDショップで購入する**
一覧から目的の曲を選んで決定（ENTER）ボタンを押してください。
クリップした曲の詳細情報が表示されます。
ダウンロード検索、CDショップ検索することができます。

！ヒント

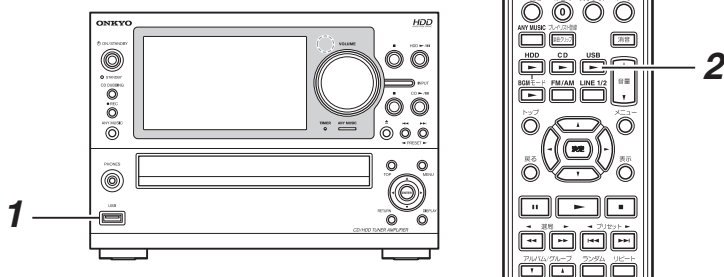
メニュー画面からも FM オンエア情報をクリップすることができます。

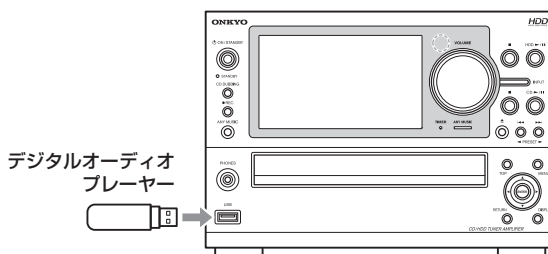
デジタルオーディオプレーヤーに保存されている曲を再生する

デジタルオーディオプレーヤーに保存されている曲を再生する

USB タイプのフラッシュメモリー、HDD でも同様の操作ができます。

対応フォーマット

保存元	ファイル形式
MP3プレーヤー USBストレージ	MP3

1 接続する

デジタルオーディオプレーヤーを本機のUSB端子に接続する

接続した機器の詳しい使いかたは、接続機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

2 再生する

リモコンのUSB▶(プレイ)ボタンを押す

USB以外のセレクターが選択されていても、デジタルオーディオプレーヤーの曲が再生されます。

■曲を指定したいときは

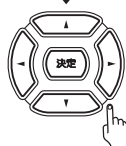
1. 上記手順**2** でセレクターを「USB」にします。
   - アルバム一覧が表示されます。
   - アルバム一覧表示のときは、アルバムを選んで決定（ENTER）ボタンを押すと、アルバム内の曲一覧を表示します。
2. アルバムまたはファイルを▲/▼ボタンで選び、リモコンのUSB▶(プレイ)ボタン（または▶(プレイ)ボタン）を押します。

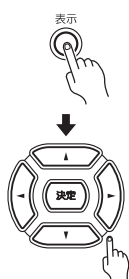
■一時停止する

リモコンの❚❚(ポーズ)ボタンを押す

もう一度押すと停止したところから再び再生を始めます。

■曲を選ぶ

表示(DISPLAY)(ディスプレイ)ボタンで曲一覧表示(☞23ページ)に切り換え、▲/▼ボタンで選ぶ

デジタルオーディオプレーヤーに保存されている曲を再生する

■アルバムを選ぶ

表示（DISPLAY）ボタンで曲一覧表示（☞23ページ）に切り換え、◀ボタンを押すとアルバム一覧が表示されるので、▲/▼ボタンで選ぶ

■再生を止める

リモコンの■ボタンを押す

- 本体のCD■ボタン、HDD■ボタンでも操作できます。

■前後の曲を選ぶ

|◀◀/▶▶|ボタンを押して、前後の曲を選ぶ

|◀◀ボタンを押すと前の曲を、▶▶|ボタンを押すと後の曲を選ぶことができます。

■早戻し/早送りをする

再生中/一時停止中に◀◀/ ▶▶ボタンを押し続け、聞きたいところで指を離す

◀◀ボタンを押すと早戻し、▶▶ボタンを押すと早送りになります。

■数字ボタンを使って曲を選ぶ

直接数字ボタンを押す

例えば、25曲目を選ぶときは「2」、「5」を押します。

曲番号入力画面に選択したい曲番号が入力できたら、決定（ENTER）ボタンを押します。

■表示を切り換える

1. 表示（DISPLAY）ボタンで1曲表示と曲一覧表示を切り換える
2. 曲一覧表示で◀ボタンを押すと、アルバム一覧を表示する
3. ▲/▼ボタンでアルバムを選び、▶ボタンでアルバム内のトラックを表示する

4. ▲/▼ボタンで再生するトラックを選び決定（ENTER）ボタンを押すと、再生が始まる

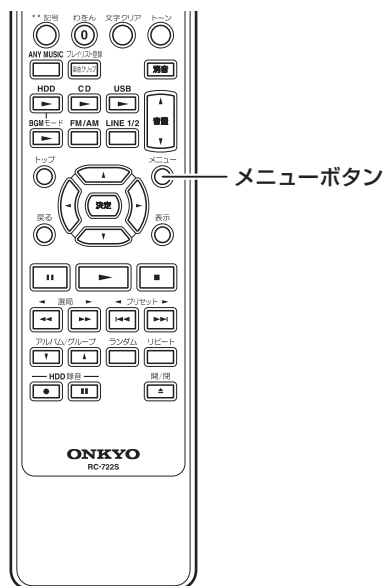
■曲情報を見る

1. 情報を見たい曲を選ぶ
2. メニュー（MENU）ボタンを押してメニューを開き、「曲情報表示」を選ぶ
   - 停止中のみ「曲情報表示」が選べます。
   - ID3タグ情報を表示します。ID3ｖ2に対応しています。

3. アーティスト名や曲名を選んで、決定（ENTER）ボタンを押す
   全文表示されます。

デジタルオーディオプレーヤーに保存されている曲のいろいろな再生

曲順を変えて再生（ランダム）したり、くり返して再生（リピート）できます。

■メニュー画面で設定する

① メニュー（MENU）ボタンを押してメニュー画面を開き、▼ボタンで「再生設定」を選び決定（ENTER）ボタンを押す

②「ランダム」と「リピート」を設定する

■リモコンで設定する

リモコンのリピートボタンとランダムボタンでも、リピート再生とランダム再生を設定することができます。

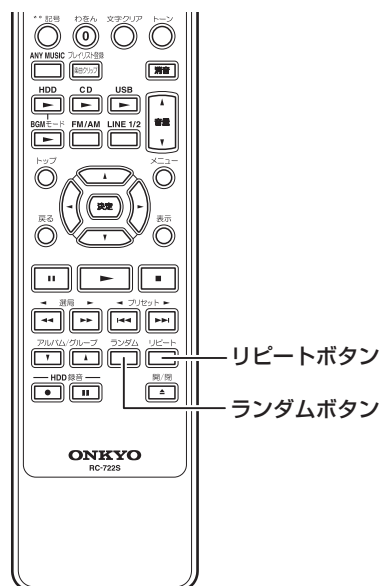
●ランダム

リピート設定によって、選べる項目が異なります。

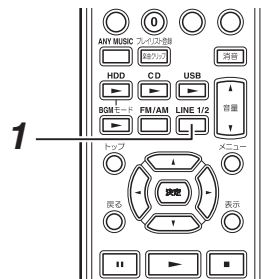
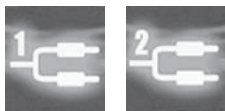
OFF	通常の再生です。（お買い上げ時の設定）
ON	リピート設定でアルバム、オールを選んでいるときは、それぞれの曲順を変えて再生します。
オール	デジタルオーディオプレーヤーに保存されているすべての曲順を変えて再生します。
アルバム	選んだアルバム内の曲順を変えて再生します。

●リピート

ランダム設定によって、選べる項目が異なります。

OFF	リピート再生しません。（お買い上げ時の設定）
ON	ランダム設定でアルバム、またはオールを選んでいるときは、それぞれの曲をくり返し再生します。
オール	デジタルオーディオプレーヤーに保存されているすべての曲をくり返し再生します。
アルバム	選んだアルバム内の曲をくり返し再生します。
1 曲	1 曲だけをくり返し再生します。

外部機器を再生する

外部入力を再生する

15 ページの接続を正しく行ってください。

1 LINE1とLINE2を切り換える

リモコンの LINE1/2 ボタンを押して LINE1 と LINE2 を切り換える

2 接続した機器を再生する

接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

オンキヨー製品とRI連動させる

オンキヨー製品とRI接続し、下記の「入力割り当て」の設定を行うと、本機とRI連動させることができます。

■外部入力の設定をする

① **メニュー（MENU）ボタンを押してメニューを開き、「入力割り当て」を選ぶ**

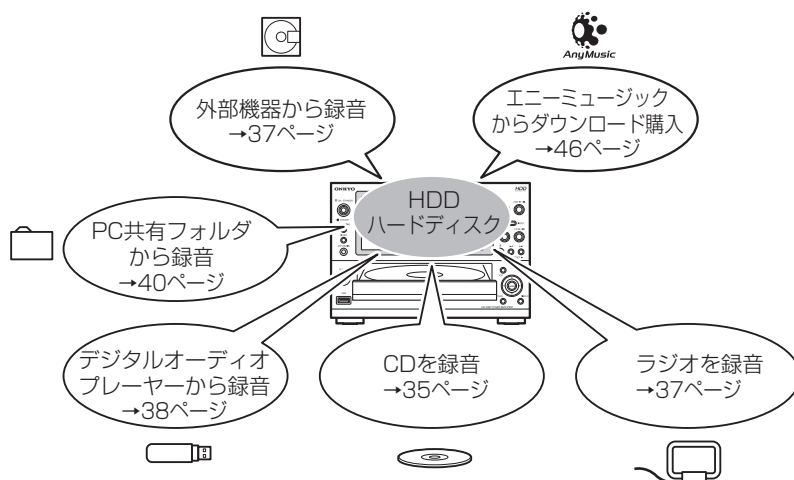
② **プルダウンメニューから接続したRI機器を選ぶ**
LINE1の場合は、MDまたはTAPEが選べます。
LINE2の場合は、DOCKまたはCD-Rが選べます。

③ **戻る（RETURN）ボタンを押して元の画面に戻る**
選んだ機器のイラストが表示され、RI機能が使えるようになります。

●RI連動で動作可能な機能
- 本機のリモコンでRI接続した機器を操作することができます。（75 ページをご覧ください。）
- RI接続した機器の再生を始めると、本機のセレクターも自動的に切り換わります。（ダイレクトチェンジ）
- 本機のスタンバイ中に、RI接続した機器の電源を入れたり再生を始めると、本機の電源も入ります。また、本機をスタンバイ状態にすると、RI接続した機器の電源もスタンバイ状態になります。（オートパワーオン / オフ）

＊新旧製品の連動動作の対応 / 非対応については、コールセンターにお問い合わせください。

HDDに録音する

さまざまな音源から本機の HDD（ハードディスク）に曲を録音したり、ダウンロードができます。

録音/ダウンロードができる音源

音源	CD (PCM)	ラジオ FM/AM	外部機器	デジタルオーディオプレーヤー		PC 共有フォルダ	エニーミュージック
録音する時のセレクター			または LINE2				AnyMusic
操作方法（本体ボタン）	CD DUBBING または ●RECボタン	●RECボタン	●RECボタン	●RECボタン（USB）MENUボタンでメニュー画面から（HDD）		MENUボタンでメニュー画面から	エニーミュージックから（☞46 ページ）
録音の単位	曲/アルバム	—	—	アルバム	曲/アルバム	アルバム	曲/アルバム
録音時のフォーマット	PCM/ATRAC/MP3から選択可能	PCM/ATRAC/MP3 から選択可能	PCM/ATRAC/MP3 から選択可能	MP3		MP3	ATRAC3
録音時のビットレート	フォーマットに対応するものを選択可能	フォーマットに対応するものを選択可能	フォーマットに対応するものを選択可能	音源と同じ		音源と同じ	132kbps

■フォーマットについて

本機では、CD、ラジオ、外部機器からHDDに保存するときに、フォーマット（データ形式）を選べます。フォーマットによって、データ容量や転送できる機器が異なり、編集の作業ができない場合もありますので、目的に合ったものを選んでください。

*[1]エニーミュージックからダウンロード購入した曲は、削除以外の編集はできません。

*[2]エニーミュージックからダウンロード購入した曲は、ATRACプレーヤーのみに転送が可能です。

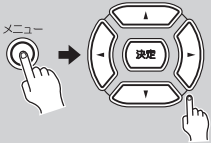
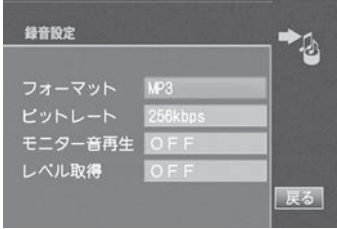
フォーマット	PCM	ATRAC		MP3
		ATRAC3	ATRAC3plus	
音楽データの内容	圧縮しない（CDと同等の音質）	PCMデータを約1/10に圧縮	PCMデータを約1/20に圧縮	PCMデータを約1/10に圧縮
可能な編集作業*[1]	削除/分割/結合/フォーマット変換/情報編集	削除/分割/結合/情報編集		削除/情報編集
転送できる機器*[2]	—	ATRAC プレーヤー		MP3/ATRAC プレーヤー

HDDに録音する

録音の設定をする（CD/ラジオ/外部機器）

CD、ラジオ、外部機器から録音するときは、録音を始める前に、どのようなフォーマット（データ形式）やビットレート（情報量）で録音したいかなどを設定してください。
空き容量を確認したい時は、72ページをご覧ください。

1 セレクターを選ぶ

各音源のセレクターにあわせる

CD FM/AM LINE1 LINE2

2 メニュー画面から録音設定画面を開く

① メニュー(MENU)ボタンを押してメニュー画面を開く
② ▲/▼ボタンで「録音設定」を選び、決定（ENTER）ボタンを押す

CD の場合
＊画面はセレクターによって異なります。

3 録音設定をする

① ▲/▼ボタンで設定したい項目を選ぶ
② 決定（ENTER）ボタンを押してプルダウンメニューを開き、設定を選ぶ

CDの場合：
- フォーマット
- ビットレート
- モニター音再生
- レベル取得

の設定ができます。

ラジオFM/AMの場合：
- フォーマット
- ビットレート

の設定ができます。

外部入力の場合：
- フォーマット
- ビットレート
- スマートスペース
- レベルシンク
- 入力検出レベル

の設定ができます。

各設定の内容は下記の説明をご覧ください。

●フォーマット/ビットレート
フォーマットとは、HDDに録音する曲のデータ形式です。ビットレートとは、録音するときの情報量を表します。情報量が多くなると音質は良くなりますが、容量は大きくなります。

フォーマット	ビットレート
ATRAC3plus	256kbps 64kbps 48kbps
ATRAC3	132kbps 105kbps 66kbps
MP3 *	256kbps * 192kbps 160kbps 128kbps 96kbps
PCM	―（選べません）

＊お買い上げ時の設定です。

●モニター音再生（録音速度が変わります）
CDをHDDに録音する場合、再生しながら録音するかどうかを選びます。

OFF（オフ）：再生せずに録音します。最大10倍速での録音が可能です。（お買い上げ時の設定です）
ON（オン）：再生しながら録音します。録音速度は遅くなります。

●レベル取得
ノーマライズ機能（☞68ページ参照）のためのレベル取得をCD録音時に行うかどうかを選びます。
OFF：CD録音の最後にレベル取得は行いません。（お買い上げ時の設定です）
ON：CD録音の最後にレベル取得を行います。

●スマートスペース
3秒以上の無音部分を自動的に3秒にして曲番号をつける機能です。また、無音状態が30秒間続くと本機は録音一時停止状態になり、10分間続くと録音を停止します。無音部分のレベル検出は入力検出レベルの値で行います。
＊ただし、有音部分が4秒以上の場合だけ、スマートスペースは働きます。

ON（お買い上げ時の設定です）
OFF

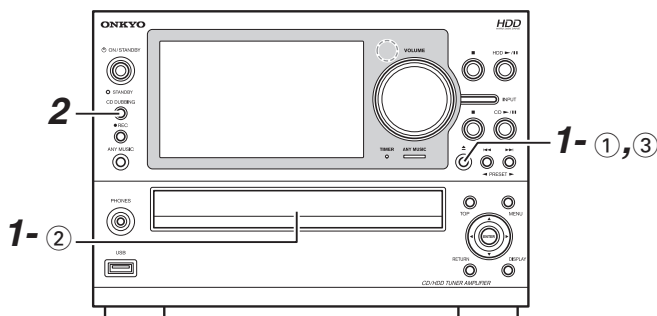
●レベルシンク
入力レベルの立ち上がりで自動的に曲番号をつける機能です。
録音中に1.5秒以上の無音部分があると、自動的に曲番号を1つ追加し、次の曲として録音します。
＊ただし、有音部分が4秒以上の場合だけ、レベルシンクは働きます。

ON（お買い上げ時の設定です）
OFF

●入力検出レベル
入力信号の検出レベルが調節できます。雑音が多く、曲番号がつきにくいときは、レベルを上げると曲番号がつきやすくなります。
お買い上げ時は－50.0dBです。
設定範囲：－96dB〜0dB

CDを録音する

音楽CDを本機のHDDに最大約10倍速で録音できます。
ボタン1つでCDを全曲録音したり、録音したい曲だけを選択して録音することができます。
録音のフォーマットなどは、33、34ページをご覧になってあらかじめ設定してください。

ご注意
- MP3 CD は録音できません。
- 録音フォーマットとビットレートによって録音速度が変わります。

CDを全曲録音する（ボタン1つで簡単CD録音）

CD DUBBING（ダビング）ボタンで簡単にCDを全曲ダビングできます。

1 録音したいCDをセットする

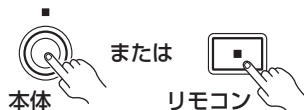
本体
① **本体の▲（オープン/クローズ）ボタンを押して、CDトレイを開く**
② **CDをCDトレイに置く**
レーベル面を上にしてCDトレイの上に置きます。
シングルCDのときは、内側のくぼみの中に置きます。
③ **▲ボタンを押して、CDトレイを閉じる**

2 全曲録音を始める

CD DUBBING
本体
本体のCD DUBBING（ダビング）ボタンを押す
全曲録音が自動的に始まります。

* 画面に「レベル取得中」と表示されている間は、まだ操作をしないでください。ノーマライズ機能のためのレベルを取得しています。（☞68 ページ参照）

録音が終わると、自動的に元のCD画面に戻ります。

録音を途中でやめるときは
本体のHDD■（ストップ）ボタン、CD■（ストップ）ボタンまたは、リモコンの■（ストップ）ボタンを押します。

ご注意
CDを録音中は、リモコンのHDD録音▌▌（ポーズ）ボタンは働きません。

曲を聞きながら録音するには
前ページで「モニター音再生」設定を「ON（オン）」に設定します。ただし、このときは録音速度が遅くなります。

HDDに録音する(CD)

録音したい曲だけ選んで録音する

録音したい曲だけを選んで録音することができます。

1 CDセレクターを選び、録音したいCDをセットする

2 本体の●RECボタンを押す

録音画面が開きます。

ハードディスクの残り時間

3 録音したい曲を選択する

録音しない曲はENTERボタンを押して、チェックマークをはずします。
チェックマークのついている曲が録音されます。

！ヒント

- 「全選択」を選ぶと、すべての曲にチェックマークをつけます。「全解除」を選ぶと、すべての曲のチェックマークをはずします。
- 「録音設定」を選ぶと、34ページの設定画面を開くことができます。

4 「録音」を選んでENTERボタンを押す

録音が始まります。

- 「レベル取得中」と表示されている間は、まだ操作をしないでください。ノーマライズ機能のためのレベルを取得しています。(☞68 ページ)

録音が終わると、自動的に元のCD画面に戻ります。

リモコンで録音操作する

リモコンで録音操作をするときは、以下の手順で行ってください。

1 CD セレクターを選び、録音したい CD をセットする

2 リモコンのHDD録音❚❚ボタンを押す

録音画面が開きます。

3 全曲録音するときは

HDD 録音●ボタンを押す

録音が始まります。

3 曲を選んで録音するときは

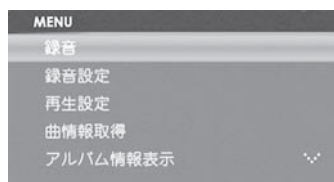
録音したい曲を選択してから、HDD 録音●ボタンを押す

録音が始まります。

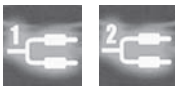
録音しない曲は▲/▼ボタンで選択し、決定ボタンを押してチェックマークをはずしてください。

- 「レベル取得中」と表示されている間は、まだ操作をしないでください。ノーマライズ機能のためのレベルを取得しています。(☞68 ページ)
- 録音を途中でやめるときは、■ボタンを押してください。HDD 録音 ❚❚ ボタンでは停止しません。

！ヒント

CD セレクターのメニュー画面からも録音画面を開くことができます。

ラジオを録音する

ラジオ放送をHDDに録音することができます。
録音時のフォーマットなどは、33、34 ページをご覧になってあらかじめ設定してください。

1

TUNERセレクターを選ぶ
リモコンのFM/AMボタンを押して、FMとAMを切り換えてください。

2

ラジオ局を選ぶ
26、27ページをご覧になって、ラジオ局を選んでください。

3

HDD録音

リモコンのHDD録音‖ボタンを押して、録音待機状態にする

4

本体の●RECボタンか、リモコンのHDD録音●ボタンを押して録音を始める

5

本体 ■

または

リモコン

録音を止めるときは、本体のHDD■ボタンか、リモコンの■ボタンを押す
- 録音を一時停止するときは、リモコンのHDD録音‖ボタンを押します。
- 録音中に曲番号をつけたいときは、本体の●RECボタンか、リモコンのHDD録音●ボタンを押します。
曲番号をつける間隔は、最小4秒です。

！ヒント

- 録音時間が 30 分を超えた場合は、自動的に次の曲番号がつきます。
- HDD に録音したときのタイトルは、自動的に「日付、録音開始時間、ラジオ局名（登録されていない場合はバンドと周波数）」になります。

外部機器から録音する

本機のLINE1または2端子に接続した外部機器からの音声をHDDに録音することができます。
録音時のフォーマットなどは、33、34 ページをご覧になってあらかじめ設定してください。

1

LINE 1/2

LINE 1またはLINE 2セレクターを選ぶ

2

HDD録音

リモコンのHDD録音‖ボタンを押して、録音待機状態にする

3

または

HDD録音

リモコン

RI接続した機器を録音するときは、録音するソースを再生する
録音が自動的に開始されます。
その他の外部機器から録音するときは、本体の●RECボタンかリモコンのHDD録音●ボタンを押してから、外部機器を再生し、録音を始める

4

本体 ■

または

リモコン

録音を止めるときは、本体のHDD■ボタンか、リモコンの■ボタンを押す
- RI接続した機器を録音している場合、再生を一時停止または停止すると、本機も録音待機状態になります。
- 録音中に曲番号をつけたいときは、本体の●RECボタンか、リモコンのHDD録音●ボタンを押します。
曲番号をつける間隔は、最小4秒です。

！ヒント

録音時間が 30 分を超えた場合は、自動的に次の曲番号がつきます。

■曲名をつける（曲情報取得機能）

曲情報取得機能を使って、外部機器から録音した曲の曲名を自動でつけることができます。ただし、録音状況によっては、曲情報が取得できないこともあります。
自動で曲名をつけたくないときは、68ページで「曲情報取得（LINE）」設定を「OFF」にしてください。日付・時刻が曲名に登録されます。

HDDに録音する（デジタルオーディオプレーヤー /PC共有フォルダ）

デジタルオーディオプレーヤーからMP3ファイルを録音する

デジタルオーディオプレーヤーに保存されているMP3形式の曲を本機のHDDに録音することができます。
本機で使用できるデジタルオーディオプレーヤーの機種は、http://www.jp.onkyo.com/support/brnx10a/をご覧ください。
●録音方法には、USBセレクターから録音する方法とHDDセレクターから録音する方法の2通りがあります。

USBセレクターから録音するには

1 接続する

デジタルオーディオプレーヤーを本機のUSB端子に接続し、USBセレクターを選ぶ
アルバム一覧表示のときは、決定（ENTER）ボタンを押すと、曲一覧表示になります。

2

●REC

本体の●RECボタンを押す
一覧表示画面が開きます。

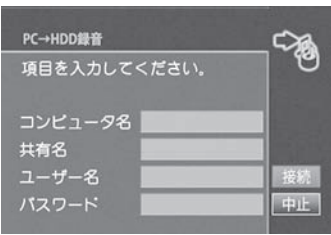
3 録音する曲またはアルバムを選ぶ

録音したい曲またはアルバムを選択する
録音しない曲またはアルバムは決定（ENTER）ボタンを押して、チェックマークをはずします。
チェックマークのついている曲またはアルバムが録音されます。

- 「全選択」を選ぶと、すべての曲またはアルバムにチェックマークをつけます。
- 「全解除」を選ぶと、すべての曲またはアルバムのチェックマークをはずします。

4 録音を始める

「録音」を選んで、決定（ENTER）ボタンを押す
録音が始まります。
● 録音が終わると、自動的に一覧表示画面に戻ります。

HDDに録音する（デジタルオーディオプレーヤー /PC共有フォルダ）

HDDセレクターから録音するには

1 接続する

デジタルオーディオプレーヤーを本機のUSB端子に接続する

2 HDDのメニュー画面を開く

HDDセレクターを選び、PLAYLIST、TRACK、ALBUMまたはARTISTを選択し、決定（ENTER）ボタンを押してからメニュー（MENU）ボタンを押す

3 「録音」タブで、デジタルオーディオプレーヤーからの録音を選ぶ

① ◀/▶ボタンで「録音」タブを選択する
② ▲/▼ボタンで「USB→HDD録音」を選び、決定（ENTER）ボタンを押す

4 録音する曲またはアルバムを選ぶ

必要のない曲またはアルバムは決定（ENTER）ボタンを押して、チェックマークをはずす
チェックマークのついている曲またはアルバムを録音します。

「全選択」を選ぶと、すべての曲またはアルバムにチェックマークをつけます。「全解除」を選ぶと、すべての曲またはアルバムのチェックマークをはずします。

5 録音を始める

「録音」を選び、決定（ENTER）ボタンを押す

録音中は絶対にUSBケーブルを抜かないでください。

PC共有フォルダからMP3ファイルを録音する

お手持ちのパソコン（共有フォルダ）に保存されている MP3 形式の曲を本機の HDD に録音することができます。

1 接続する

64ページの接続を行って本機にパソコンを接続し、あらかじめパソコン上で共有フォルダの設定（☞67ページ）をしておく

2 HDDのメニュー画面を開く

HDDセレクターを選び、PLAYLIST、TRACK、ALBUMまたはARTISTを選択し、決定（ENTER）ボタンを押してからメニュー（MENU）ボタンを押す

3 「録音」タブで、パソコンからの録音を選ぶ

① **◀/▶ボタンで「録音」タブを選択する**
② **▲/▼ボタンで「PC→HDD録音」を選び、決定（ENTER）ボタンを押す**
③ **共有フォルダの情報を入力する**
以下の情報を入力します。文字入力の方法は、56ページをご覧ください。
コンピュータ名
コンピュータ名またはIPアドレスを入力（半角英数で18文字まで）
●IP アドレスの確認のしかたは、71 ページをご覧ください。
共有名：
共有フォルダを設定したとき（☞67ページ）につけた共有名
ユーザー名：
共有フォルダを設定したときにアクセス許可したユーザー名
パスワード：
共有フォルダにパスワードがかかっているときのみ必要
④ **「接続」を選んで入力した共有フォルダを検索する**

4 録音する曲またはアルバムを選ぶ

必要のない曲またはアルバムは決定（ENTER）ボタンを押して、チェックマークをはずす
チェックマークのついている曲またはアルバムを録音します。

「全選択」を選ぶと、すべての曲またはアルバムにチェックマークをつけます。「全解除」を選ぶと、すべての曲またはアルバムのチェックマークをはずします。

5 録音を始める

「録音」を選び、決定（ENTER）ボタンを押す

ご注意
録音中は絶対にLANケーブルを抜かないでください。

パソコンのコンピュータ名や IP アドレスを確認するには（Windows XP Home Edition の場合）
コンピュータ名は、「スタート」→「コントロールパネル」→「システム」を選び、システムのプロパティ画面の「コンピュータ名」タブをクリックすると、「フルコンピュータ名」欄に表示されます。コンピュータ名は、半角英数字のみでつけてください。
IPアドレスは、「スタート」→「コントロールパネル」→「ネットワーク接続」を選んでから、使用しているネットワークを選び、「サポート」タブをクリックすると表示されます。

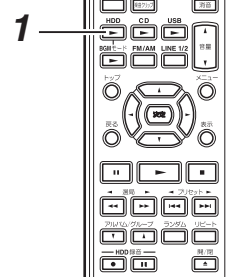
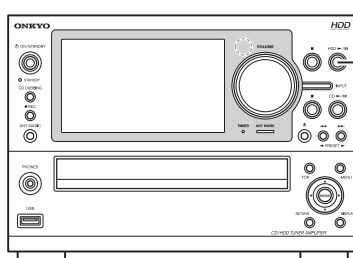
HDDを再生する

HDDの基本操作方法

セレクターを HDD に切り換えてください。(☞20ページ)

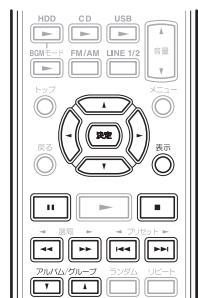
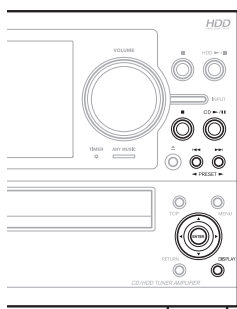
1 再生する

本体

または

リモコン

本体のHDD►/Ⅱボタンを押すか、リモコンのHDD►ボタンを押す

最後に再生または録音した曲が再生されます。
HDD以外のセレクターが選択されていても、HDDの再生を始めます。

＊画像が登録されている時に表示されます。(☞59ページ)

一時停止する

リモコンのⅡボタンまたは本体のHDD►/Ⅱボタンを押します。
もう一度押すと停止した場所から再生を始めます。

曲を選ぶ

表示（DISPLAY）ボタンで一覧表示に切り換え、▲/▼/◀/▶ボタンで曲を選びます。

アルバムを選ぶ

リモコンのアルバム▲/▼ボタンを押してアルバムを選びます。

再生を止める

本体のHDD■ボタンまたはリモコンの■ボタンを押します。

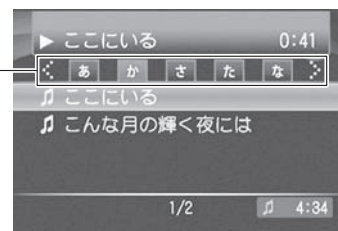
前後の曲を選ぶ

⏮/⏭ ボタンを押して前後の曲を選びます。

早戻し / 早送りをする

再生中/一時停止中にリモコンの◀◀/▶▶ボタンを押し続け、聞きたいところで指を離します。

■表示を切り換える

本体のDISPLAYボタンまたはリモコンの表示ボタンを押して、1曲表示と一覧表示を切り換えます。一覧表示は、検索方法（☞42ページ）によって異なります。

例：トラック一覧表示

曲を探して再生する

本機のHDD（ハードディスク）に録音された膨大な曲も、アーティスト名、アルバム名、トラック名またはプレイリストから簡単に検索し、再生することができます。

1 セレクターをHDDにする

TOPメニューからHDDを選び、決定（ENTER）ボタンを押す

2 検索方法を選ぶ

◀/▶ ボタンで検索方法を選び、決定（ENTER）ボタンを押す

3 曲を選ぶ

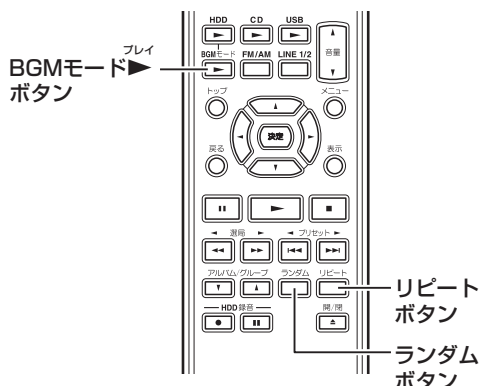
選択		説明
アーティスト選択		HDD内に登録されている「アーティスト」から「アルバム」→「トラック」の順で検索できます。◀/▶ボタンで50音/アルファベットを切り換え、▲/▼ボタンでアーティストを選びます。決定（ENTER）ボタンを押すと、選んだアーティストのアルバム選択画面へ移ります。▲/▼ボタンでアルバムを選んで決定（ENTER）ボタンを押し、▲/▼ボタンでトラックを選んでください。
アルバム選択		HDD内に登録されている「アルバム」から「トラック」を検索できます。◀/▶ボタンで50音/アルファベットを切り換え、▲/▼ボタンでアルバムを選びます。決定（ENTER）ボタンを押すと、選んだアルバムのトラック選択画面へ移ります。▲/▼ボタンでトラックを選んでください。
トラック選択		HDD内に登録されているすべてのトラックを検索できます。◀/▶ボタンで50音/アルファベットを切り換え、▲/▼ボタンでトラックを選びます。
プレイリスト選択	マイリスト	プレイリストを表示します。（☞44ページ）▲/▼ボタンでプレイリストを選び、決定（ENTER）ボタンでリスト内のトラックを表示します。
	ランキング	よく聴く曲/最近聴いた曲/最近追加した曲/最近追加したアルバムのランキングが表示されます。▲/▼ボタンでランキング名を選び、決定（ENTER）ボタンを押すと、ランキングが表示されます。

4 曲を再生する

曲を選んで、決定（ENTER）ボタンを押して再生する

！ヒント

数字や記号ではじまるアーティスト/アルバム/トラック名は、◀/▶ボタンで50音/アルファベットを「その他」に切り換えてください。

HDDのいろいろな再生

BGMモードで再生する

HDDに録音されたすべての曲をボタン1つでランダムにくり返し再生できます。BGMとして曲を流したいときなどに便利です。

リモコンのBGMモード▶ボタンを押す

または、HDDのトップ画面から、BGMモードを選んでもBGM再生が始まります。

リピート再生/ランダム再生

曲順を変えて再生（ランダム）したり､くり返して再生（リピート）したりできます。

■メニュー画面で設定する

① ランダム再生 / リピート再生したいアーティスト、アルバム、曲やプレイリストを選ぶ（☞42 ページ）
② メニュー（MENU）ボタンを押してメニュー画面を開き、◀/▶ ボタンで「再生」タブを選ぶ
③「再生設定」を選び、決定（ENTER）ボタンを押す
④「ランダム」と「リピート」を設定する

■リモコンで設定する

① ランダム再生 / リピート再生したいアーティスト、アルバム、曲やプレイリストを選ぶ（☞42 ページ）
② ランダムボタンまたはリピートボタンを（くり返し）押して設定する

●ランダム

リピート設定や曲の検索方法によって、選べる項目が異なります。

OFF	通常の再生です。（お買い上げ時の設定）
ON	リピート設定でアーティスト、アルバム、プレイリストまたはオールを選んでいるときは、それぞれの曲順を変えて再生します。
オール ALL	HDD 内のすべての曲を曲順を変えて再生します。
アーティスト ARTIST	選んだアーティスト内の曲順を変えて再生します。アーティスト選択時のみ選べます。
アルバム ALBUM	選んだアルバム内の曲順を変えて再生します。アーティストまたはアルバム選択時のみ選べます。
プレイリスト PLAYLIST	選んだプレイリスト内の曲順を変えて再生します。プレイリスト選択時のみ選べます。

●リピート

ランダム設定や曲の検索方法によって、選べる項目が異なります。

OFF	リピート再生しません。（お買い上げ時の設定）
ON	ランダム設定でアーティスト、アルバム、プレイリストまたはオールを選んでいるときは、それぞれの曲をくり返して再生します。
オール ALL	HDD 内のすべての曲をくり返して再生します。
アーティスト ARTIST	選んだアーティスト内の曲をくり返し再生します。アーティスト選択時のみ選べます。
アルバム ALBUM	選んだアルバム内の曲をくり返し再生します。アーティストまたはアルバム選択時のみ選べます。
1 曲	1 曲だけをくり返して再生します。
プレイリスト PLAYLIST	選んだプレイリスト内の曲をくり返し再生します。プレイリスト選択時のみ選べます。

次に再生する曲を予約する

再生中に、次に再生する曲を予約しておくことができます。

① **再生中に、表示（DISPLAY）ボタンを押して一覧表示に切り換え、次に再生したい別の曲、アルバムやアーティストを▲/▼/◀/▶ボタンで選ぶ**

② **メニュー（MENU）ボタンを押して、「再生」タブの「次曲予約」を選ぶ**
次に再生する曲が予約されます。
アルバムを選択した場合、アルバムの 1 曲目が予約されます。
アーティストを選択した場合、アーティスト内の 1 枚目のアルバムの 1 曲目が予約されます。

- 次に予約された曲には、予約マークが表示されます。
- 次に予約された曲を再生した後は、その曲の次の曲が続けて再生されます。

プレイリストを作成して聞く

HDD内の膨大な曲から好きな曲だけをプレイリストに集めて聞くことができます。

■プレイリストに登録する

1
プレイリストに登録したい HDD 内の曲を選ぶ

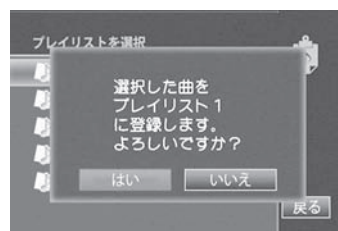
2

リモコンのプレイリスト登録ボタンを押す
プレイリスト登録画面が開きます。
選んだ曲にチェックマークがついていることを確認します。
他にも登録したい曲があれば、選んで決定（ENTER）ボタンを押してチェックマークをつけます。
1 つのプレイリストに登録できるのは、10000 曲までです。
メニュー（MENU）ボタンを押して、「再生」タブの「プレイリストに登録」からもプレイリスト登録画面を開くことができます。

3

「登録」を選び、決定（ENTER）ボタンを押す
プレイリスト名が表示されます。

4

追加したいリスト名を選び、決定（ENTER）ボタンを押す
確認画面が表示されたら、「はい」を選んでください。

選んだ曲がプレイリストに登録されます。

■プレイリストを再生する

HDD のトップ画面で、「PLAYLIST」から「マイリスト」を表示して再生してください。

■新規プレイリストを作成する

お買い上げ時は、5 つのプレイリストがあらかじめ作成されていますが、合計 1000 個まで追加して作成することができます。

① **HDD のトップ画面から「PLAYLIST」を選び、マイリストタブを選ぶ**

② **メニュー（MENU）ボタンを押して、「編集」タブの「新規プレイリスト作成」を選ぶ**

③ **新規プレイリスト画面のプレイリスト名を入力する**
文字入力の方法は 56 ページをご覧ください。

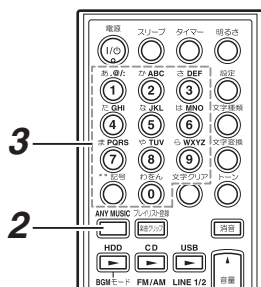
④ **「決定」を選ぶ**
新規プレイリストが作成されます。

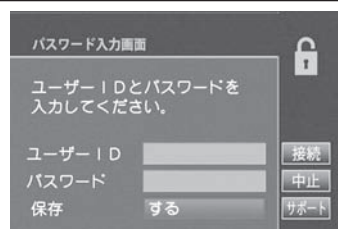
！ヒント

- プレイリスト名は後から変更することができます。（☞55 ページ）
- プレイリスト内の曲を並べ替えることができます。（☞54 ページ）

エニーミュージックに登録する

本機では、エニーミュージック(株)が運営･提供する｢エニーミュージック｣の各種サービスをご利用いただけます。エニーミュージックのサービスをご利用になるには、はじめに利用登録が必要です。インターネットへの接続環境と、クレジットカードがあれば、リモコン操作のみで登録できます。

セレクターをエニーミュージックに切り換えてください。
(☞20 ページ)

●ご利用には
毎月の利用料（登録月は無料）と利用登録料 315 円（登録時のみ）がかかります。
詳しくは www.anymusic.jp をご覧ください。

1 インターネットに接続する	64 ページをご覧になり、インターネットの接続をする
2 エニーミュージック画面を開き、利用登録画面へ進む	① ANY MUSIC ボタンを押して、エニーミュージックのトップ画面を開く ② ｢START｣を選び、決定（ENTER）ボタンを押す ③ ｢利用登録｣を選び、決定（ENTER）ボタンを押す ｢デモ体験｣を選ぶとインターネットに接続していなくても、エニーミュージックの操作を体験することができます。
3 登録内容を入力する	｢利用登録へ｣に進み、リモコンの数字/文字入力ボタンで入力する ◆登録内容 ●ユーザー ID/ パスワード ●氏名 / 郵便番号 ●電話番号 / 生年月日 / 性別 ● クレジットカード情報 ●メールアドレス ●機器のニックネーム登録 ＊ユーザー ID、パスワード、ニックネームは、文字数の制約内で自由に決められます。 ｢お試し｣を選ぶと、登録前に試聴などのサービスを体験することができます。
4 ユーザー ID とパスワードを入力する	利用登録後、登録したユーザー ID とパスワードを入力してください。｢保存｣で｢する｣を選ぶと、次回から入力する必要がなくなります。 ｢接続｣を選んでエニーミュージックに接続してください。 この後、HMV への登録（無料）も同様に続けることができます。

パソコンからも同様に利用登録することができます。詳しくは www.anymusic.jp をご覧ください。

エニーミュージックを使う

エニーミュージックのサービストップ画面を開く

＊本取扱説明書の記載内容は、2008年4月時点での情報です。
＊サービス画面は、予告なく変更になる場合があります。

エニーミュージックの各サービスは、サービストップ画面から操作します。

① **ANY(エニー) MUSIC(ミュージック) ボタンを押す**

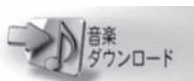
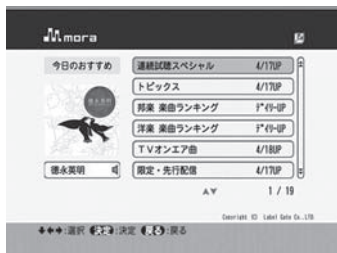
エニーミュージックのトップ画面を開きます。

② **「START(スタート)」を選び、決定(ENTER(エンター))ボタンを押す**

サービストップ画面が開きます。

欲しい曲をダウンロードする

エニーミュージック画面から楽曲をダウンロード購入することができます。

① **「音楽ダウンロード」を選ぶ**
サービストップ画面で「音楽ダウンロード」を選んで決定（ENTER）ボタンを押します。

② **ダウンロードする楽曲を探す**
mora の画面から、ランキングや検索を使い、ダウンロードしたい曲を探してください。
欲しい曲を選んで決定（ENTER）ボタンを押してください。

③ **ダウンロード購入する**
価格や曲名を確認してから「購入へ」を選んで決定（ENTER）ボタンを押してください。画面にしたがってダウンロードしてください。

ダウンロードした曲は、41ページの「HDDを再生する」から再生してください。

オンラインCDショップでCDを購入する

エニーミュージックのオンライン CD ショップで、手軽に欲しい CD を購入することができます。
* オンライン CD ショップのご利用には HMV への登録（無料）が必要です。すでにパソコンで HMV をご利用の場合は、同じ ID をそのまま使うことができます。また、ポイントも加算されます。

① **「CD ショップ」を選ぶ**
サービストップ画面で「CD ショップ」を選んで決定（ENTER）ボタンを押します。

② **購入する CD を探す**
HMV の画面からチャートや検索を使い、欲しい CD を探して決定（ENTER）ボタンを押してください。

③ **CD を購入する**
CD のタイトルや価格を確認したら、「（カート）に入れる」を選んで決定（ENTER）ボタンを押してください。ここで ID とパスワードの入力が必要です。

最後に、ショッピングカートの内容を確認したら「購入」を選び、決定（ENTER）ボタンを押して CD を購入してください。

エニーミュージックのいろいろな機能

■過去のオンエア情報から楽曲を探す

FM 放送の過去のオンエア情報から楽曲を探してダウンロードや CD 購入することができます。

① **「FM オンエア情報」を選ぶ**
サービストップ画面で「FM オンエア情報」を選んで決定（ENTER）ボタンを押します。

エニーミュージックに登録した住所をもとに、お住まいの地域のオンエア情報提供局が一覧で表示されます。

② **FM 局を選ぶ**
一覧から目的の局を選んで決定（ENTER）ボタンを押してください。

「一覧を見る」を選ぶと、お住まいの地域以外の FM 局が一覧で表示されます。

③ **オンエア情報から楽曲を探す**
直前のオンエア番組一覧が表示されます。
番組を選んで決定（ENTER）ボタンを押すと、オンエア曲の一覧が表示されます。

番組名や放送された日時でオンエア情報の検索が可能です。
欲しい楽曲を選択し、決定（ENTER）ボタンを押すと、ダウンロードや CD 購入の検索画面に移ります。

■好きなアーティストの新曲をチェックする

過去に楽曲購入したアーティストの新曲がリリースされたときに、サービストップ画面の「レコメンド」に New マークが表示されます。

① **「レコメンド」を選ぶ**
サービストップ画面で「レコメンド」を選んで決定（ENTER）ボタンを押します。

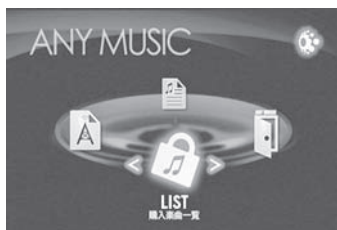
② **新曲をチェックする**
過去に楽曲購入したアーティストの一覧が表示され、新曲がリリースされたアーティストを確認できます。

アーティストを選んで決定（ENTER）ボタンを押すと、楽曲の試聴やダウンロード購入ができます。

エニーミュージックを使う

ダウンロード購入した楽曲を確認する

エニーミュージックでダウンロード購入した楽曲は、本機のHDD（ハードディスク）に保存されます。保存された楽曲は、エニーミュージック画面から確認することができます。

① **ANY MUSIC ボタンを押して、エニーミュージックのトップ画面を開き、「LIST」を選んで購入楽曲一覧を表示する**

楽曲を選んで、決定（ENTER）ボタンを押して再生することもできます。単曲ダウンロード購入した楽曲は、「単曲ダウンロード」アルバムに表示されます。

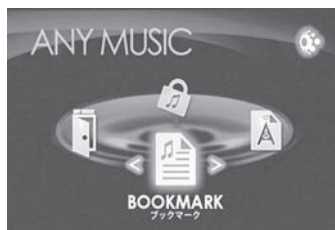
エニーミュージックでダウンロードした楽曲には、リスト画面で右のアイコンが表示されます。

ブックマークを使う

エニーミュージックのお好みの画面をブックマークに登録すると、次回からすばやくアクセスすることができます。

① **エニーミュージックにアクセスし、お好みの画面を表示する**

② **メニュー（MENU）ボタンを押してメニューを表示し、「ブックマークに登録」を選ぶ**
画面によっては登録できないこともあります。

③ **ANY MUSIC ボタンを押して、エニーミュージックのトップ画面を開き、「BOOKMARK」を選ぶ**
登録したブックマークから選び、決定（ENTER）ボタンを押して、お好みの画面にアクセスします。

登録したブックマークを削除するときは、リストから選び、メニュー（MENU）ボタンを押してメニューから「削除」を選びます。

■その他の操作をする

- **表示内容を更新する**
  メニュー（MENU）ボタンを押してメニューを表示し、「最新情報に更新」を選びます。
- **パスワードなどの入力した文字を保存する**
  メニュー（MENU）ボタンを押してメニューを表示し、「入力文字の保存」を選びます。
  確認画面が表示されたら、「保存する」を選びます。
  ＊入力文字の保存は、画面ごとに行われます。
- **保存したすべての入力文字を削除する**
  メニュー（MENU）ボタンを押してメニューを表示し、「パスワード削除」を選びます。
  確認画面が表示されたら、「はい」を選びます。

デジタルオーディオプレーヤーなどに録音する（HDDから転送する）

本機のHDDに保存されているATRAC3形式、ATRAC3plus形式、MP3形式の音楽データをATRACプレーヤー、MP3プレーヤーやUSBストレージに録音できます。
本機で使用できるデジタルオーディオプレーヤーの機種は、http://www.jp.onkyo.com/support/brnx10a/をご覧ください。

対応フォーマット

録音先の機器によって、対応するフォーマット（データ形式）が異なります。PCM 形式の曲は転送できません。

録音先	フォーマット
ATRAC プレーヤー	ATRAC3、ATRAC3plus、MP3
MP3 プレーヤー USB ストレージ	MP3

■録音(転送)回数が制限されている音楽データ

録音（転送）回数が制限されている音楽データは、あらかじめ録音できる回数を以下の手順で確認してください。

1

セレクターを HDD にする
TOP メニューから HDD を選び、決定（ENTER）ボタンを押します。

2

確認したい HDD 内の曲を選ぶ
アーティスト、アルバム、トラックまたはプレイリストから転送したい曲を検索してください。

3

メニュー（MENU）ボタンを押して、メニューを開く

4

「編集」タブの「曲情報表示・編集」を選び、決定（ENTER）ボタンを押す
◀ボタンを押したあと、▼ボタンを押して「録音回数制限」を確認します。

再生制限	なし	
録音回数制限	3回	戻る

5

「戻る」を選び、決定（ENTER）ボタンを押す

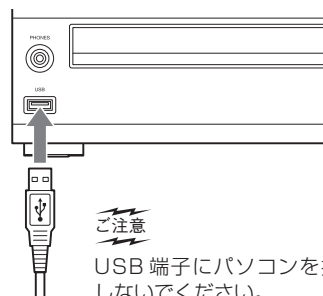
デジタルオーディオプレーヤーに録音する

> ご注意
> デジタルオーディオプレーヤーや USB ストレージに録音中は、USB ケーブルを抜かないでください。本体や接続機器が正しく動作しなくなることがあります。

1

デジタルオーディオプレーヤーやUSBストレージを本機のUSB端子に接続する
接続した機器の詳しい使い方は、接続機器に付属の取扱説明書をご確認ください。

> ご注意
> USB 端子にパソコンを接続しないでください。

2

セレクターを HDD にする
TOP メニューから HDD を選び、 決定（ENTER）ボタンを押します。

3

録音したい HDD 内の曲やアルバムまたはプレイリストなどを選ぶ
アーティスト、アルバム、トラックまたはプレイリストから録音したい曲を検索してください。

4

メニュー（MENU）ボタンを押して、メニューを開く

5

「録音」タブの「HDD → USB 録音」を選び、決定（ENTER）ボタンを押す

➡手順6に続く

6

「ATRACプレーヤー」または「MP3プレーヤー」を選び、決定（ENTER）ボタンを押す
USBストレージの場合は､「MP3プレーヤー」を選んでください。

録音画面が表示されます。
選んだ曲にチェックマークがついていることを確認してください。
録音回数が制限されている曲は、曲名の横に残りの回数が表示されます。3回以上残っている場合は､「3－」と表示されます。

MP3プレーヤーの場合、転送先フォルダを以下の手順で選ぶことができます。
① **「録音設定」を選び､決定（ENTER）ボタンを押す**
USBストレージの転送先フォルダ設定画面が表示されます。
② **「録音先」を選び､決定（ENTER）ボタンを押し､プルダウンメニューから転送先フォルダを選ぶ**
- 初期設定：「¥¥Music」に保存
- root：「root」に保存
- 指定：フォルダ名を入力してください。文字の入力方法は、56ページをご覧ください。

③ **「戻る」を選び、決定（ENTER）ボタンを押す**

7

「録音」を選んで決定（ENTER）ボタンを押し、録音を開始する

ご注意

デジタルオーディオプレーヤーやUSBストレージにACパワーアダプターが付属している場合は、ACパワーアダプターをつないで家庭用電源でお使いになることをおすすめします。電池で行う場合は、電池の残量が充分にあることを確認してください。電池の残量不足による不具合や、録音の失敗、音楽データの破壊などについては保証いたしませんので、ご注意ください。

■好きな曲だけ選んでまとめて録音する

複数のアルバムや、複数のアーティストの中から録音したい曲をあらかじめプレイリストに登録しておくと、プレイリストを選べばまとめて録音できて便利です。（☞44ページ）

■録音を途中で止めるときは

HDD ■ボタンを押してください。
ただし、録音を途中でやめると、時間がかかる場合があります。

録音先の曲を削除する

本機のHDDから録音した曲をデジタルオーディオプレーヤーやUSBストレージから削除することができます。
削除すると、録音（転送）回数制限のある曲の場合、本機から録音できる回数は元に戻ります。

1

HDDのアーティスト、アルバム、トラックまたはプレイリスト画面で、メニュー（MENU）ボタンを押して、メニューを開く

2

「録音」タブの「HDD → USB録音」を選ぶ

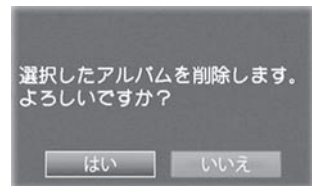
3

「プレーヤー内の削除」を選び、決定（ENTER）ボタンを押す

4

削除画面から、削除するアルバムや曲を選び、決定（ENTER）ボタンを押してチェックマークをつける
ATRACプレーヤーの場合は、アルバムから削除する曲を選んでください。
MP3プレーヤーの場合は、アルバム単位でのみの削除となります。

5

「削除」を選び、決定（ENTER）ボタンを押す
確認画面が表示されるので、「はい」を選んでください。

選択した曲やアルバムが削除されます。
録音（転送）回数制限のある曲を削除すると自動的に録音回数が戻ります。
ATRACプレーヤーの場合、「初期化」を選ぶと、プレーヤー内のすべての曲を削除することができます。

HDD内の曲やプレイリストを編集する

HDD に保存された曲は、以下の編集を行うことができます。

- **削除**
  曲、アルバム、プレイリストを削除することができます。
- **分割**
  1 曲を分割して 2 曲にします。
  * MP3 とエニーミュージックでダウンロードした曲は分割できません。
- **結合**
  2 曲をつないで 1 曲にすることができます。
  * MP3 とエニーミュージックでダウンロードした曲は結合できません。
- **フォーマットの変換**
  PCM 形式の曲のデータ形式を変換できます。
- **プレイリスト内の曲移動**
  プレイリスト内の曲を並べ替えることができます。
- **情報編集**
  アルバム名、曲名、プレイリスト名などを変更できます。

曲やプレイリストを削除する

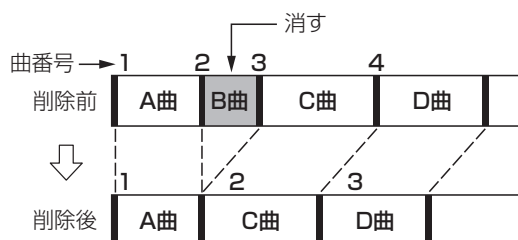
HDD 内のアルバム、曲、プレイリストを削除することができます。

ご注意

一度、曲を消すと元には戻せません。削除する前によくご確認ください。

曲を削除すると、曲番号が順に繰り上がります。例えば、曲番号 2 を削除すると、曲番号 3 が 2 に繰り上がります。

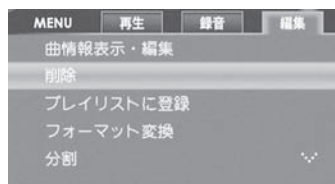
例）B 曲を消す

1

セレクターを HDD にする
TOP（トップ）メニューから HDD を選び、決定（ENTER（エンター））ボタンを押します。

2

削除したい曲、アルバムやプレイリストを選ぶ
アーティスト、アルバム、トラックまたはプレイリストから検索してください。

3

メニュー（MENU（メニュー））ボタンを押して、メニューを開き、「編集」タブの「削除」を選び、決定（ENTER（エンター））ボタンを押す

削除画面が開きます。

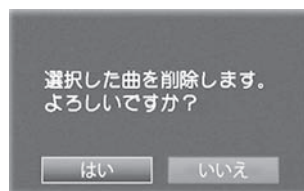
4

削除画面で選んだ曲やアルバムにチェックマークがついていることを確認する
他にも削除したい曲やアルバムがあるときは、▲/▼ボタンで選んで決定（ENTER）ボタンを押して、チェックマークをつけます。

！ヒント

「全選択」を選ぶと、すべての曲にチェックマークをつけます。「全解除」を選ぶと、すべての曲のチェックマークをはずします。

5

「削除」を選び、決定（ENTER）ボタンを押す
確認画面が表示されます。

6

「はい」を選び、決定（ENTER）ボタンを押す

！ヒント

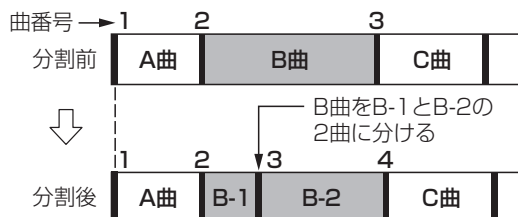
プレイリスト内の曲を削除する場合、プレイリストから削除するか、音楽データ自体を削除するかを選ぶことができます。
音楽データ自体を削除するときは「トラック削除」を、プレイリストから削除するときは「リスト登録削除」を選んでください。

HDD内の曲やプレイリストを編集する

曲を分割する

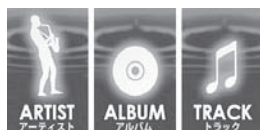
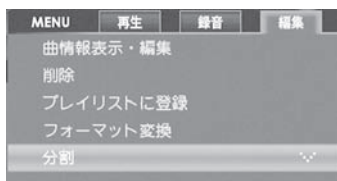
1 曲を分割して 2 曲にすることができます。分けた曲以降の曲番号は、1 つずつ後ろにずれます。
PCM 形式、ATRAC3plus と ATRAC3 形式の曲のみ分割することができます。
* エニーミュージックでダウンロードした曲は分割できません。

例）B 曲を 2 つに分ける

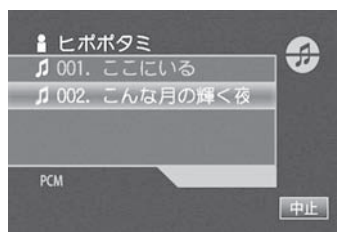
1

セレクターを HDD にする
TOP メニューから HDD を選び、決定（ENTER）ボタンを押します。

2

分割したい曲を選ぶ
アーティスト、アルバムまたはトラックから検索してください。

3

メニュー（MENU）ボタンを押して、メニューを開き、「編集」タブの「分割」を選び、決定（ENTER）ボタンを押す

分割選択画面が開きます。

4

分割選択画面から分割したい曲を▲/▼ボタンで選ぶ
選んだ曲の再生が始まります。

5

分割したい位置まで再生したら、決定（ENTER）ボタンを押す
分割画面が開き、決定（ENTER）ボタンを押した位置から後の 2 秒間がくり返し再生されます。

！ヒント

分割画面を開いてから、分割位置を設定することもできます。
分割位置（m：分、s：秒、ms：ミリ秒）が表示されるので、決定（ENTER）ボタンを押して、▲/▼/◀/▶ボタンで位置を調整してください。

6

「実行」を選び、決定（ENTER）ボタンを押す
曲が分割されます。

曲をつなぐ

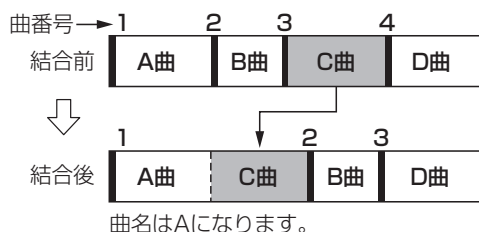
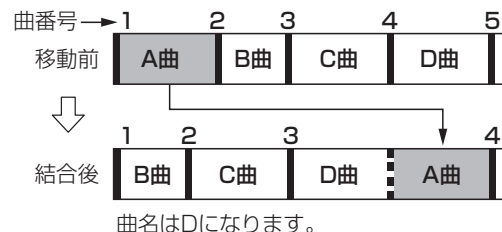
2 曲をつないで 1 曲にします。曲番号は、頭から順につけ直されます。
PCM 形式、ATRAC3plus または ATRAC3 形式の曲のみ結合することができます。
* エニーミュージックでダウンロードした曲はつなぐことができません。

例）A 曲に C 曲をつなぐ

曲名はAになります。

例）D 曲に A 曲をつなぐ

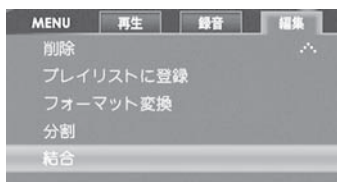
曲名はDになります。

1

セレクターをHDDにする
TOP メニューから HDD を選び、
決定（ENTER）ボタンを押します。

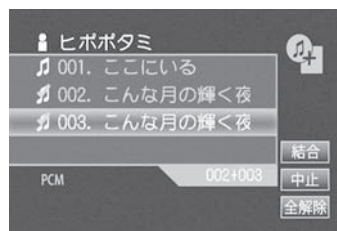
2

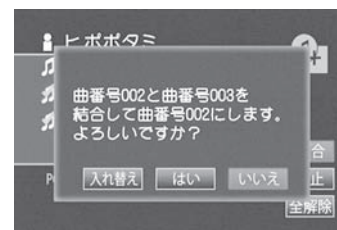
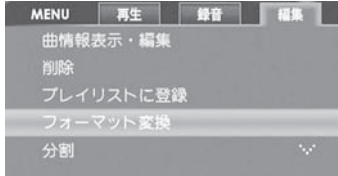
前半につなぎたい曲を▲/▼/◀/▶ボタンで選ぶ
アーティスト、アルバムまたはトラックから検索してください。

3

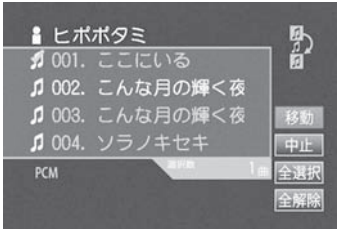
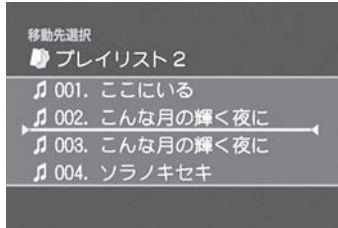
メニュー（MENU）ボタンを押して、メニューを開き、「編集」タブの「結合」を選ぶ

結合画面が開きます。
選んだ曲やアルバムにチェックマークがついていることを確認してください。

4

後半につなぎたい曲を選ぶ
リストから曲を選んで決定（ENTER）ボタンを押してください。
選んだ曲にチェックマークがつきます。

5

「結合」を選んで、決定（ENTER）ボタンを押す
確認画面が表示されます。

「はい」を選ぶと、チェックマークをつけた順に曲がつながります。
「入れ替え」を選ぶと、前半と後半を入れ替えて曲がつながります。
結合を中止するときは、「いいえ」を選んでください。

ご注意
フォーマットやビットレートが異なる曲をつなぐことはできません。

HDD内の曲やプレイリストを編集する

曲のデータ形式を変換する

HDD 内の PCM 形式の曲を、ATRAC3、ATRAC3plus、または、MP3 形式に変換します。

1

セレクターを HDD にする
TOP メニューから HDD を選び、決定（ENTER）ボタンを押します。

2

データ変換したい曲を▲/▼/◀/▶ボタンで選ぶ
アーティスト、アルバムまたはトラックから検索してください。

3

メニュー（MENU）ボタンを押して、メニューを開き、「編集」タブの「フォーマット変換」を選び、決定（ENTER）ボタンを押す

フォーマット変換画面が開きます。
選んだ曲にチェックマークがついていることを確認してください。
同時に複数の曲を変換するときは、変換したい曲を選び、決定（ENTER）ボタンを押してチェックマークをつけてください。

4

「変換」を選んで、決定（ENTER）ボタンを押す
フォーマットやビットレートをプルダウンメニューから選択してください。

5

「実行」を選び、決定（ENTER）ボタンを押す
データ形式が変換されます。

ご注意

- 変換されたデータは PCM に戻すことはできませんので、ご注意ください。
- 一度にフォーマット変換できるのは 99 曲までです。
- ATRAC3 形式、ATRAC3plus 形式、MP3 形式の曲はフォーマット変換できません。

プレイリスト内の曲を並べ替える

1

セレクターを HDD にする
TOP メニューから HDD を選び、決定（ENTER）ボタンを押します。

2

プレイリストから並べ替えたい曲を選ぶ
（☞44 ページ）

3

メニュー（MENU）ボタンを押して、メニューを開き、「編集」タブの「並べ替え」を選び、決定（ENTER）ボタンを押す

4

選んだ曲にチェックマークがついていることを確認する
同時に複数の曲を並べ替えるときは、曲を選び、決定（ENTER）ボタンを押してチェックマークをつけてください。

5

「移動」を選び、決定（ENTER）ボタンを押す

6

▲/▼ボタンで移動する場所を選び、決定（ENTER）ボタンを押す
確認画面が表示されたら、「はい」を選んでください。

名前を編集する

HDD 内のアルバム名、曲名、プレイリスト名などを変更することができます。

1

セレクターを HDD にする
TOP(トップ) メニューから HDD を選び、
決定（ENTER(エンター)）ボタンを押します。

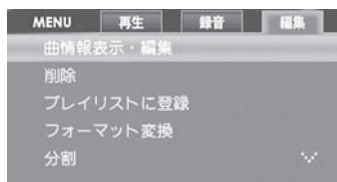
2

名前を編集したい曲、アルバムやプレイリストを▲/▼/◀/▶ボタンで選ぶ
アーティスト、アルバム、トラックまたはプレイリストから検索してください。

3

メニュー（MENU(メニュー)）ボタンを押して、メニューを開く

4

「編集」タブの「曲情報表示・編集」または「アルバム情報表示・編集」を選び、決定（ENTER(エンター)）ボタンを押す
プレイリスト名を変更するときは、「プレイリスト情報表示・編集」を選んでください。

5

変更する項目を選択し、決定（ENTER）ボタンを押す

6

名前またはカナを選び、決定（ENTER）ボタンを押す
文字入力画面が開きます。名前を変更してください。

文字入力方法は次ページをご覧ください。

7

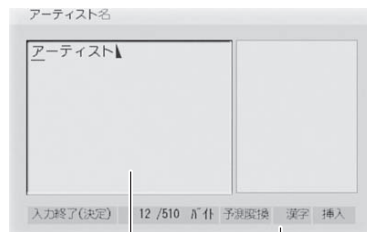
「戻る」を選んで、決定（ENTER）ボタンを押す

■手動で曲情報を取得する

曲情報取得機能を使って曲名をつけることができます。
手順 ***5*** で「曲情報取得」を選ぶと、自動的に曲名やアルバム名などを検索できます。

文字を入力する（文字入力画面の操作方法）

曲名を変更したり、ラジオ局に名前をつけたり、ネットワークの設定をするときなどに、文字入力画面が開きます。付属のリモコンを使って、携帯電話と同じ感覚で文字を入力してください。
予測変換機能を使えば、さらに簡単に入力することができます。予測変換機能とは入力した文字から予測される単語や、後に続く単語の候補を表示する機能です。文字を入力するたびに学習するので、使うほど便利になります。

文字入力画面

文字入力欄　文字の種類

文字入力は、リモコンでのみ操作できます。

1 文字の種類を選ぶ

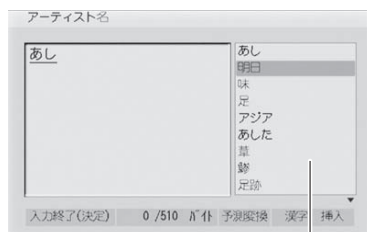
文字種類ボタンをくり返し押して、文字の種類を選ぶ
入力する内容によって選べる文字の種類が異なります。

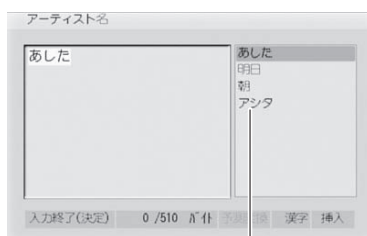
漢字	漢字/ひらがな
全カナ	全角カタカナ
全英	全角英字
全数	全角数字

半カナ	半角カタカナ
半英	半角英字
半数	半角数字

2 文字を入力する

数字/文字入力ボタンで文字を入力する
カーソルの移動は▲/▼/◀/▶ボタンで行います。
- 小文字 (ゃゅょや abc) は、割り当てられている文字入力ボタンをくり返し押します。
- 濁点や半濁点は、文字を入力した後に記号ボタンを押します。

予測変換機能を使う
文字種類が「漢字」のときは、予測変換機能を使うと便利です。
例：「明日」と入力するとき
① ① ボタンで「あ」を入力する
② ③ ボタンで「し」を入力する
③ 予測候補に「明日」と表示されていれば、▲/▼ボタンで選んで、決定ボタンを押す

予測候補

漢字に変換する
予測候補欄に入力したい漢字が表示されないときや、予測変換機能を使わないで漢字を入力するときは、文字変換ボタンを押して漢字に変換してください。変換の候補が右の欄に表示されるので、▲/▼ボタンで選んで決定ボタンを押してください。

変換候補

3 入力を終了する

決定ボタンを押して文字入力画面を閉じる

■文字を消す

▲/▼/◀/▶ボタンでカーソルを消したい文字に移動させ、文字クリアボタンを押します。

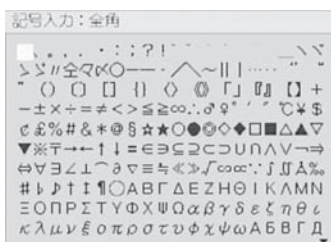
■漢字変換で、文節の区切りを変換する

変換候補が表示されている状態で、◀/▶ ボタンを押して区切りを変更します。

■入力バイト数(入力文字数)について

文字入力画面の下部に「入力済みバイト数 / 入力可能バイト数」が表示されます。入力内容によって入力可能バイト数が異なります。
「半英」「半数」入力の場合は 1 文字 1 バイトです。
「漢字」「全カナ」「全英」「全数」「半カナ」入力の場合は 1 文字 2 バイトです。

■記号文字(@や&など)を入力する

① **メニューボタンを押す**
② **「記号文字入力」から「全角」か「半角」を選ぶ**
記号文字の一覧が表示されます。
③ **▲/▼/◀/▶ボタンで 記号を選び、決定ボタンを押す**

■文章をコピー(切り取り)して貼り付ける

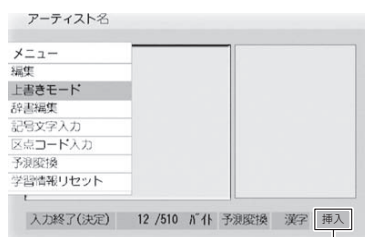
① **メニューボタンを押す**
② **「編集」から「コピー」または「切り取り」を選ぶ**

メニュー	
編集	コピー
上書きモード	切り取り
辞書編集	貼り付け
記号文字入力	
区点コード入力	
予測変換	
学習情報リセット	

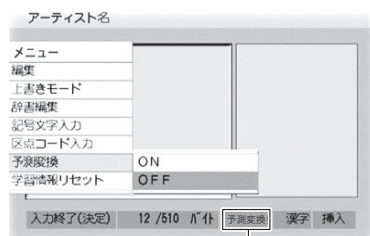
③ **◀/▶ ボタンでコピーまたは切り取りしたい部分の最初の文字を選び、決定ボタンを押す**
④ **◀/▶ ボタンで最終の文字を選び、決定ボタンを押す**
「切り取り」を選んだときは、選んだ部分が削除されます。
⑤ **貼り付けたい位置にカーソルを合わせる**
⑥ **メニューボタンを押し、「編集」から「貼り付け」を選び決定ボタンを押す**

■上書きモード/挿入モードを切り換える

文字入力欄でカーソルを移動させたところから、文字を挿入するか上書きするかを選択します。

① **メニューボタンを押す**
② **「上書きモード」または「挿入モード」を選ぶ**

「挿入」または「上書き」が表示されます

■予測変換機能を「OFF」にする

① **メニューボタンを押す**
② **「予測変換」から「OFF」を選ぶ**
予測変換機能を使いたいときは「ON」にしてください。

ONのときに表示されます。OFFのときは何も表示されません
ONにしていて、文字変換ボタンを押したときは、文字がグレーになります

区点コードを使って入力する

入力する文字の読み方が分からない場合や本機で漢字を変換できない場合は、「区点コード」を使って入力することができます。区点コードは、オンキヨーホームページ (http://www.jp.onkyo.com/support/brnx10a/) から「区点コード表」をダウンロードしてご覧ください。

① **メニューボタンを押す**
② **「区点コード入力」を選ぶ**
③ **「区点コード」を選んで決定ボタンを押し、コードを入力する**
4桁目から入力します。▲/▼ボタンで数字を選び、▶ボタンで次の桁に移ります。3、2、1桁目も入力したら、決定ボタンを押します。
④ **▶ボタンで「確定」を選び、決定ボタンを押す**

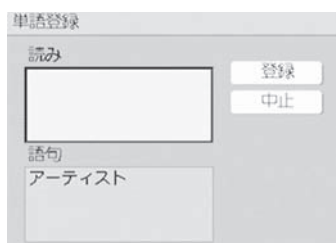
よく使う語句を辞書に登録する

あらかじめよく使う単語を辞書に登録しておくと、早く予測候補や変換候補に表示されて便利です。
登録できる単語数は最大300件です。登録が300件を超えると古いものから順に削除されます。

① **メニューボタンを押す**

② **「辞書編集」から「登録」を選ぶ**
このとき、文章が入力されていないと「登録」を選べません。

③ **◀/▶ボタンで登録したい部分の最初の文字を選び、決定ボタンを押す**

④ **◀/▶ボタンで最終の文字を選び、決定ボタンを押す**
単語登録画面が開きます。

⑤ **「読み」の欄を選び決定ボタンを押して、読み仮名を入力し、決定ボタンを押す**

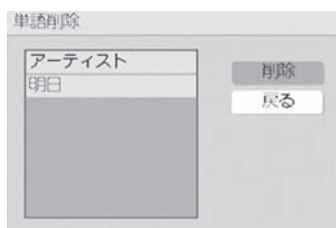
⑥ **▶ボタンで「登録」を選び、決定ボタンを押す**
辞書に登録されます。
指定した範囲の文章がスペースのみの場合は登録できません。

■辞書に登録した単語を削除する

① **メニューボタンを押す**

② **「辞書編集」から「削除」を選ぶ**
単語削除画面が表示されます。

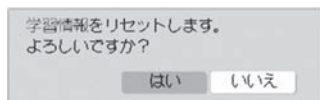
③ **▲/▼ボタンで削除する単語を選んでから、▶ボタンで「削除」を選び、決定ボタンを押す**

④ **確認画面が表示されるので、「はい」を選び、決定ボタンを押す**

学習情報をリセットする

予測変換機能や通常の漢字変換では、文字を入力するたびによく使う単語などを学習し、次の変換に役立てます。その蓄積された学習内容をすべて削除することができます。

① **メニューボタンを押す**

② **「学習情報をリセット」を選ぶ**

③ **確認画面が表示されるので、「はい」を選び、決定ボタンを押す**

曲の分類について

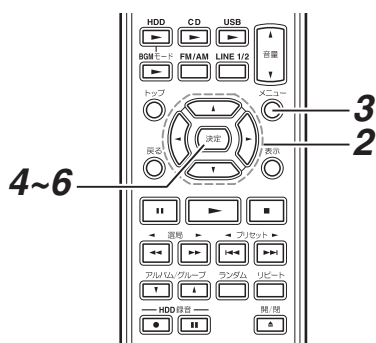
本機に録音/転送した曲は、曲/アルバム/アーティストの名前の頭文字により自動的に五十音順、アルファベット順、「FM/AM」または「その他」に分類されます。

- 曲情報が、英文字とカナの両方ある場合は、五十音順、アルファベット順の両方に分類されます。
  例：英文字「ALBUM」にカナ情報「アルバム」がある場合

2ケ所に分類されます

- 本機のTUNERで録音した曲は、「FM/AM」に分類されます。
- 名前の頭文字が記号、漢字（カナ情報がないとき）のときやエニーミュージックからダウンロードした楽曲は「その他」に分類されます。

画像を登録する

HDDに録音された曲またはアルバムにお手持ちの画像を登録することができます。

ご注意

- 画像サイズが 1024 × 768 よりも大きい場合、171 × 171 よりも小さい場合は、登録できません。
- 登録できる画像は、JPEG 形式のみです。

1

セレクターをHDDにする
TOPメニューからHDDを選び決定（ENTER）ボタンを押します。

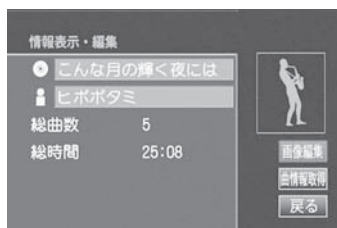
2

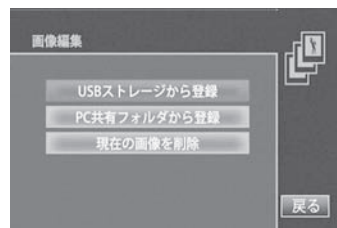
画像を登録したい曲、アルバムまたはプレイリストを、▲/▼◀/▶ボタンで選ぶ
トラック、アルバムまたはプレイリストから選びます。

3

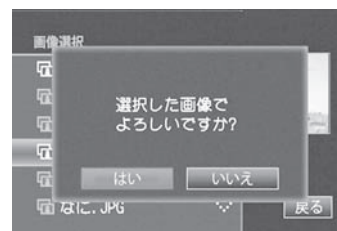
メニュー（MENU）ボタンを押して、メニューを開く

4

「編集」タブの「曲情報表示・編集」または「アルバム情報表示・編集」を選び、決定（ENTER）ボタンを押す

5

「画像編集」を選び登録元を選んで決定（ENTER）ボタンを押す

6

画像選択画面が表示されているので、画像を選び決定（ENTER）ボタンを押す

確認画面が表示されるので「はい」を選びます。

7

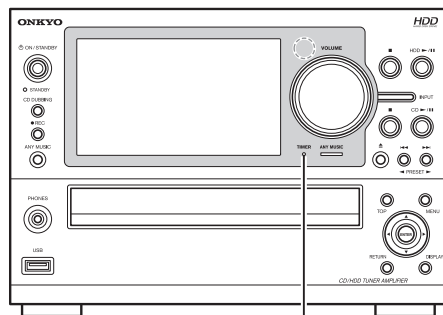
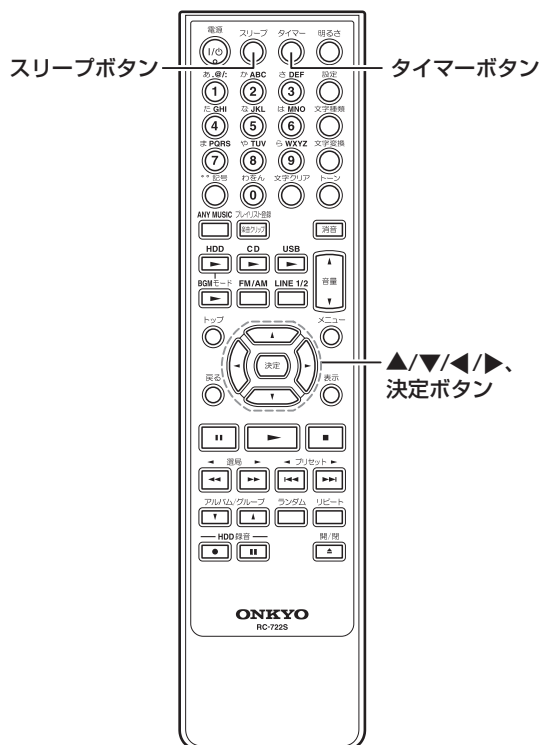
登録が完了する

登録を削除するには

手順 ***5*** で「現在の画像を削除」を選び、決定（ENTER）ボタンを押します。

タイマーを使う

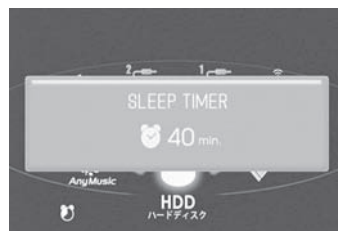
本機には、スリープタイマー、タイマー再生、タイマー録音の3種類のタイマーがあります。
タイマー再生は3件、タイマー録音は10件まで予約することができます。

タイマー予約中は前面パネルのTIMERインジケーターが点灯します。

TIMERインジケーター

スリープタイマーを使う

本機の電源を自動的に切るように10分単位で設定ができます。音楽をかけながら寝るときなどに便利です。

1

リモコンのスリープボタンを押す
ボタンを押すたびに10分から90分まで10分単位で設定することができます。

0(オフ)⇒10⇒20⇒…⇒80⇒90⇒0(オフ)…

スリープタイマーが設定されると、画面にスリープタイマーマークが表示され、前面パネルのTIMERインジケーターが点灯します。

スリープタイマー

残り時間を確認するときは
スリープボタンを1回押すと、本機の電源が切れるまでの残り時間が表示されます。

スリープタイマーを解除するときは
スリープボタンをくり返し押して、0min を表示させるか、一度スタンバイ状態にしてから再度電源を入れると、スリープタイマーは解除されます。

ご注意
- タイマー再生やタイマー録音の動作中は、スリープタイマーは働きません。
- 録音動作中はスリープタイマーは働きません。
- スリープタイマーは、他のタイマー再生やタイマー録音の予約開始時刻にまたがって設定することはできません。

タイマー再生する

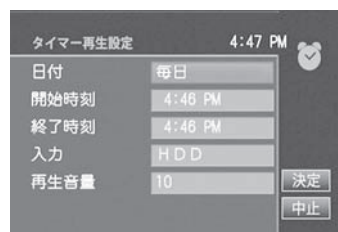
指定した時刻に本機の電源を入れ再生をし、指定した時刻に電源を切ることができます。毎朝の目覚まし代わりに使うと便利です。3件まで予約することができます。

あらかじめ時計を設定しておいてください。（☞21ページ）

1

タイマーボタンを押す
タイマー設定画面が表示されます。

2

◀/▶ボタンで「再生」タブを選び、▲/▼ボタンで「未設定」を選んで決定ボタンを押す
予約設定画面が開きます。

3

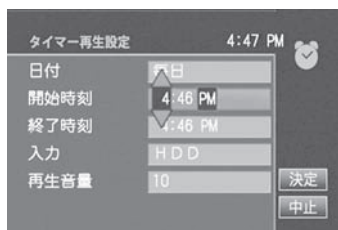
日付を設定する
日付を選んで決定ボタンを押し、▲/▼ボタンで設定してください。日付は、

- 今日から４週先までの月日
- 毎週各曜日（毎（日）から毎（土）まで）
- 月曜から金曜（月 - 金）
- 月曜から土曜（月 - 土）
- 毎日

に設定することができます。

4

開始時刻と終了時刻を設定する
それぞれ選んで決定ボタンを押し、◀/▶ボタンで時/分を選び、▲/▼ボタンで設定してください。
設定したら再度決定ボタンを押して完了します。

5

入力を選ぶ
再生するセレクターを選びます。
「入力」を選んで、決定ボタンを押し、▲/▼ボタンでCD、HDDまたはTUNER（チューナー）を選択してください。

6

音量を設定する
再生するときの音量を調節します。
MIN、1～30、MAXまで設定できます。
「再生音量」を選んで決定ボタンを押し、▲/▼ボタンで音量を調節してください。

7

「決定」を選ぶ
タイマー再生が予約され、一覧に表示されます。前面パネルのTIMER（タイマー）インジケーターが点灯します。

設定した時刻になると、再生や受信が始まります。HDDの場合は最後に再生した曲、CDの場合はディスクの最初の曲を再生し、TUNERの場合は最後に受信していた局を受信します。
戻るボタンを押すと、元の画面に戻ります。

ご注意

- すでに3件予約されている場合は、他のタイマー再生予約を消してから設定してください。
- タイマー再生開始時間の約1分前から一部の操作ができなくなります。
- 他のタイマーと予約時間が重なっているときは、設定することはできません。

タイマー再生の中止、変更、削除などは63ページをご覧ください。

ラジオをタイマー録音する

指定した時刻にラジオ放送の録音を予約することができます。留守中の録音や、深夜放送などの録音に使うと便利です。10件まで予約することができるので、複数の放送を録音することができます。

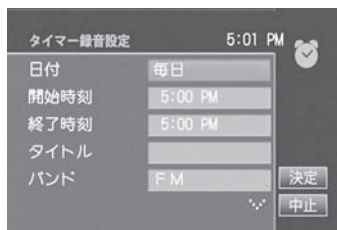
あらかじめ時計の設定（☞21ページ）と、ラジオ局のプリセット登録（☞27ページ）をしておいてください。

1

タイマー

タイマーボタンを押す
タイマー設定画面が表示されます。

2

◀/▶ボタンで「録音」タブを選び、▲/▼ボタンで「未設定」を選んで決定ボタンを押す
予約設定画面が開きます。

3

日付を設定する
日付を選んで決定ボタンを押し、▲/▼ボタンで設定してください。日付は、
- 今日から４週先までの月日
- 毎週各曜日（毎（日）から毎（土）まで）
- 月曜から金曜（月 - 金）
- 月曜から土曜（月 - 土）
- 毎日

に設定することができます。

4

開始時刻と終了時刻を設定する
それぞれ選んで決定ボタンを押し、◀/▶ボタンで時/分を選び、▲/▼ボタンで設定してください。
設定したら再度決定ボタンを押して完了します。

5

タイトルを入力する
HDD上で表示するタイトルを設定することができます。タイトルを選んで決定ボタンを押してください。文字入力画面の操作方法は、56ページをご覧ください。

6

バンドと放送局を選ぶ
FMまたはAMを設定し、放送局のプリセット番号を選んでください。

7

録音するフォーマットとビットレートを設定する

フォーマット	ビットレート
ATRAC3plus	256kbps/64kbps/48kbps
ATRAC3	132kbps/105kbps/66kbps
MP3	256kbps/192kbps/160kbps/128kbps/96kbps
PCM	— (ビットレートは選べません)

フォーマットは、33ページをご覧になって選択してください。
フォーマットによっては、分割や結合などの編集作業ができないものもあります。

8

「決定」を選ぶ
タイマー録音が予約され、一覧に表示されます。

設定した時刻になると、録音が始まります。
戻るボタンを押すと、元の画面に戻ります。

ご注意
- すでに10件予約されている場合は、他のタイマー録音予約を消してから設定してください。
- タイマー録音開始時間の約１分前から一部の操作ができなくなります。
- タイトルに何も入力しないときは、日付・時刻がタイトルにつけられます。
- タイマー録音開始後、数秒間録音されない場合がありますので、録音開始時刻は1分程早めに設定してください。
- 他のタイマーと予約時間が重なっているときは、設定することはできません。

タイマー録音中に放送を聞きたいときは
スタンバイ状態からタイマー録音が起動したときは、消音機能が働いています。音を聞きたいときは、消音ボタンを押すか、音量▲/▼ボタンを押して消音機能を解除してください。

タイマーを使う

■タイマー(再生/録音)動作中に中止する

タイマー再生中やタイマー録音中にタイマー機能を中止して、そのまま再生や録音を続けることができます。

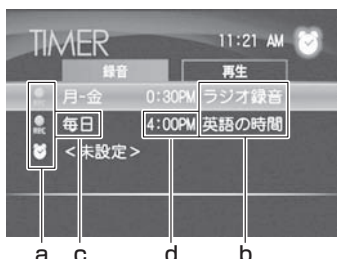
① **タイマー動作中に、メニュー（MENU）ボタンを押す**

② **「タイマーキャンセル」を選び、決定（ENTER）ボタンを押す**

確認画面が表示されるので、「はい」を選んでください。

■タイマーを確認する

① **タイマーボタンを押す**
タイマー一覧画面が表示されます。

タイマー録音一覧

a. **タイマー状況**

録音タイマー 保留時

再生タイマー タイマー失敗時

b. **タイマー内容 / タイトル**
タイマー再生時は内容が、タイマー録音時はタイトルが表示されます。

c. **タイマー予約日**

d. **タイマー開始時間**

② **詳しい内容を確認したいときは、確認したいタイマー予約を選び、決定ボタンを押す**

③ **確認したら戻るボタンで画面を閉じる**

■TOP画面からタイマーを設定する

TOP画面で◀/▶ボタンを使いTIMER（タイマー設定）を選びます。

タイマーの予約設定画面が開きます。
61、62ページをご覧になり、手順*2*から設定を続けてください。

■タイマーを変更する

タイマー設定内容を変更することができます。

① **タイマーボタンを押す**
タイマー一覧画面が表示されます。

② **内容を変更したいタイマー予約を選び、決定ボタンを押す**
予約設定画面が開きます。

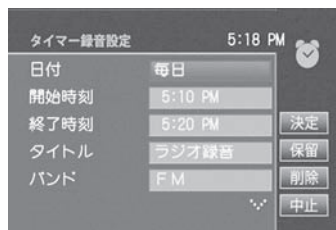
③ **内容変更箇所を選んで決定ボタンを押し変更する**

④ **変更が終わったら「決定」を選ぶ**

■タイマーを削除/保留する

① **タイマーボタンを押す**
タイマー一覧画面が表示されます。

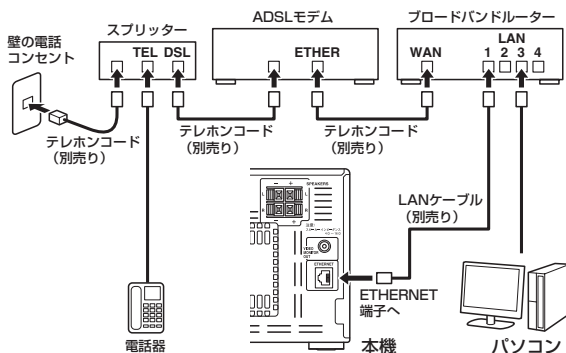
② **削除 / 保留したいタイマー予約を選び、決定ボタンを押す**
予約設定画面が開きます。

③ **「削除」または「保留」を選び、決定ボタンを押す**
削除したときは、タイマー一覧画面から予約が消えます。保留したときは、一覧表示に保留マークが表示されます。
休日で目覚ましに使っているタイマーを止めておきたいときは、「保留」にすると便利です。

ネットワークの接続・設定をする

インターネットに接続する

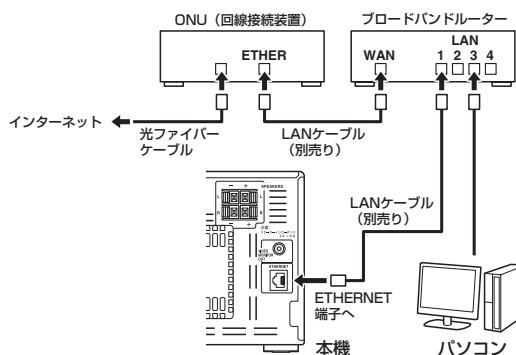
本機をインターネットに接続することで以下の機能が使えます。
最新のシステムソフトに更新
自動時計合わせ
最新の曲情報を取得
エニーミュージックのサービスを利用
また、ネットワーク上のパソコンからMP3ファイルを録音したり、パソコンにバックアップすることができます。（バックアップ時にはインターネット接続が必要です。）
本機は、ADSL回線、ケーブルテレビの回線、FTTH(光ファイバー)などを使ってインターネットに接続することができます。ここでは、各回線を使用した代表的な接続方法を説明します。詳しい接続方法などについては、お使いの機器の取扱説明書やプロバイダ、CATV局などから送られてくる説明書を参照してください。接続の前に、ご使用になる回線のプロバイダと契約を済ませておいてください。

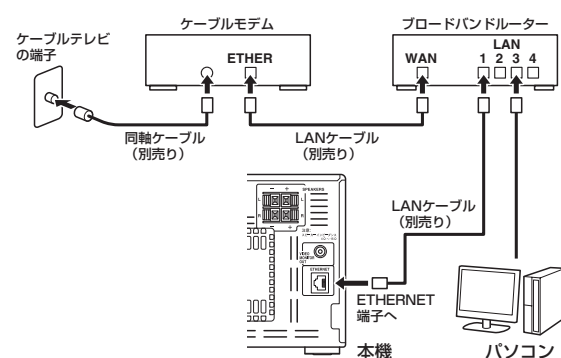
ADSL

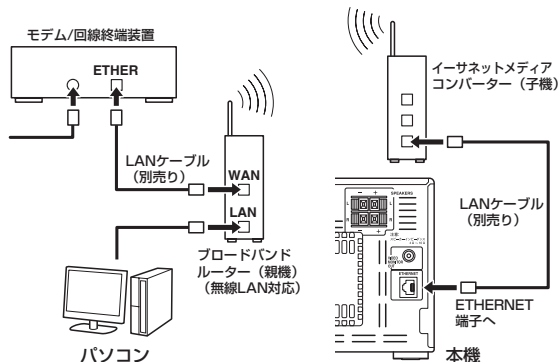
一般の固定電話回線(アナログ)と、パソコンの間に「ADSLモデム」を接続して、高速でインターネット接続するサービスです。

ご注意

- 契約によっては、複数台の端末を接続できないことがあります。ご利用のプロバイダにお問い合わせください。
- お使いになる地域や回線状況によっては、正しく動作しないことがあります。

FTTH(光ファイバー)

光ファイバーを使った回線を利用してインターネットに接続するサービスです。他のブロードバンド方式よりも高速な通信が可能です。

CATV(ケーブルテレビ)

ケーブルテレビの回線を使ってインターネットに接続するサービスです。ただし、ケーブルテレビのサービスが提供されていない地域では利用できません。

無線LANの場合

無線LAN対応のブロードバンドルーターとイーサネットメディアコンバーターが必要です。

ご注意

無線LANの場合、ご使用の環境によって十分な性能が発揮できないことがあります。

ネットワークの設定

インターネットにうまく接続できないときや、IP アドレスなどを手動で設定したいときは、ネットワークの状態を確認したり、ネットワークの設定を行ってください。手動で設定するときは、お使いのブロードバンドルーターの設定状況にあわせた値（英数字）を入力します。プロバイダによって入力が必要な項目が異なります。詳しくは、ご利用のプロバイダからの資料などをご覧ください。

設定項目	説　　明	設定例
IP アドレス	インターネットに接続するコンピュータに割り当てられる固有の番号です。通常は、3桁の数字4組を点で区切った形になっています。	192.168.xxx.xxx
サブネットマスク	ネットワークを区切るために、コンピュータに割り当てるIPアドレスの範囲を限定するしくみです。	255.255.xxx.xxx
デフォルトゲートウェイ	所属するネットワークの外のコンピュータへアクセスする際に使用する「出入り口」の代表となるコンピュータやブロードバンドルーターなどの機器のことです。IPアドレスで特定されています。	192.168.xxx.xxx
DNS サーバアドレス（プライマリ / セカンダリ）	ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持つサーバで、IPアドレスで特定されています。お使いのプロバイダによっては、「ネームサーバ」、「DNS1/DNS2」、「DNSサーバ」、「ドメインサーバ」などと呼ばれます。	192.168.xxx.xxx
プロキシ	お使いのプロバイダから指定がある場合は、設定してください。本機の代りに目的のサーバにアクセスし、ファイアーウォール（外部からの不正侵入防護壁）を越えて本機にデータを送ってくれる中継サーバのことです。データをキャッシュする機能があるため、同じデータは高速に転送されます。	proxy.xxx.ne.jp
ポート	プロキシ用のポート番号です。お使いのプロバイダから指定がある場合は設定してください。コンピュータ上で動いているたくさんのアプリケーションの中から通信先のアプリケーションを特定するために必要な情報のことです。ブラウザ、メールなど決められた番号があります。	80

ネットワーク設定画面を開く

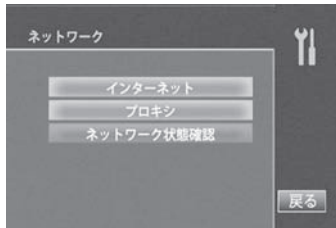
TOP（トップ）画面から「SETUP（セットアップ）」を選び、SETUP 画面から「NETWORK（ネットワーク）」を選びます。

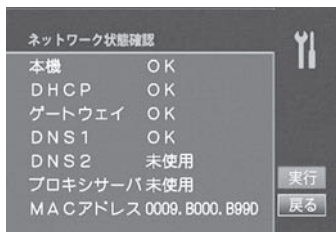
ネットワーク設定画面で⚠マークが付いている項目は設定が必要です。接続や設定を確認 / 変更してください。
「インターネット」に⚠マークが付いているときは、「インターネット」を選び DHCP の設定を「全て自動」にしてください。
「全て自動」にしても⚠マークが消えないときは、手動をお試しください。（☞66 ページ）

ネットワークの接続・設定をする

ネットワークの接続状態を確認する

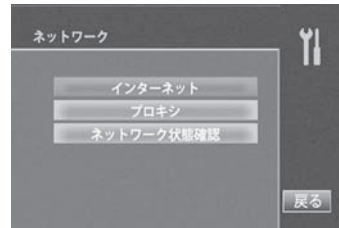
現在のネットワーク接続状態を確認することができます。

① **ネットワーク設定画面から「ネットワーク状態確認」を選ぶ**

② **「実行」を選ぶ**
▲/▼/◀/▶ボタンで「実行」を選び、決定（ENTER）ボタンを押すと、ネットワーク状態の確認が始まります。

確認が終わると、各項目ごとに「OK」または「NG」が表示されます。使用していないDNSサーバなどには「未使用」と表示されます。
確認には数分かかることがあります。

③ **「戻る」を選ぶ**
ネットワーク設定画面に戻ります。
「NG」と表示された設定があった場合、右記からの手順で設定を変更してください。

DHCPを手動で設定する

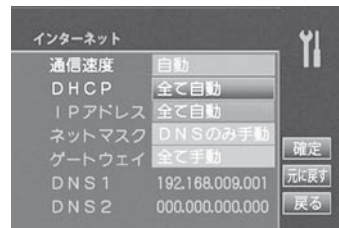
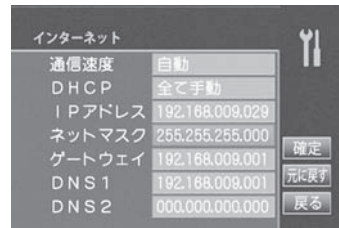
IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバなどを手動で設定することができます。固定IPアドレスを割り当ててネットワークに接続する場合や、プロバイダからDNSサーバの指定があるときに設定します。

① **ネットワーク設定画面から「インターネット」を選ぶ**

② **「通信速度」が「自動」に設定されていることを確認する**

！ヒント

ブロードバンドルーターやハブとうまく接続できないときは、「100Mbps」または「10Mbps」を選ぶと接続できることがあります。

③ **「DHCP」を「DNSのみ手動」または「全て手動」に設定する**

通常は「全て自動」にしておいてください。

④ **設定する項目を選び、数値を変更する**

⑤ **「確定」を選んで設定を完了する**

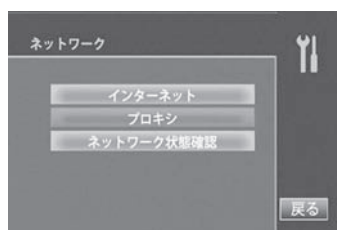
！ヒント

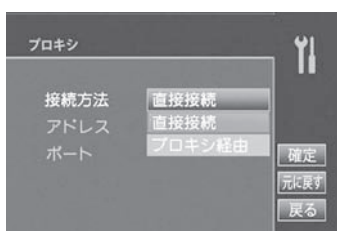
設定を変更前の状態に戻すには、「元に戻す」を選んでください。

⑥ **「戻る」を選ぶ**
ネットワーク設定画面に戻ります。

プロキシ設定をする

ご利用のプロバイダから指定がある場合は、設定を行ってください。特に指定がない場合は設定する必要はありません。

① **ネットワーク設定画面から「プロキシ」を選ぶ**

② **「接続方法」の設定を「プロキシ経由」に変える**

通常は「直接接続」にしておいてください。

③ **「アドレス」と「ポート」を入力する**

④ **「確定」を選ぶ**
ネットワーク設定画面に戻ります。

！ヒント

設定を変更前の状態に戻すには、「元に戻す」を選んでください。

共有フォルダの設定をする

パソコンのフォルダを共有フォルダに設定しておくと、パソコンに保存された音楽データを取り込んだり、音楽データをパソコンにバックアップすることができます。設定について詳しくは、お使いの Windows の取扱説明書、ヘルプをご覧ください。
例として、Windows XP Home Edition での操作を説明します。

1	**共有設定したいフォルダを右クリックし、「共有とセキュリティ」を選ぶ** フォルダのプロパティの「共有」タブが表示されます。
2	**「ネットワーク上でこのフォルダを共有する」および「ネットワークユーザーによるファイルの変更を許可する」をクリックしてチェックする**
3	**「OK」をクリックして、フォルダのプロパティを閉じる**

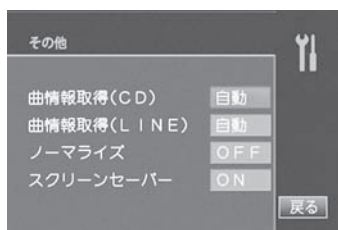
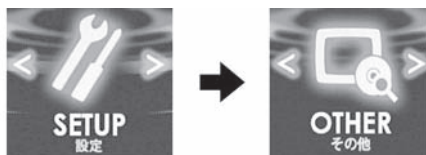
ネットワークの共有フォルダは、半角英数字のみで名前をつけてください。

設定をする

その他の設定をする

曲情報取得の設定、HDD のレベル調整、スクリーンセーバーの設定ができます。

■「その他」の設定画面を開く

TOP 画面から「SETUP」を選び、SETUP 画面から「OTHER」を選びます。

CD曲情報取得を設定する

CDをセットしたときに、CDの曲情報取得を自動で行うかどうかを設定することができます。

① 「その他」の設定画面から、「曲情報取得（CD)」を選ぶ

② プルダウンメニューから設定を変更する

自動：CD をセットしたときに、自動的に曲情報を取得します（お買い上げ時の設定です）

OFF：曲情報を取得しません。手動で取得してください（☞23 ページ）

外部入力曲情報取得を設定する

本機は、曲の波形データをもとに、曲名やアーティスト名などを検索し表示することができます。
この機能を使うと、アナログ入力から録音したMP3など音楽CD以外の音源でも曲情報を検索することができます。

① 「その他」の設定画面から、「曲情報取得（LINE)」を選ぶ

② プルダウンメニューから設定を変更する

自動：曲の波形データをもとに曲を検索し情報を取得します（お買い上げ時の設定です）

OFF：外部入力の曲情報を取得しません。手動で取得してください（☞55 ページ）

ご注意

この機能は、外部入力の再生時に曲情報を表示する機能ではありません。本機の HDD に録音した曲にのみ働きます。（☞37 ページ）

HDD再生時の音量レベルを自動で調整する

HDD 内の曲を再生するときに、音量レベルを自動で調整することができます。（ノーマライズ）
複数の機器や音源から録音したときに、音量が大きく録音されたり小さく録音されたりすることがあります。この場合、ノーマライズ機能を使って、音量レベルを調整すると便利です。

① 「その他」の設定画面から、「ノーマライズ」を選ぶ

② プルダウンメニューから設定を変更する

ON：HDD 内の曲を再生するときに、レベルを調整します

OFF：ノーマライズ機能を使用しません（お買い上げ時の設定です）

ご注意

- レベル調整はアルバム単位で行われます。
- 聴感上、音量が一定になるとは限りません。
- ラジオや外部入力からの録音は、一度再生してからレベルを取得するため、2 回目以降の再生に効果が表れます。
- CD録音時にレベル取得設定がOFFの場合は、一度再生してからレベルを取得するため、2回目以降の再生に効果が表れます。

スクリーンセーバーを設定する

何も操作しない状態が続くと、パソコンのようにスクリーンセーバーが働くように設定することができます。

① 「その他」の設定画面から、「スクリーンセーバー」を選ぶ

② プルダウンメニューから設定を変更する

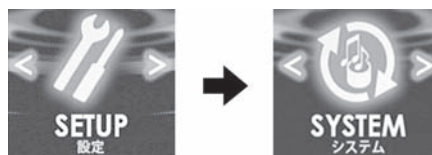
ON：スクリーンセーバーを使います
何もボタンを押さない状態で 30 分経過すると、スクリーンセーバーが起動します
（お買い上げ時の設定です）

OFF：スクリーンセーバーを使いません

システムを管理する

データのバックアップ/復元、バージョン情報の確認、システムソフトの更新、システムの初期化を行うときは「システム画面」から行ってください。

■システム画面を開く

TOP(トップ)画面から「SETUP(セットアップ)」を選び、SETUP画面から「SYSTEM(システム)」を選びます。

データをバックアップ・復元する

本機のHDDに保存した音楽データを、ネットワーク上のPC共有フォルダや、本機に接続したUSBハードディスクに一括コピーしてバックアップしたり、バックアップしたデータを本機に復元することができます。
また、前回のバックアップデータがある場合、その差分のみをバックアップすることで、バックアップにかかる時間を短縮することができます。
データがある程度たまってきたら、万一に備えてデータをバックアップしておくことをおすすめします。

インターネット接続が必要です
バックアップしたデータを本機に復元する際に、音楽データの有効化が必要です。音楽データの有効化をするには、インターネット経由での認証が必要になるため、音楽データを不正に複製することができないようなしくみになっています。

ご注意

- 本機に保存されているデータ量やUSBハードディスク、パソコン、ネットワークの状態により、バックアップには長時間（最長数十時間）かかることがあります。
- バックアップしたデータは、本機以外（パソコンなど）にコピーして利用することはできません。
- 本機のデータをUSBハードディスクにバックアップするためには、FAT32形式でフォーマットされた容量80GB以上のUSBハードディスクが必要です。
  ー USBハードディスクをパソコンなどで既にFAT32形式でフォーマット済みの場合、第一パーティションにバックアップします。このパーティションに必要な空き容量がない場合はバックアップできません。お使いのパソコン等でパーティションを変更して、80GBの空き容量を確保してください。
- 本機の時計が正しく設定されていないと、差分バックアップが正しく行われないことがあります。

バックアップ/復元時のご注意

- バックアップを途中でやめるとバックアップ先のデータが不完全になり、そのデータを復元することができなくなります。その場合は、もう一度最初からフルバックアップしてください。
- バックアップしたデータの復元を途中でやめると、本機のハードディスクのデータが不完全になり、本機が正常に動作しなくなることがあります。その場合は、バックアップしたデータをもう一度最初から復元してください。
- USBハブは使用できません。
- USB延長ケーブルをご使用の場合の動作の保証はできません。
- バックアップ中またはデータの復元中にUSBケーブルやLANケーブルを引き抜いたり、機器の電源を切らないでください。故障の原因となります。
- ネットワーク上の共有フォルダは、半角英数字のみで名前をつけてください。

システムを管理する

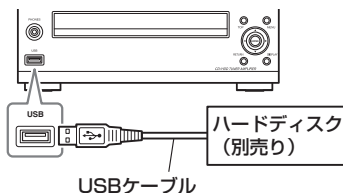
USBハードディスクにバックアップする

本機のハードディスク内の音楽データをUSBハードディスク（ 別売り）に保存（ バックアップ）します。

1

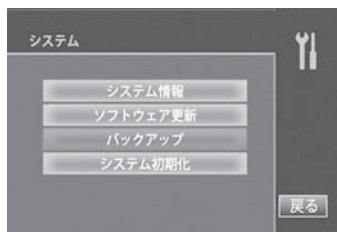
インターネットに接続する
64ページをご覧になって、インターネット接続をしてください。

2

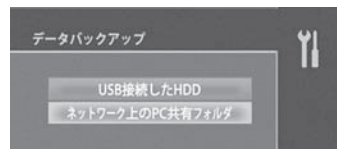
USBケーブルを使って本機のUSB端子にハードディスクをつなぐ

- 外付けハードディスク側の USB 端子の形状は機種によって異なります。
- 本機で使用できる USB ハードディスクの機種は、http://www.jp.onkyo.com/support/brnx10a/をご覧ください。本機に対応していないUSBハードディスクをつなぐと、故障の原因となることがあります。

3

システム画面で「バックアップ」を選ぶ
バックアップ画面が表示されます。

4

「データバックアップ」を選ぶ
バックアップ先のドライブ選択画面が表示されます。

5

「USB 接続した HDD」を選ぶ
ドライブの確認画面が表示されます。

6

過去のバックアップデータがあるときは、「フル」または「差分」を選ぶ
過去のバックアップデータがないときは、手順 ***7*** に進んでください。

フル：既存のデータに上書き保存する（フルバックアップ）

差分：既存のデータ以外のデータを保存する（差分バックアップ）

7

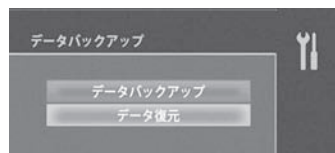
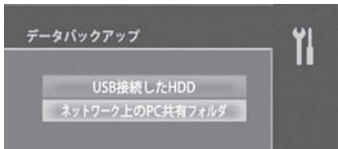
画面の内容を確認し、「はい」を選ぶ
バックアップが始まります。
バックアップが終わると、「バックアップが正常に終了しました。」と表示されます。

■バックアップを途中でやめるには

バックアップ中に「中止」を選ぶ
確認画面が表示されるので、「はい」を選んでください。バックアップの中止に時間がかかることがあります。

■バックアップしたデータを復元するには

外付けの USB ハードディスクにバックアップしたデータを本機に戻します。

1 **バックアップ画面で「データ復元」→「USB 接続した HDD」を選ぶ**
復元の確認画面が表示されます。

2 **画面の内容を確認し、「はい」を選ぶ**
インターネットに接続して認証が行われます。認証が終わると、復元が始まります。復元が終わると、「バックアップしたデータの復元が正常に終了しました。」と表示されます。
復元中に「中止」を選ぶと、復元がキャンセルされます。

ネットワーク上の共有フォルダにバックアップする

本機のハードディスク内の音楽データを、お手持ちのパソコンのハードディスクに保存（ バックアップ）します。

ご注意

本機のバックアップ機能に対応するパソコンは、以下のバージョンのWindowsが標準インストールされている必要があります。
日本語　Microsoft Windows® 2000 Professional
日本語　Microsoft Windows® XP Home Edition
日本語　Microsoft Windows® XP Professional
日本語　Microsoft Windows® Vista Home Basic
日本語　Microsoft Windows® Vista Home Premium
日本語　Microsoft Windows® Vista Ultimate
日本語　Microsoft Windows® Vista Business

1 **インターネットに接続する**
64ページをご覧になって、インターネットに接続し、パソコンをネットワーク上に接続してください。

2 **パソコンの共有フォルダを設定する**
（☞67 ページ）

3 **システム画面で「バックアップ」を選ぶ**
バックアップ画面が表示されます。

4 **「データバックアップ」を選ぶ**
バックアップ先のドライブ選択画面が表示されます。

5 **「ネットワーク上の PC 共有フォルダ」を選ぶ**

6 **各項目を選び入力する**

項目	内容
コンピュータ名	コンピュータ名またはIPアドレスを入力（半角英数字で18文字まで）
共有名	共有フォルダを設定したとき（67 ページ）につけた共有名
ユーザー名	共有フォルダを設定したときにアクセス許可したユーザー名
パスワード	共有フォルダにパスワードがかかっているときのみ必要

入力できる文字は、半角英数字のみです。

7 **「決定」を選ぶ**

8 **過去のバックアップデータがあるときは、「フル」または「差分」を選ぶ**
過去のバックアップデータがないときは、手順 **9** に進んでください。
フル：既存のデータに上書き保存する（フルバックアップ）
差分：既存のデータ以外のデータを保存する（差分バックアップ）

9 **画面の内容を確認し、「はい」を選ぶ**
バックアップが始まります。
バックアップが終わると、「バックアップが正常に終了しました。」と表示されます。

ご注意　お使いのセキュリティソフトの設定が外部からのアクセスを許可していない場合、共有フォルダが使用できません。設定をご確認ください。

■コンピュータ名を確認するには

（Windows XP Home Edition の場合）
スタートメニューで「コントロールパネル」→「システム」を選び、システムのプロパティ画面の「コンピュータ名」タブをクリックすると、「フルコンピュータ名」欄に表示されます。

（Windows Vista Home Premium の場合）
スタートメニューで［コントロールパネル］→［システム］を選ぶと、コンピュータ名、フルコンピュータ名が表示されます。

■IPアドレスを確認するには

（Windows XP Home Edition の場合）
スタートメニューで「コントロールパネル」→「ネットワーク接続」を選んでから、使用しているネットワークを選び、「サポート」タブをクリックすると、表示されます。

（Windows Vista Home Premium の場合）
スタートメニューで［コントロールパネル］→［ネットワークと共有センター］を選び、［接続］の［状態の表示］をクリック、［詳細］をクリックすると、表示されます。

■バックアップを途中でやめるには

バックアップ中に「中止」を選ぶ
確認画面が表示されるので、「はい」を選んでください。バックアップの中止に時間がかかることがあります。

■バックアップしたデータを復元するには

ネットワーク上の共有フォルダにバックアップしたデータを本機に戻します。

1 **バックアップ設定画面で「データ復元」→「ネットワーク上の PC 共有フォルダ」を選ぶ**
2 **PC 共有フォルダの設定をして、「決定」を選ぶ**
3 **画面の内容を確認し、「はい」を選ぶ**
インターネットに接続して認証が行われます。認証が終わると復元が始まります。
復元が終わると、「バックアップしたデータの復元が正常に終了しました。」と表示されます。
復元中に「中止」を選ぶと、復元がキャンセルされます。

システムを管理する

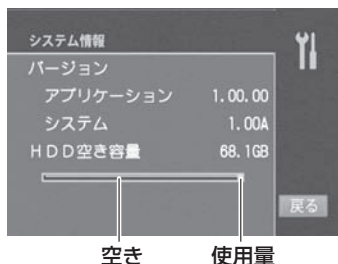
システム情報を確認する

本機のシステムソフト（アプリケーション）のバージョンと、システムマイコンのバージョンとHDDの空き容量を確認することができます。

HDD の空き容量について
本機はシステム領域としてHDDの一部の容量を使用しております。そのため、実際に使用できる容量は少なく表示されます。

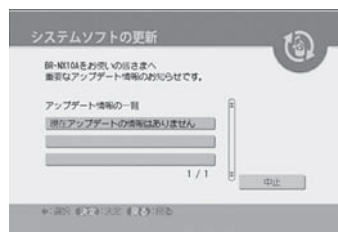
1

システム画面で「システム情報」を選ぶ
システム情報画面が表示されます。

空き　使用量

システムソフトを更新する

システムソフトをダウンロードすることで、新しい機能が追加されるなど、本機をより便利にお使いいただけるようになります。
電源を入れたときに画面にメッセージが表示され、更新ができることをお知らせします。

1

システム画面で「ソフトウェア更新」を選ぶ
システムソフトの更新画面が表示されます。

2

画面の指示に従って操作する
システムソフトの更新が始まります。更新には数十分かかることがあります。
更新終了後、自動的に再起動します。

！ヒント

システムソフトの更新では、HDD に保存した曲や設定の内容は消去されません。

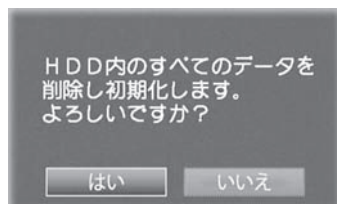
ご注意

更新中は電源を切ったり、LAN ケーブルを抜かないでください。

システムを初期化する

本機をお買い上げ時の状態に戻します。録音や取り込みで HDD ジュークボックスに保存した音楽データだけでなく、時計合わせやインターネットの設定などの、すべての情報が消去されるので、ご注意ください。

1

システム画面で「システム初期化」を選ぶ
システム初期化の確認画面が表示されます。

2

確認画面が数回表示されるので、すべて「はい」を選ぶ
初期化が始まります。
途中で数回自動的に再起動してから数分後に作業が終了し、電源が切れます。

！ヒント

なお、「システムソフトを更新する」で更新された内容は、消去されません。

ディスクに関する予備知識

本機は以下のディスクを再生することができます。

ディスクの種　類	ディスクに付いているマーク（ロゴ）	ファイルの種類
CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音楽用 CD
CD-R/RW ISO9660レベル1、2またはJolietに準拠したフォーマットで記録されたもの	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable、COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable、COMPACT disc ReWritable、COMPACT disc Recordable	音楽用 CD MP3

ご注意

- ファイナライズされていないCD-R/CD-RWは再生できません。
- PHOTO CD、CD-EXTRAのデータ部分、スーパーオーディオCDは再生できません。
- マルチセッションディスクの音楽用CDフォーマットは、最初のセッションに記録されている曲しか再生できません。
- マルチセッションディスクの音楽用CDフォーマットとCD-ROMフォーマットのセッションの構成により、MP3ファイルが再生できない場合があります。
- ディスクに記録された曲が500を超える場合、501番目以降の曲は認識されません。
- CD-R/CD-RWのディスクの特性や記録状態によっては、再生できない場合があります。
- 多くの階層や複雑な構成で記録したディスクは再生開始までに時間がかかることがあります。ディスクにアルバムを記録するときは第2階層までにすることをおすすめします。

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となることがあります。

!ヒント

CDの記録方式については、お手持ちのCD-R/RWドライブまたは書き込み用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

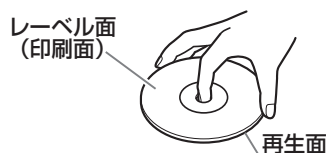
DualDiscについてのご注意

本機は、CD規格に準拠したディスクの再生を前提として、設計されています。DualDiscはDVD規格に準拠した面と音楽専用の面とを組み合わせた両面ディスクですが、音楽用の面はCD規格に準拠していないため、本機で再生できない場合があります。
DualDiscは全米レコード協会（RIAA）の商標です。

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽 CD の再生について

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CD の中には正式な CD 規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

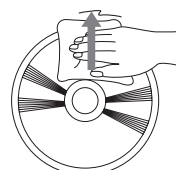
取り扱いについて

再生面（印刷されていない面）に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

再生面はもちろんレーベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。またきずなどをつけないようにしてください。

レンタル CD の注意について

CD にセロハンテープやレンタル CD のラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるもの、また飾り用のシールを貼ったものはお使いにならないでください。CD が取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

お手入れについて

汚れにより信号読み取りが低減し、音質が低下する場合があります。汚れている場合は、再生面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。
汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は表面が侵されることがありますので絶対に使用しないでください。

保管上の注意について

直射日光の当たる場所、暖房器具の近くなど温度が高くなるところや、極端に温度の低い場所はさけ、必ず専用ケースに入れて保管してください。

結露について

本機を冷えた場所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。
結露しているおそれがある場合は、本機の電源を入れて約 1 時間放置してからご使用ください。

MP3について

本機はCD-ROM/CD-R/CD-RWディスク/USBストレージに記録されたMP3音声を再生できます。

MP3ファイルを再生するときの制限事項

- 本機はサンプリング周波数32kHz、44.1kHz、48kHz及びビットレート32 ～ 320kbpsに対応しています。それ以外の数値で作成されたファイルを再生すると、再生が停止したり、大きな雑音や音途切れがしたり、スピーカーを損傷する恐れがあります。
- MP3形式以外のファイルに「.mp3」の拡張子をつけると、本機はそれらを再生しようとしてしまい、再生をスキップしたり、雑音や故障の原因となります。
- 本機はMP3PROで記録されたファイルには対応していません。
- 以下の場合、MP3の再生経過時間、または、再生残量時間が実際と異なることがあります。
  －VBR（Variable Bit Rate、可変ビットレート）のMP3ファイルを再生したとき
  －早送り、早戻しをしたとき
- MP3 CDは、ジャケット画像表示に対応していません。

■MP3ファイルの階層と再生順序

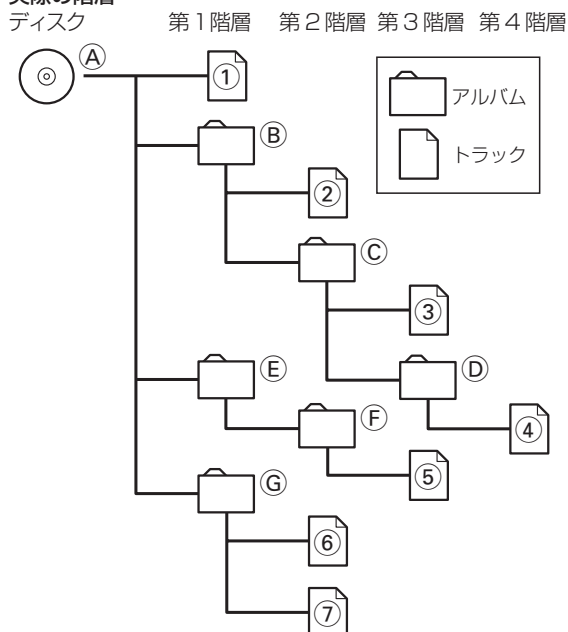
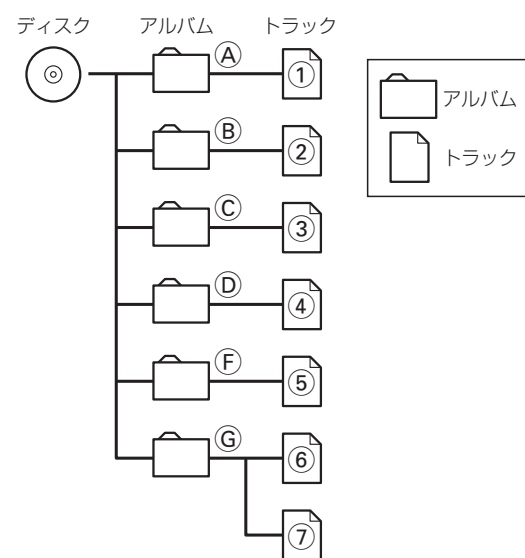
データCDに記録されたアルバムやトラック（MP3ファイル）は以下の階層になっており、①→②→③→④→⑤→⑥→⑦の順に再生します。アルバムがサブアルバムを含んでいるときは、サブアルバムに含まれるトラックの再生が優先されます（例:Ⓑの中にⒸがあるので、②の次は⑥、⑦ではなく③が優先されます。）
リスト画面では、Ⓐ→Ⓑ→Ⓒ→Ⓓ→Ⓔ→Ⓕ→Ⓖの順でアルバム名が並びます。トラックを直下に含まないアルバム（例：Ⓔ）はリスト画面に表示されません。

ご注意

MP3音声を記録した時の書き込み用ソフトウェアによっては、図の順で再生されないことがあります。

実際の階層

本機での見えかた

ご注意

本機では、MP3ファイルが記録されたデータCDの場合、第10階層まで表示できます。また、パソコン側の制約により、制限されることもあります。

本機のリモコンでRI接続した機器を操作する

RI接続した機器を本機のリモコンで操作するときは、32 ページで「入力割り当て」を接続した機器の名称に切り換えてください。

入力セレクター / リモコンボタン	LINE 1		LINE 2	
	MD	TAPE	DOCK	CD-R
電源ボタン	電源を入 / 切します			
アルバム▲/▼ボタン	———	———	前後のアルバムを選びます	———
‖ ボタン	再生を一時停止します	リバース再生します	再生を一時停止します	再生を一時停止します
▶ ボタン	再生します			
■ ボタン	再生を停止します			
◀◀/▶▶ ボタン	早戻し / 早送りします			
|◀◀/▶▶| ボタン	前後の曲を選びます	———	前後の曲を選びます	前後の曲を選びます
リピートボタン	リピート再生します	リバースモードを切り換えます	リピートモードを切り換えます	リピート再生します
ランダムボタン	ランダム再生します	———	シャッフルモードを切り換えます	ランダム再生します

困ったときは

まず下の表で点検してみてください。接続した他の機器に原因がある場合もあります。他の機器に付属の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。
ホームページでも最新サポート情報やよくあるお問い合わせとその回答を掲載しています。
http://www.jp.onkyo.com/support

電源に関して

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。
- 一度電源プラグをコンセントから抜き、約1分間待ってから再度コンセントに差し込んでください。
- STANDBYインジケーターが点滅しているときは、リモコンや本体のボタンが動作しません。赤く点灯するまでお待ちください。

電源プラグを差し込むと、電源が入ってまた電源が切れる

- 本機は電源プラグを差し込むと自動的に内部の設定を行い、電源が切れてスタンバイ状態に戻る仕様です。スタンバイ状態になってからON/STANDBYボタンを押すと電源が入ります。**(19ページ)**

上の画面が表示されたまま電源が切れるまでに時間がかかる

- 本機のHDDに大量の曲が保存されている場合、電源が切れるまで時間がかかることがあります。

スタンバイ状態から電源を入れて起動するまで時間がかかる

- 本機の状態によっては、IPアドレスを自動的に取得するために本機が起動するまで約30秒かかることがあります。

電源が切れない

- 初期設定中や起動中はON/STANDBYボタンが働きません。

電源が途中で切れる

- スリープタイマーが設定されていると、設定時間後に電源が切れます。解除してください。**(60ページ)**
- スタンバイ時のタイマー再生/録音**(61～63ページ)**は終了時刻が来るとスタンバイ状態になります。

表示部やテレビ出力した画像に関して

画像が乱れる

- 衝撃や振動によって画像が乱れることがあります。安定した場所で使用してください。
- ハードディスクの特性上、ごくまれに画像が乱れることがありますが、故障ではありません。

スクリーンセーバーが働く

- ▲/▼/◀/▶ボタンなどを押して解除してください。68ページでスクリーンセーバーを「オフ」にすることもできます。

音に関して

音声が出ない

- スピーカーが正しく接続されていますか？しん線は本体の接続端子に接触していますか？**(16ページ)**
- ボリュームが最小になっていませんか? **(25ページ)**
- セレクターが正しく選択されているか確認してください。**(20ページ)**
- [消音表示] が点灯している場合、消音機能が働いていますので、解除してください。タイマー録音中は、消音状態になっています。**(25、62ページ)**
- ヘッドホンを接続しているとスピーカーからの音は出ません。ヘッドホンをはずしてください。**(25ページ)**

音が良くない/雑音が入る

- スピーカーコードの⊕/⊖が正しく接続されているかご確認ください。左側に置くスピーカーが本体のL端子、右側のスピーカーはR端子に接続してください。**(16ページ)**
- ピンコードのプラグは奥まで差し込んでください。
- テレビなど強い磁気を帯びたものの影響をうけることがあります。テレビと本機を離してください。
- 携帯電話の通話中など本機の近くに強い電波を発生させる機器があると、ノイズが発生する場合があります。
- 本機は回転機器ですので、静かな環境では再生中や選曲中に精密部品のディスクを読み取る音が聞こえる場合があります。ディスクによっては、録音時に回転音が大きくなることがあります。

ノーマライズ機能を使っても音量が一定に聞こえない

- アルバム単位でレベル調整するため、曲によってばらついて聞こえることがあります。**(68ページ)**
- ラジオや外部入力を録音したときは、一度再生してからレベルを取得するため、2回目以降の再生に効果が表れます。**(68ページ)**

振動で音が途切れる

- 本機は据え置きタイプで設計されておりますので、できるだけ振動の少ない場所に設置してご使用ください。

ヘッドホンから音が出ない/ノイズが出る

- 接触不良の場合があります。ヘッドホンの端子を清掃してください。（清掃方法については、ヘッドホンに付属の取扱説明書をご確認ください。）また、ヘッドホンケーブルの断線の可能性もありますので、ご確認ください。

音質に関して

- 電源プラグの極性を変えると音が良くなることがあります。電源投入後10～30分程度経過した方が音質は安定します。
- オーディオ用ピンコードはスピーカーコードと一緒に束ねると音質が低下しますのでご注意ください。

HDD(ハードディスク)に関して

再生できない曲がある

- 不正なフォーマットで録音された音声は再生できません。**(33ページ)**

CDが録音できない

- ディスクがCD規格に準拠していないと録音できません。**(73、74ページ)**
- MP3 CDはHDDに録音できません。
- ディスクが傷ついていたり汚れていると録音できません。

USBストレージやPC共有フォルダからファイルを録音できない

●一度に録音できるのは10000曲までです。USBストレージの場合は曲を削除する、PC共有フォルダの場合はフォルダを分けるなどして、10000曲以下にしてから録音してください。

デジタルオーディオプレーヤーに録音できない

●録音先を「ATRACプレーヤー」から「USBプレーヤー」、または「USBプレーヤー」から「ATRACプレーヤー」に切り換えてみてください。(49、50ページ)
●MP3プレーヤーの中には、録音できないものがあります。本機で使用できるデジタルオーディオプレーヤーの機種は、http://www.jp.onkyo.com/support/brnx10a/をご覧ください。

楽曲情報を取得できない

●曲の先頭から録音されていなかったり、音量が極端に低い、雑音が多いなど、録音状況が悪い場合は、楽曲情報が取得できないことがあります。
●15秒以下の曲は楽曲情報取得はできません。
●最新曲の情報取得はインターネット接続が必要です。
●「曲情報取得」設定が「OFF」になっているときは、手動で楽曲情報を取得してください。
(55、68ページ)

曲を分割できない

●分割できるのはPCM形式、ATRAC3plusまたはATRAC3形式の曲のみです。
●曲の分割位置を先頭または最後付近に指定していると分割できないことがあります。
●分割後、HDD内の曲数が40000曲を超えるときは分割できません。
●エニーミュージックでダウンロード購入した曲は分割できません。

曲をつなぐことができない

●つないだ後の合計再生時間が120分を超えるときは、曲をつなぐことができません。
●結合できるのはPCM形式、ATRAC3plusまたはATRAC3形式の曲のみです。
●結合する2曲のフォーマットやビットレートが異なるときは、曲をつなぐことができません。例えば、PCM形式の曲とATRAC3形式の曲や、105kbpsと132kbpsのATRAC3形式の曲などは結合することができません。
●エニーミュージックでダウンロード購入した曲は結合できません。

編集をくり返していたら、結合できなくなった

●ハードディスクのシステム上の制約なので故障ではありません。

曲名の編集ができない

●エニーミュージックでダウンロード購入した曲は編集ができません。

CDに関して

音が飛ぶ

●本機に振動が加わっている、またはディスクに大きな傷があったり汚れていると音とびすることがあります。

ディスクが入っているのに再生しない

●本機で再生対応していないディスクを入れていませんか?「ディスクに関する予備知識」をご確認ください。(73、74ページ)
●ディスクの裏表が正しくセットされているか確認してください。
●ディスクがひどく汚れていたり損傷していないか確認してください。
●結露していると思われる場合は電源を入れて約1時間放置してから操作してください。(73ページ)

ディスクの再生順序通りに再生できない

●リピート再生、ランダム再生を解除してください。(24ページ)

再生されない曲がある

●マルチセッションディスクの音楽用CDフォーマットは、最初のセッションに記録されている曲しか再生できません。

曲情報を取得できない

●MP3 CDは曲情報を取得することはできません。
●最新CDの曲情報取得はインターネット接続が必要です。(23ページ)
●「曲情報取得(CD)」設定が「OFF」になっているときは、手動で楽曲情報を取得してください。
(23、68ページ)

MP3が再生できない

●ISO9660レベル1、2またはJolietに準拠していないMP3ファイルは再生できません。
●拡張子が「.mp3」ではないMP3形式のファイルは再生できません。MP3形式ではないファイルに「.mp3」の拡張子が付いていると、そのファイルを再生しようとするため雑音や故障の原因となります。
●音楽CDとMP3が混在するディスクを再生するときは、設定が必要です。両方を同時に表示することはできません。(23ページ)

複製制限機能(コピーコントロール機能)のついた音楽用CDの再生

再生時に雑音が入ったり、音飛びする/ディスクを認識せず「ディスクがありません」と表示される/1曲目を再生しない/頭出しに通常よりも時間がかかる/曲の途中から再生する/再生できない箇所がある/再生の途中で停止する/誤表示する

●再生しているディスクは複製制限機能(コピーコントロール機能)のついた音楽用CDです。コピーコントロール機能のついた音楽用CDの中には、CD規格に合致していないものがあります。それらは、特殊ディスクのため、本機で再生できない場合があります。

FM/AM放送に関して

放送に雑音が入る/FMステレオ放送の時、サーというノイズが多い/放送局が受信できない/FM放送で「STEREO」表示が完全に点灯しない

●アンテナの接続をもう一度確認してください。
(16ページ)
●アンテナの位置や向きを変えてみてください。AMアンテナはできるだけ本機から離してください。
(26ページ)
●本機をテレビやコンピュータから離してください。
●アンテナをスピーカーや他のケーブル類から離してください。
●近くに自動車が走っていたり飛行機が飛んでいると雑音が入ることがあります。
●電波がコンクリートの壁等で遮断されていると放送が受信しにくくなります。
●「FMモード」を「モノラル固定」に変更してみてください。(27ページ)
●AM受信時リモコンを操作すると雑音が入る場合があります。

- それでも電波が悪い時は市販の屋外アンテナの設置をおすすめします。屋外アンテナの設置については、販売店にご相談ください。

エニーミュージックのオンエア情報が表示されない

- エニーミュージックに登録していないときは登録してください。**(45ページ)**
- FM局をエニーミュージックに登録しているときの方法でプリセット登録してください。オートチューニングやマニュアルチューニングで選局しているときや、「新規入力」でプリセット登録したときはオンエア情報は表示されません。**(27ページ)**
- ラジオ局がオンエア情報を提供していないときは表示されません。
- AMラジオにはオンエア情報はありません。
- ネットワークが正しく接続・設定されているか確認してください。**(64、65ページ)**
- ユーザー ID、パスワードを保存していないか、エニーミュージックの認証に失敗した可能性があります。メニューボタンを押して、▲/▼ボタンで「ANY MUSICに接続」を選び、決定ボタンを押します。ユーザー IDとパスワードを入力し、「接続」を選んでください。

外部機器との接続に関して

LINE 1/2 OUT端子に接続した機器に録音できない

- LINE 1 IN端子から入力した信号はLINE 1 OUT端子から出力されません。同様にLINE 2 IN端子から入力した信号はLINE 2 OUT端子から出力されません。これは、入力と出力にループができて故障するのを防ぐためです。

オンキヨー製外部機器とシステム連動しない

- RIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。**(15ページ)**
  RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。
- 外部入力機器に合わせて入力割り当てを設定してください。**(32ページ)**

レコードプレーヤーの音が小さい

- レコードプレーヤーがフォノイコライザー内蔵か、お確かめください。
- 内蔵していないレコードプレーヤーの場合は別途フォノイコライザーが必要です。

レコードプレーヤーが再生できない

- MCカートリッジタイプのレコードプレーヤーをお使いの場合は、昇圧トランスまたはヘッドアンプが必要です。

エニーミュージックに関して

エニーミュージックにアクセスできない

- ネットワークの接続状態を確認してください。ネットワークに正しく接続できていない場合は、設定を確認してください。設定してもインターネットに接続できないときは、ご利用の回線業者やプロバイダにお問い合わせください。**(66ページ)**
- 時計を合わせてください。時計が正しく設定されていないとエニーミュージックにアクセスできないことがあります。**(21ページ)**
- ブロードバンドルーターを正しく設定しなおしてください。設定については、ブロードバンドルーターの取扱説明書や、プロバイダの資料をご覧ください。
- ユーザー ID、パスワードを保存していないか、エニーミュージックの認証に失敗した可能性があります。画面の指示に従って操作してください。
- それでもエニーミュージックにアクセスできないときは、エニーミュージック（www.anymusic.jp）にお問い合わせください。

試聴している曲が途切れる

- ネットワーク環境により、音楽が途切れることがあります。

エニーミュージックでダウンロードした曲が再生できない

- ご利用条件を詳細情報で確認してください。

時刻、タイマー再生・録音に関して

タイマー再生・録音しない

- 現在時刻は正しく設定されていますか？
  時刻が設定されていないと、タイマー再生、録音はできません。日付けと現在時刻を設定してください。**(21ページ)**
- タイマー予約の時間が重なっていると設定できません。**(61～63ページ)** 時間をずらして設定してください。
- タイマー予約中に停電があったり、電源コードが抜かれるとタイマーが働きません。
- 衝撃や振動によってタイマーが正常に働かないことがあります。安定した場所で使用してください。
- タイマー開始時に本機でバックアップなどの操作を行っているときは、タイマーがキャンセルされます。

インターネットに関して

インターネットに接続できない

- ネットワークの接続状態を確認してください。ネットワークに正しく接続できていない場合は、設定を確認してください。設定してもインターネットに接続できないときは、ご利用の回線業者やプロバイダにお問い合わせください。**(66ページ)**
- ブロードバンドルーターの電源が入っているか確認してください。
- DHCPを手動で設定してみてください。**(66ページ)**
- 「通信速度」を設定してみてください。**(66ページ)**
- DNSサーバを正しく設定しても「NG」と表示される場合は、サーバの稼働状況をプロバイダにご確認ください。また、社内LANなど特定の環境では正常でも「NG」と表示される場合があります。
- プロキシサーバを手動で設定してみてください。**(67ページ)**
- プロキシサーバを正しく設定しても「NG」と表示される場合は、サーバの稼働状況をプロバイダにご確認ください。
- ブロードバンドルーターを正しく設定しなおしてください。設定については、ブロードバンドルーターの取扱説明書や、プロバイダの資料をご覧ください。
- LANケーブルを正しく接続してください。**(64ページ)**
- ルーター機能のないモデムに直接接続していませんか？接続を確認してください。
- 同時に1つの端末しかインターネットに接続できない契約の場合、他の端末を先に接続しているときは接続できません。ご利用の回線業者やプロバイダに契約内容をお問い合わせください。

ADSLに接続できない

- スプリッターのDSLポートとTELポートを間違っていませんか？
- ADSLモデムやブロードバンドルーターのランプが正しく点灯しているか確認してください。各接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- ADSLモデムにルーター機能はありますか？ない場合は別途ブロードバンドルーターが必要です。

困ったときは

バックアップに関して

PC共有フォルダが見つからない

- Windowsでインターネット接続し、ファイヤーウォール（ICF）機能を有効にしていたり、市販のウィルス対策ソフトを使用している場合、共有フォルダが外部からアクセス可能な設定になっていることを確認してください。詳しくは、各製品の取扱説明書をご覧ください。

バックアップに失敗する

- バックアップ先のPC共有フォルダはパソコン本体に置いてください。外付けのハードディスクなどにはバックアップを取ることはできません。
- バックアップ先のフォルダは他のパソコンで使用（アクセス）されていませんか？一度、他のパソコンの電源を切った状態でバックアップしてみてください。

差分バックアップしたデータが差分バックアップする前のデータ量の2倍になる

- 差分バックアップ時の本機の時計設定が、前回バックアップした時よりも前に設定されていた場合は、時計合わせをしてもう一度差分バックアップしてください。**(21ページ)**
- フルバックアップしてみてください。

音楽データの復元中に以下のメッセージが表示される

「OpenMGで著作権保護されているコンテンツのバックアップ・リストアについて、ただいまお客様がリストア（データの復元）を行われたバックアップファイルは、すでに複数回のリストアが行われております。コンテンツの著作権に配慮し、一定回数以上のリストアを制限させていただく場合がありますので、リストアが複数回行われているバックアップファイルのご使用に際しては、本注意メッセージを表示させていただいております。」

- お使いの周辺機器による不具合がくり返されたり、本機が著しく不安定なために復元したデータが利用できなくなってしまったときは、コールセンターまたは販売店にお問い合わせください。
- 何度音楽データの復元を試みても失敗してしまう場合は、バックアップデータを記録したパソコンやドライブが破損、損傷していないか確認してください。

リモコンに関して

リモコンが働かない

- 電池の極性（⊕、⊖）が、表示通り正しく入っているか確認してください。**(18ページ)**
- 電池を2本とも新しいものと交換してみてください。（種類の異なる電池の使用や、新しい電池と古い電池の混用はさけてください）
- リモコンと本体の間が離れすぎていませんか？
- リモコンと本体の間に障害物がありませんか？
- 本体のリモコン受光部に強い光（インバータ蛍光灯や直射日光）が当たっていませんか？
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、正常に機能しないことがあります。
- 部屋の蛍光灯が消耗してちらついていると本機が誤動作することがあります。蛍光灯を確認してください。

その他

曲番号やプレイリスト番号が正しく表示されない

- 曲番号やプレイリスト番号が1000以上の場合は、「－－－」と表示されます。

正常に動作しない

- 静電気などの影響を受けているときに、正常に動作しないことがあります。このときは一度電源を切り、約1分間待ってから再度電源を入れてください。それでも正常に動作しないときは、リセットしてください。
- 画面に警告メッセージが出ているときは、メッセージに従ってください。

画面に5桁のアルファベットと数字が表示されている

- 本機の異常を未然に防ぐため自己診断機能が働くと、画面にアルファベットと数字で5桁の番号を表示します。表示が出たら、コールセンターに番号をご連絡ください。

RIドック接続時のご注意

- セレクターをRIドックから他のセレクターに切り換えるときは、必ずiPodを停止してください。

こんなときは

本機のリセット方法について

- まれに外部からのノイズや静電気などの影響で誤動作する場合があります。このような場合は、本機のON/STANDBYボタンを5秒以上押し続けてリセットしてください。解決しない場合は、電源プラグを抜いて5秒以上待ってから改めて電源プラグを差し込んでください。なお、HDDに保存が完了していたデータは消去されません。**(2ページ)**

タイマー録音、タイマー再生が開始しない場合

- タイマー設定後、電源コードを抜いたり停電があった場合、再度時計を合わせる必要があります。自動時計合わせのON/OFFにかかわらず、時計合わせを行ってください。**(21ページ)**

USBストレージの認識について

- USBハードディスクで外部電源を供給できる製品は、外部電源をご使用ください。（詳しくはお買い上げ製品の取扱説明書をご参照ください）また、USBストレージ（USBハードディスクを含む）が正しく認識できなかった場合は、本機をリセットした後に再接続してください。**(49、70ページ)**

バックアップデータの復元を中断すると、エニーミュージックの登録情報が消えてしまう

- バックアップデータの復元を中断すると、エニーミュージックに登録していたニックネームが消去されます。エニーミュージックをご利用の際は、再度新しいニックネームを登録してください。なお、ご登録いただいているユーザー情報は消去されません。同じユーザー ID、パスワードをご使用いただけます。**(45ページ)**

操作の完了までに時間がかかることがある

- 大量の曲をHDDに保存した場合、操作に時間がかかることがあります。

HDD通常再生時に同じ曲が2回再生されることがある

- アルファベットで始まる曲名などは50音検索に、アルファベットとかなで2回登録されます。そのため通常再生でも、同じ曲が2回再生されることがあります。

システムソフトの更新について

- ネットワーク環境によっては、システムソフトの更新が正常に終了しない場合があります。このような場合は、再度システムソフトの更新を行ってください。**(72ページ)**

困ったときは

製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象になりませんので大事な録音するときにはあらかじめ正しく録音できる事を確認の上、録音を行ってください。

本機を破棄/譲渡するときは
ハードディスク内の曲やデータをすべて消去してから破棄/譲渡してください。
ネットワーク関連の設定メニューをご自分で設定されている場合は、内容を変更しておいてください。
万一、情報が改ざん、漏えい、変化、消失した場合の損害および逸失利益につきましては、オンキヨー株式会社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本機はマイクロコンピュータにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音やノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。
そのような時は、本機をリセットしてください。それでも誤動作するときは、電源プラグを抜いて約5秒以上待ってから改めて電源プラグを差し込んでください。

■本機をリセットする

本機のON（オン）/STANDBY（スタンバイ）ボタンを5秒以上押し続けます。
一度電源が切れて、はじめて電源コンセントを接続したときと同じ状態になります。
自動的に初期設定が始まりますので、スタンバイ状態になるまでしばらくお待ちください。
＊保存している曲や設定のデータは消去されません。

主な仕様

■総合

電源・電圧	AC 100V、50/60Hz
消費電力	70W
待機時電力	0.9W
最大外形寸法	205(幅)×147(高さ)×337(奥行)mm
質量	5.7kg
音声入力	アナログ　LINE 1、LINE 2
音声出力	アナログ　LINE 1、LINE 2 スピーカー　2 ヘッドホン　1
ビデオモニター出力	1
モジュラージャック	10BASE-T/100BASE-TX
USB端子	USBタイプA Hi-Speed USB デジタルオーディオプレーヤー等接続用

■HDD部

容量	80GB
コーディング	ATRAC3/ATRAC3plus/MP3/PCM
最大録音時間	約3,400時間（48kbps時）
最大アルバム数	約40,000
最大録音曲数	約40,000

■アンプ部

定格出力	14W＋14W（8Ω、40Hz〜20kHz、全高調波歪率0.4%以下、2ch駆動時） 19W＋19W（6Ω、1kHz、全高調波歪率0.4%以下、2ch駆動時）
実用最大出力	26W+26W（4Ω JEITA）
全高調波歪率	0.4 %（1kHz 定格出力時） 0.4 %（40Hz〜20kHz 定格出力時）
ダンピングファクター	25（8Ω）
入力感度/インピーダンス	150mV/50kΩ（LINE IN）
出力電圧/インピーダンス	150mV/2.2kΩ（LINE OUT）
周波数特性	10Hz〜100kHz/±3dB（LINE）
トーンコントロール最大変化量	±6dB、80Hz（BASS） ±8dB、10kHz（TREBLE） ＋7dB、80Hz（S.BASS）
SN比	100dB（LINE,IHF-A）
スピーカー適応インピーダンス	4Ω〜16Ω

■チューナー部

<FM>

受信範囲	76.0MHz〜108MHz
プリセット数	20局

<AM>

受信範囲	522kHz〜1629kHz
プリセット数	10局

＊ 地上アナログテレビ放送終了後は、VHF1ch、2ch、3ch の音声を聞くことはできなくなります。

■CD部

周波数特性	10Hz〜20kHz
ダイナミックレンジ	95dB
全高調波歪率	0.007%
ワウ・フラッター	測定限界以下 （±0.001% W.PEAK）
音声出力電圧/インピーダンス	1.3V(rms)/2.2kΩ(アナログ出力)

■ D-N7TX

形式	2 ウェイバスレフ型
定格インピーダンス	4 Ω
最大入力	70W
定格感度レベル	83dB/W/m
定格周波数範囲	50Hz 〜 100kHz
クロスオーバー周波数	6kHz
キャビネット内容積	8.0 リットル
最大外形寸法	164(幅)× 282(高さ)× 258(奥行)mm （サランネット、ターミナル突起部含む）
質量	3.7kg
使用スピーカー	ウーファー　13cm A-OMF MONOCOQUE 型 ツィーター　3cm リング型
ターミナル	プッシュ式スピーカーターミナル
防磁設計	有
付属品	コルクスペーサー 8 個、 スピーカーコード 1.8 m× 2
その他	サランネット脱着可　左右同一型

高調波抑制規格JIS C61000-3-2適合品

※ 仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

用語解説

五十音順

あ

イーサネット
米国のゼロックス社が開発したローカルエリアネットワーク（LAN）のモデルの1つ。現在、ローカルエリアネットワークを構成するために広く普及しています。

インターネット
世界中のコンピュータが接続された通信網。メールや情報検索サービスなどが利用できます。

か

楽曲クリップ
NOW ON AIRで表示される、FM放送で放送された楽曲の情報を本機に保存することです。

区点コード
日本工業規格（JIS）が一般に使用する文字に定めたコード番号です。

結露（ 露つき）
暖房を入れて室温が急に上がったときなどに、本機内部に水滴が付くこと。結露が起きたときは、結露がなくなるまで放置してください。

さ

サンプリング周波数
音声などをアナログデータからデジタルデータへ変換するとき、数字に置き換える必要があります。この作業をサンプリングと呼び、1秒間に記録する回数をサンプリング周波数といいます。音楽CDの場合、1秒間に44,100回記録しており、サンプリング周波数を44.1kHzと表します。一般的には、サンプリング周波数が高いほど、記録された音声は高音質になります。

た、な

転送（ チェックイン/チェックアウト）
ハードディスク上で著作権保護技術「OpenMG」対応ソフトウェアで管理している音楽データを、ATRAC ADなどの外部機器･メディアに転送することを「チェックアウト」といい、チェックアウトした音楽データを元のハードディスクに戻すことを「チェックイン」といいます。
著作権保護技術「OpenMG」により、暗号化してハードディスクに記録されるため、不正な使用や配信などを防止できます。
一度チェックアウトしたデータをチェックインによりハードディスクに戻したあと、再びチェックアウトすることも可能です。ただし、チェックアウトしたデータを、他のハードディスクにチェックインすることはできません。

デジタルオーディオプレーヤー
デジタルで記録された音楽データを再生できる機器の総称。その記録方式によって、MP3プレーヤー、ATRACプレーヤーなどと呼ばれます。

は、ま

バイト
パソコンなどのデジタルデータを表す基本的な単位のひとつ。デジタルデータは、「0か1か」で表されますが、このデータひとつが1ビット、8ビットで1バイトという単位になります。半角文字は1バイトで表すため1バイト文字、全角文字は2バイトで表すため2バイト文字といいます。

ハードディスク（HDD）
パソコンなどに使われている大容量データ記憶装置の1つ。磁気ディスクと駆動機構が一体になっているため、非常に高速で読み書きすることができ、データの検索性にすぐれています。

ビットレート
データの情報量を表します。単位として、ビット毎秒（bps: bit per second）を使うことが多く、音楽データに1秒あたりどのくらいの情報量があるかを表します。

プロキシ
ファイアウォール（外部からの不正侵入防御壁）内にいるコンピュータが外部へアクセスできるようにしたり、インターネットのホームページなどを高速に表示したりできるプログラムまたはサーバです。

ブロードバンド
広域の周波数帯域を使用して、大容量の映像･音声データを高速で送受信できる回線の総称。現在、ブロードバンドと言われるものには、ADSL、CATV、光ファイバーなどがあります。

ブロードバンドルーター
ADSLやケーブルテレビでインターネットに接続する場合、ADSLモデムやケーブルモデムという機器を使いますが、複数の端末からインターネットに接続するときは、ブロードバンドルーターという機器を使います。

プロバイダ
「インターネットサービスプロバイダ（ISP）」とも言います。インターネットへの接続サービスなどを提供する事業者です。

や

予測候補
予測変換機能で入力した文字に対して予測される単語や語句です。

予測変換機能
入力した頭文字から単語全体を予測したり、入力した単語から文脈を予測する入力機能。学習機能があり、使えば使うほど、入力の手間が省けて便利に入力できます。

ら、わ

ルーター
ネットワーク間を中継する装置のことで、相互のネットワークのプロトコルやアドレスの変換を行います。
最近では、ISDN回線に接続するためのダイヤルアップルーターや、ADSLやCATVに接続するためのブロードバンドルーターもあります。単に「ルーター」と言ったとき、これらの機器を指すこともあります。

アルファベット順

A、B

ADSL
非対称デジタル加入者回線（Asymmetric Digital Subscriber Line）の略。ブロードバンド回線の1つです。従来の銅線のアナログ電話回線を使用しますが、音声信号とは別の高周波帯域を利用するため、大容量のデータ伝送が可能です。上り方向（ユーザーの端末から送信する方向）の通信速度に対して下り方向（電話局からユーザーの端末へ流す方向）の通信速度が高速なため「非対称」の名前がついています。通信速度は契約しているサービスにより異なります。

用語解説

ATRACプレーヤー（ATRAC AD）
ATRAC ADは、アトラックオーディオデバイス（ATRAC Audio Device）の略。ATRAC形式で記録された音楽データを再生できる機器の総称です。

ATRAC3
音声圧縮技術「ATRAC」の1つ。CDの約1/10という高圧縮ながら高音質を実現します。

ATRAC3plus
「ATRAC3」をさらに発展させた音声圧縮技術。CDをベースに比較すると、1/20という高圧縮率かつ高音質を実現します。

D、E、F、G、H

DHCP
動的ホスト構成プロトコル（Dynamic Host Configuration Protocol）の略。インターネットの接続に必要な設定値を端末に自動的に割り当てるためのしくみです。

DNS
Domain Name Systemの略。マシン名からIPアドレスへ、またIPアドレスからマシン名への置き換えを行うサーバで、IPアドレスで特定されています。「DNSサーバ」などとも言います。

I、J、K

ID3
MP3ファイルに記録される曲名やアーティスト名などの情報。本機では、MP3形式の曲の詳細情報は、このID3タグを表示しています。

IPアドレス
TCP/IP（ 伝送制御プロトコル/ インターネットプロトコル）ネットワークで使用される識別情報。通常は、3桁までの数字4組を点で区切ったもの（192.168.239.1など）。ネットワーク上のマシンは、必ずこのアドレスが付いています。

ISO9660
国際標準化機構（ISO）が制定したCD-ROMの論理フォーマットです。

L

LAN
ローカルエリアネットワーク（Local Area Network）の略。オフィスや学校、ビルの中などの限定された地域に置かれたコンピュータやプリンタ、ファクシミリなどを相互接続して通信できるように構成されたネットワークの総称です。

M

MP3
「MPEG-1 Audio Layer3」の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEGで定めた音声圧縮の規格。音声データをCDの約1/10に圧縮できます。符号化アルゴリズムが公開されていますので、さまざまなエンコーダーやデコーダーが存在します。パソコンの世界で広く普及しています。

MP3プレーヤー
MP3形式で記録された音楽データを再生できる機器の総称です。

N、O

NOW ON AIR
「エニーミュージック」のサービスの1つ。FM放送で放送中の内容が本機に表示されます。

P、Q、R、S、T

PCM
非圧縮のデジタル音声データ形式。本機では、音楽CDと同じくサンプリング周波数44.1kHz，16bitで記録されます。

U、V、W、X、Y、Z

USBストレージ
本書では、USB Mass Storage Class規格に対応したUSB機器で、パソコンのUSB端子に接続するだけでリムーバブルディスクとして使える記憶装置のことを指します。
例えば、USBプレーヤーなども、USB Mass Storage Class規格に対応していれば、USBストレージとして使えます。

修理について

■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お名前
- ▶ お電話番号
- ▶ ご住所
- ▶ 製品名 BR-NX10A または X-NX10A
- ▶ できるだけ詳しい故障状況

■オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日： 年 月 日
ご購入店名：
Tel. ( )
メモ：

ONKYO®
オンキヨー株式会社
本社 大阪府寝屋川市日新町2-1 〒572-8540

http://www.jp.onkyo.com/

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：コールセンター
☎050-3161-9555 受付時間 10：00～18：00
（土・日・祝日・弊社の定める休業日を除きます）
サービスとサポートのご案内：http://www.jp.onkyo.com/support/

G0805-1
SN 29344815
(C) Copyright 2008 ONKYO CORPORATION Japan. All rights reserved.